
彦根市
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
報告書

令和5年3月

目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査期間と調査方法	1
3.	調査対象および帳票の配布数と回収数	1
4.	留意点	1
II	調査結果	2
	○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
	回答者の属性	2
問1	あなたのご家族や生活状況について	4
問2	からだを動かすことについて	12
問3	食べることについて	21
問4	毎日の生活について	28
問5	地域での活動について	36
問6	たすけあいについて	48
問7	健康について	54
問8	認知症について	65
問9	市などの保健福祉サービスの認知状況と今後の利用意向について	68
問10	これからの生き方や市の取り組みへの希望について	70
問11	地域について	79
問12	ご自身のことについて	83

I 調査概要

1. 調査の目的

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができるまちづくりの一層の推進に向け、今後の高齢者保健福祉施策を推進していくための基礎資料とすることを目的としている。

2. 調査期間と調査方法

・調査期間

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】：令和4年11月18日から令和4年12月12日まで

・調査方法

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】：郵送による配布・回収

3. 調査対象および帳票の配布数と回収数

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

令和4年9月末日現在、彦根市内にお住まいの65歳以上の方

(要介護1～5の方を除く)

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
3,989 件	2,839 件	2,792 件	70.0%

4. 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明 (無回答) はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

II 調査結果

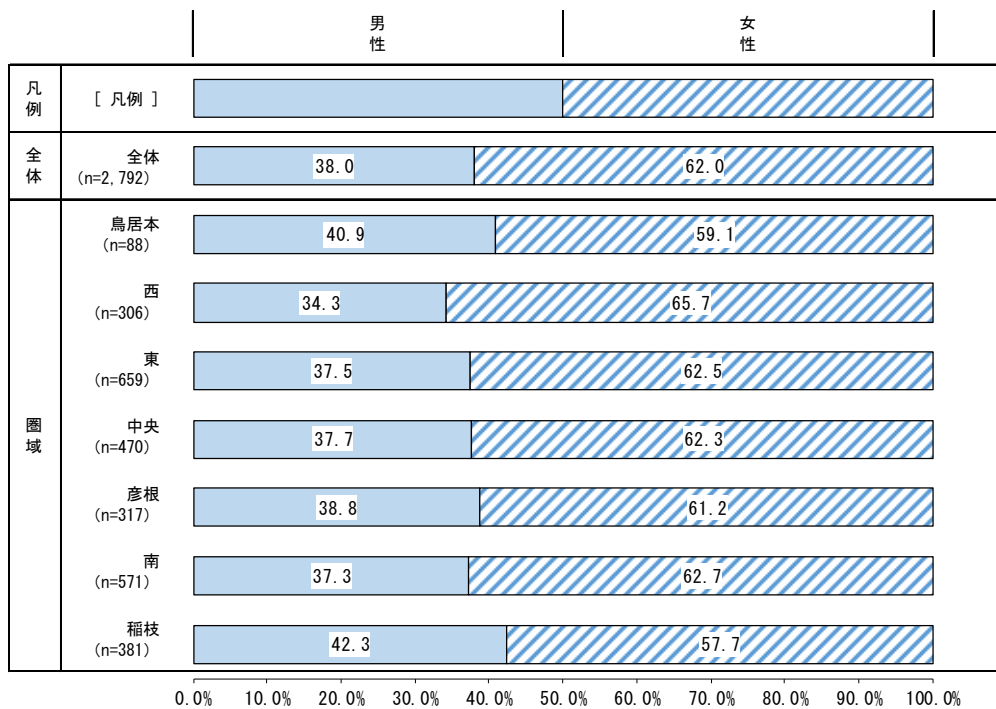
○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

回答者の属性

性別

【全体】

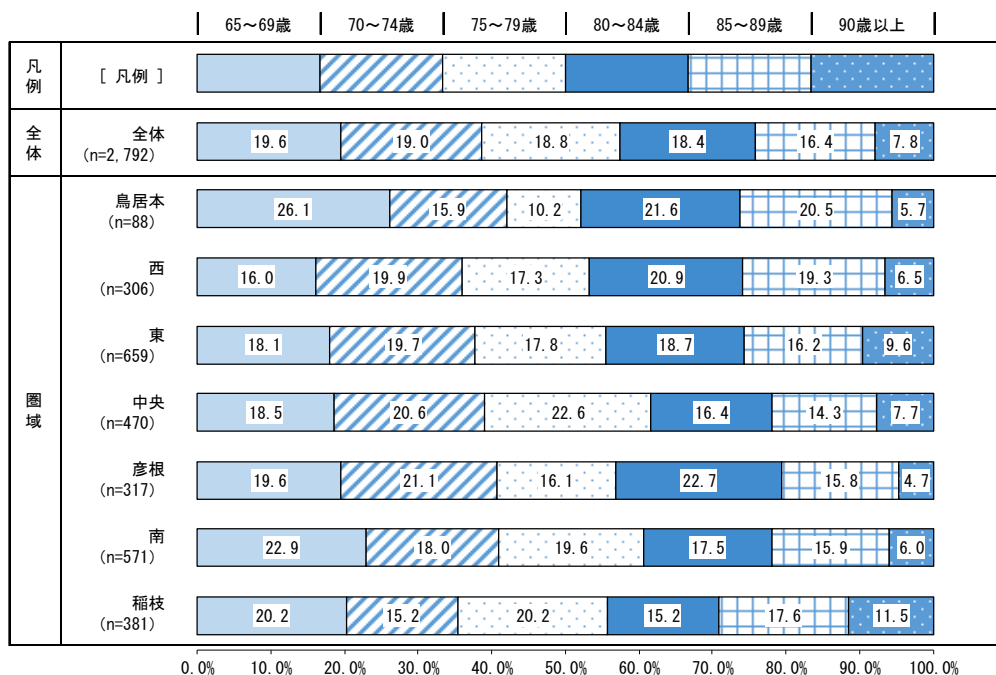
○ 性別について、「男性」が38.0%、「女性」が62.0%となっています。



年齢

【全体】

○ 年齢について、「65～69歳」が19.6%で最も多く、次いで「70～74歳」が19.0%、「75～79歳」が18.8%となっています。



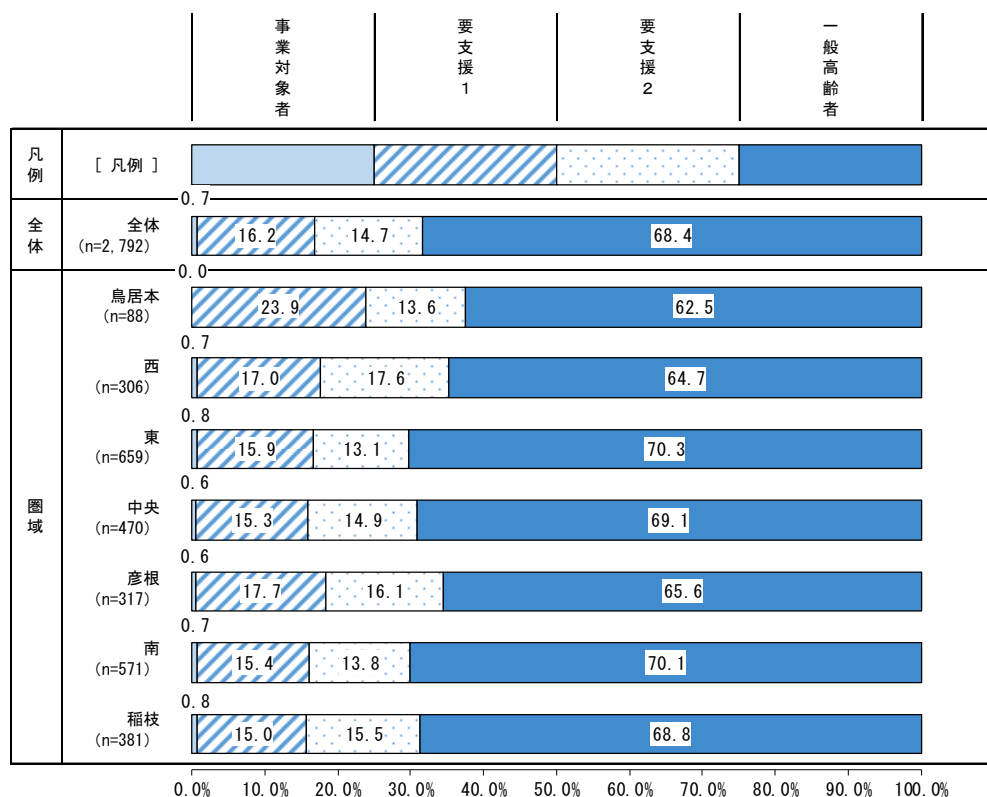
要介護認定状況

【全体】

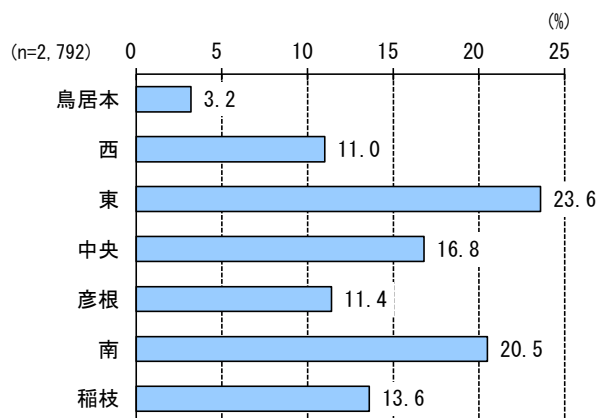
- 要介護認定状況について、「一般高齢者」が 68.4%、「要支援 1」が 16.2%、「要支援 2」が 14.7%、「事業対象者」が 0.7%となっています。

【圏域】

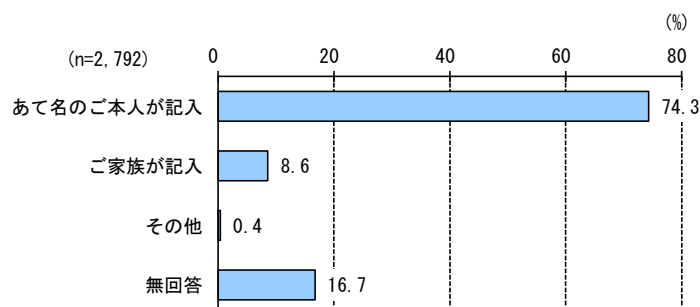
- 「要支援 1」は鳥居本が 23.9%と他の区分に比べて多くなっています。



圏域



調査票の記入者



問1 あなたのご家族や生活状況について

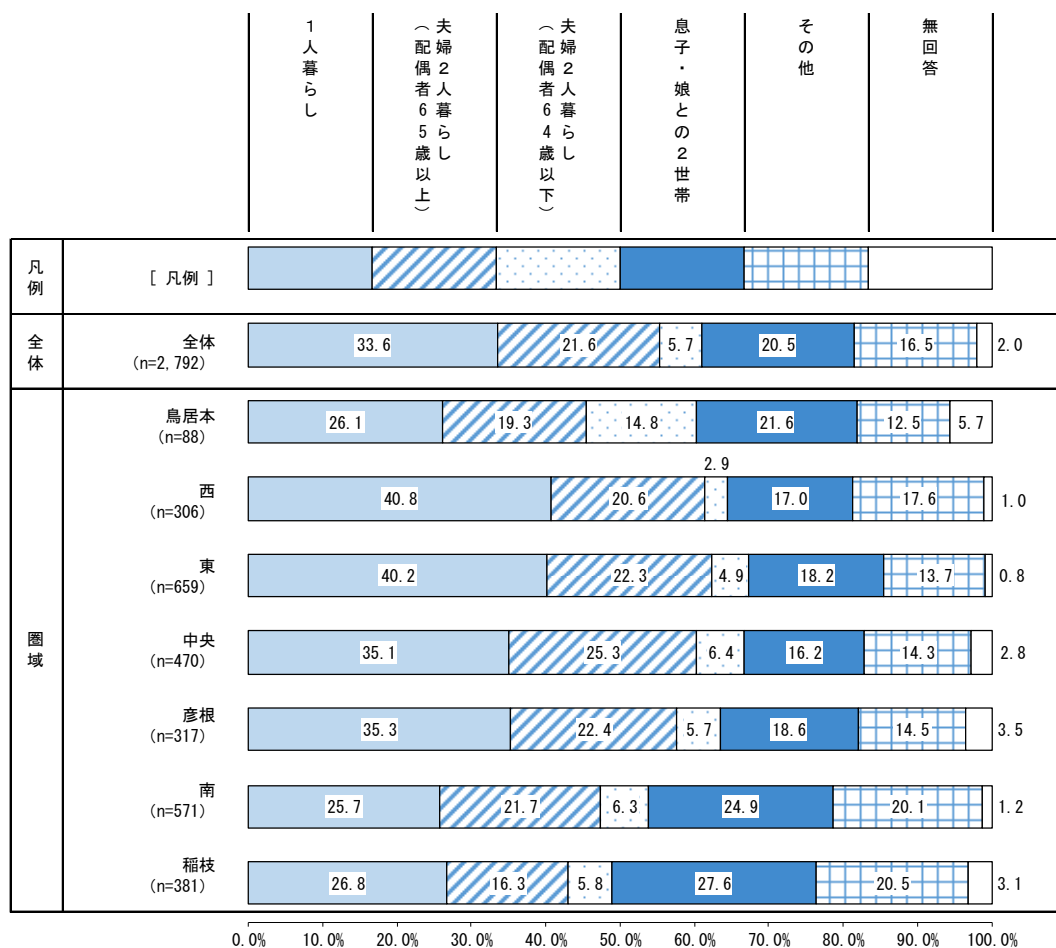
1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

【全体】

- 家族構成について、「1人暮らし」が33.6%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が21.6%、「息子・娘との2世帯」が20.5%となっています。

【圏域】

- 「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」は鳥居本が14.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を合わせた“高齢者のみの世帯”は西、東、中央、彦根で55.0%を超えています。



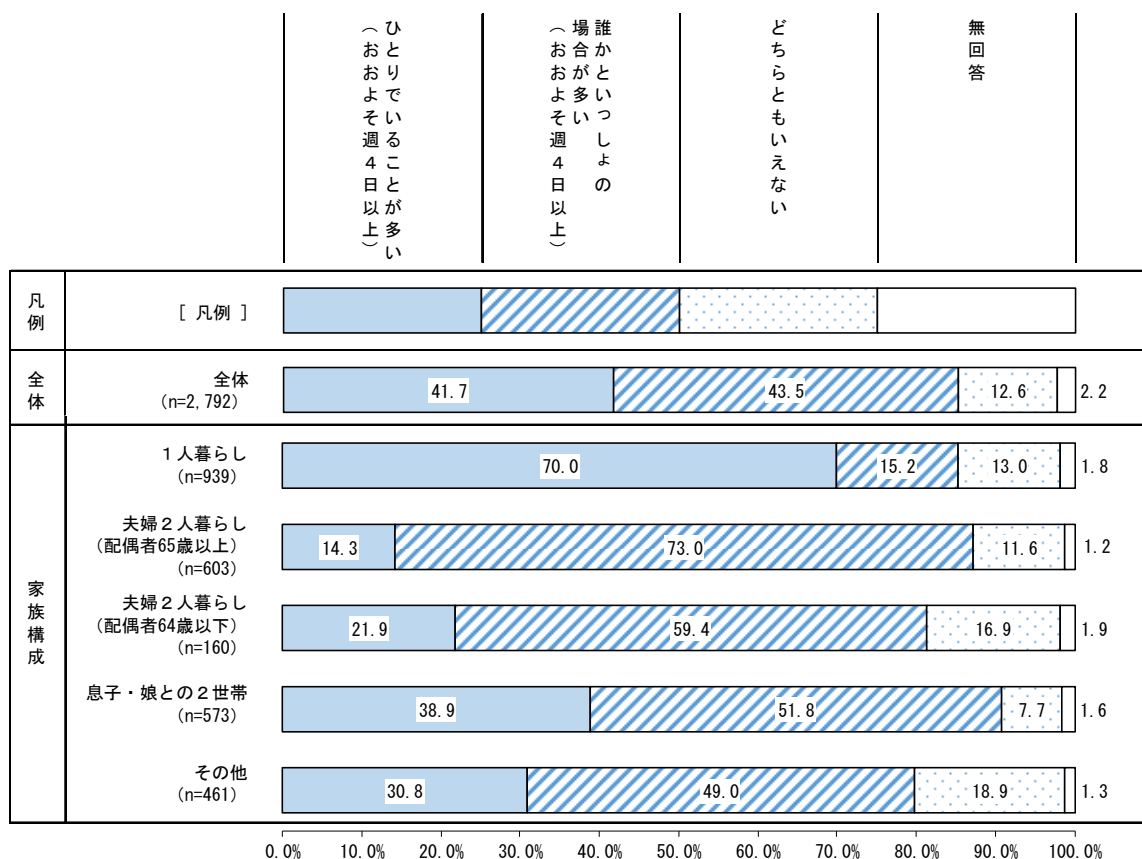
2 昼間はどのような過ごし方ですか。(1つだけ○)

【全体】

- 昼間の過ごし方について、「誰かといっしょの場合が多い (おおよそ週4日以上)」が43.5%で最も多く、次いで「ひとりであることが多い (おおよそ週4日以上)」が41.7%、「どちらともいえない」が12.6%となっています。

【家族構成】

- 「ひとりであることが多い (おおよそ週4日以上)」は1人暮らしが70.0%と他の区分に比べて多くなっています。



3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

【全体】

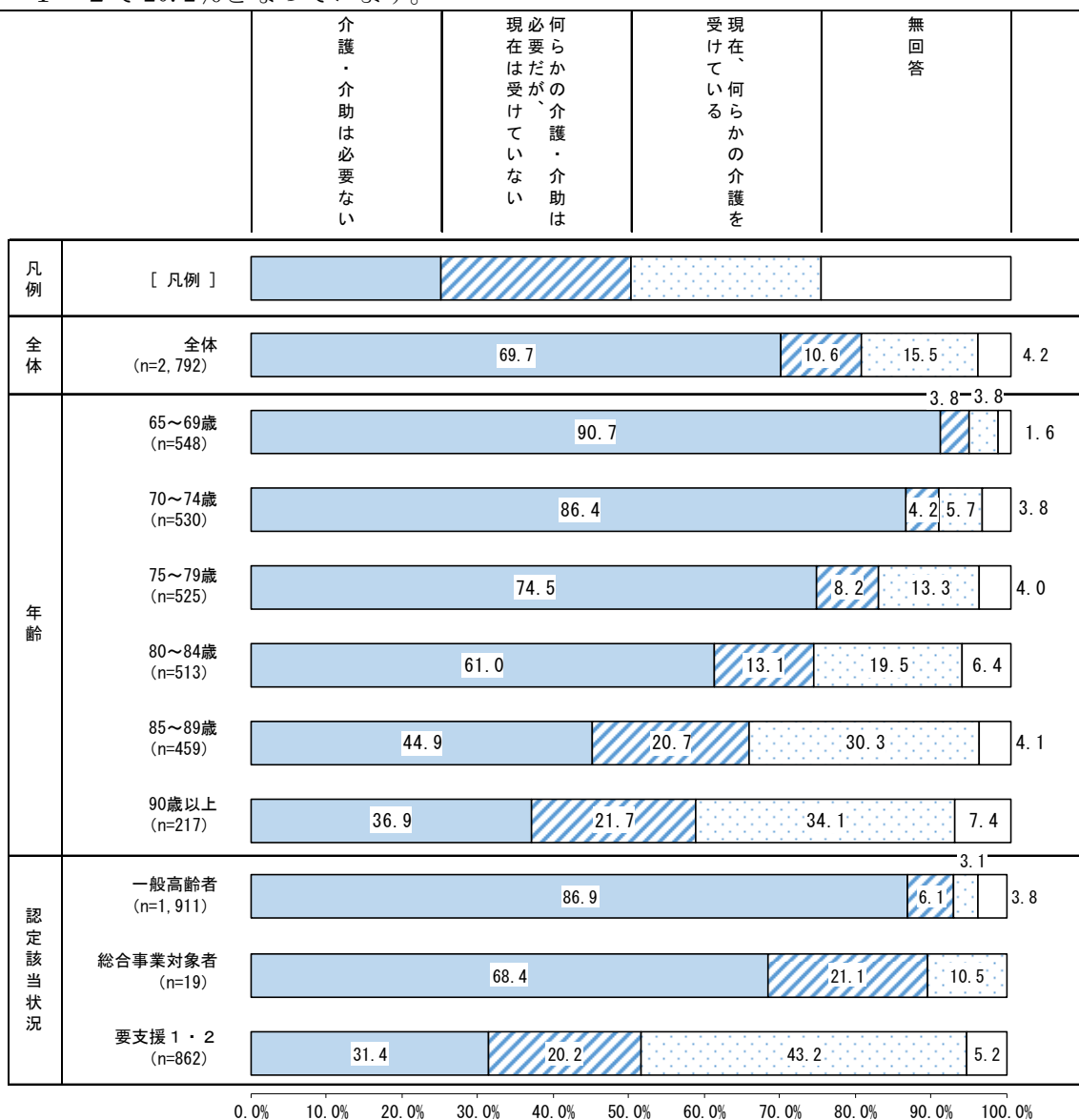
- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 69.7%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が 15.5%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 10.6%となっています。

【年齢】

- 年齢が高いほど「現在、何らかの介護を受けている」が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「現在、何らかの介護を受けている」が多くなる傾向がみられます。
- 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は総合事業対象者で 21.1%、要支援 1・2で 20.2%となっています。



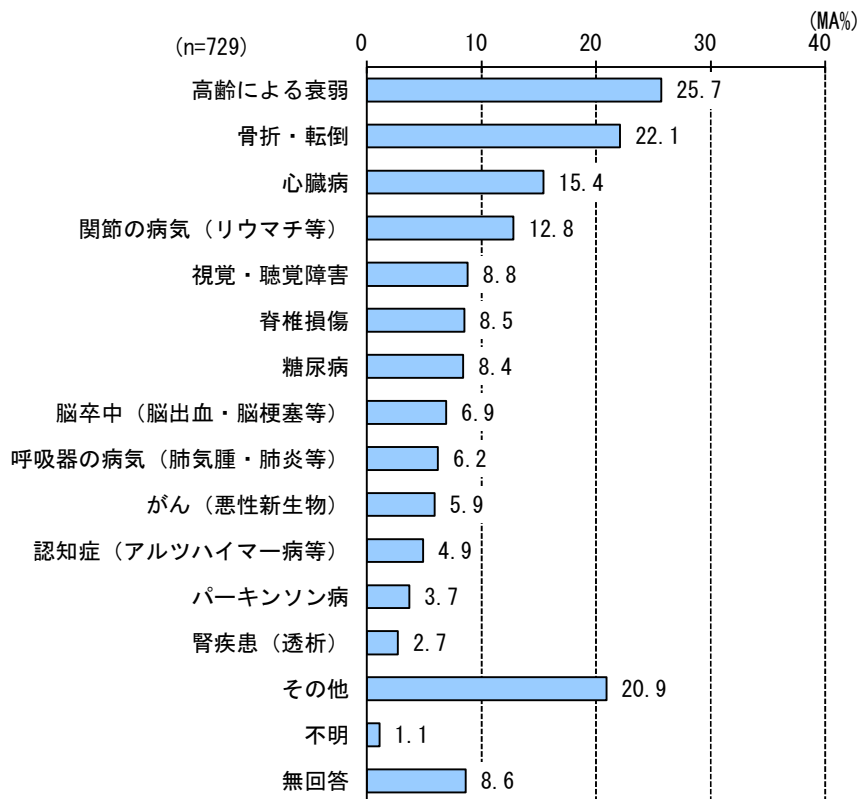
3-1 (介護・介助が必要な方) 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 介護・介助が必要になった原因について、「高齢による衰弱」が 25.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が 22.1%、「心臓病」が 15.4%となっています。

【認定該当状況】

○ 「骨折・転倒」は要支援1・2が 26.0%と他の区分に比べて多くなっています。



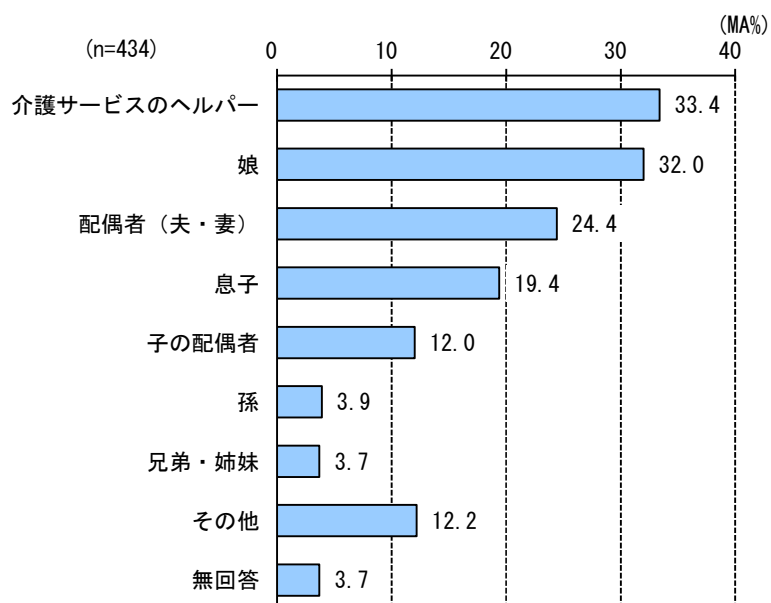
単位：%

当認定状況	母数 (n)	問1.3-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(MA)															
		脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)	関節の病気 (リウマチ等)	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体	729	6.9	15.4	5.9	6.2	12.8	4.9	3.7	8.4	2.7	8.8	22.1	8.5	25.7	20.9	1.1	8.6
一般高齢者	177	5.1	14.7	5.1	5.6	14.1	5.1	2.3	11.3	3.4	11.3	▼10.7	2.8	21.5	18.6	1.7	13.0
総合事業対象者	6	16.7	16.7	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	16.7	16.7	△33.3	-	16.7
要支援1・2	546	7.3	15.6	6.2	6.4	12.5	4.9	4.2	7.3	2.6	8.1	26.0	10.3	27.1	21.4	0.9	7.1

3-2 (介護・介助を受けている方) 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 介護・介助を受ける相手について、「介護サービスのヘルパー」が 33.4%で最も多く、次いで「娘」が 32.0%、「配偶者(夫・妻)」が 24.4%となっています。



単位：%

		問1.3-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(MA)									
		配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	
全体		434	24.4	19.4	32.0	12.0	3.9	3.7	33.4	12.2	3.7
当認 状定 況該	一般高齢者	60	△ 36.7	20.0	31.7	5.0	3.3	1.7	▼ 8.3	11.7	8.3
	総合事業対象者	2	-	-	-	-	-	-	△ 100.0	-	-
	要支援1・2	372	22.6	19.4	32.3	13.2	4.0	4.0	37.1	12.4	3.0

4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

【全体】

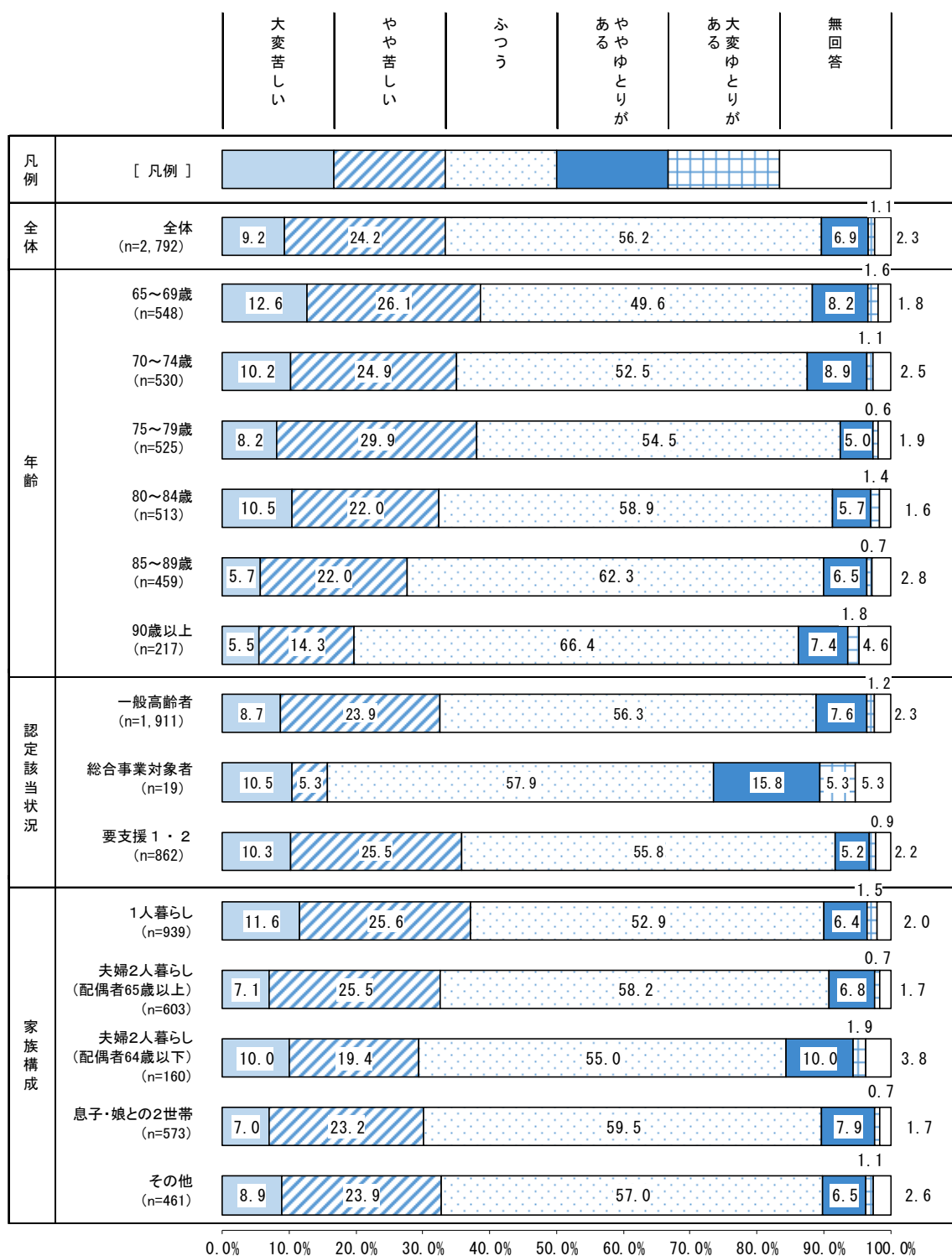
- 経済状況について、「ふつう」が 56.2%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 24.2%、「大変苦しい」が 9.2%となっています。「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせた“苦しい方”は 33.4%となっています。

【年齢】

- 「大変苦しい」は 65～74 歳と 80～84 歳で 10.0%を超えています。

【家族構成】

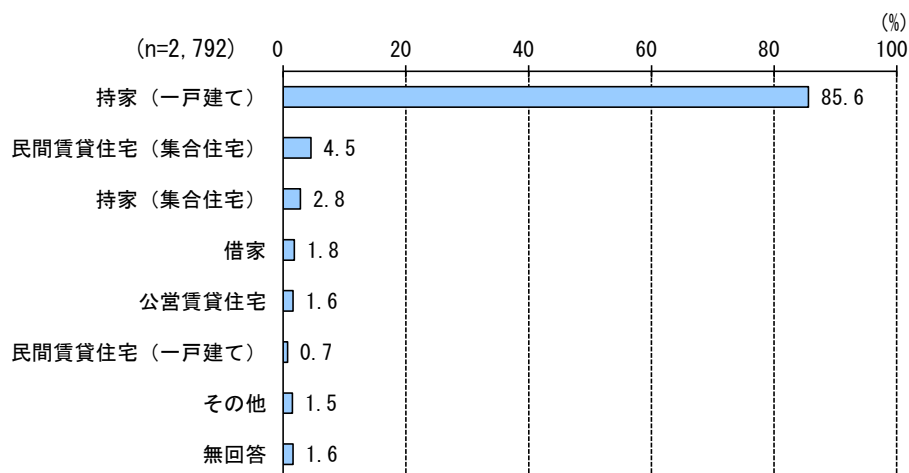
- 「大変苦しい」は 1人暮らしが 11.6%、夫婦 2人暮らし（配偶者 64 歳以下）が 10.0%と他の区分に比べて多くなっています。



5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)

【全体】

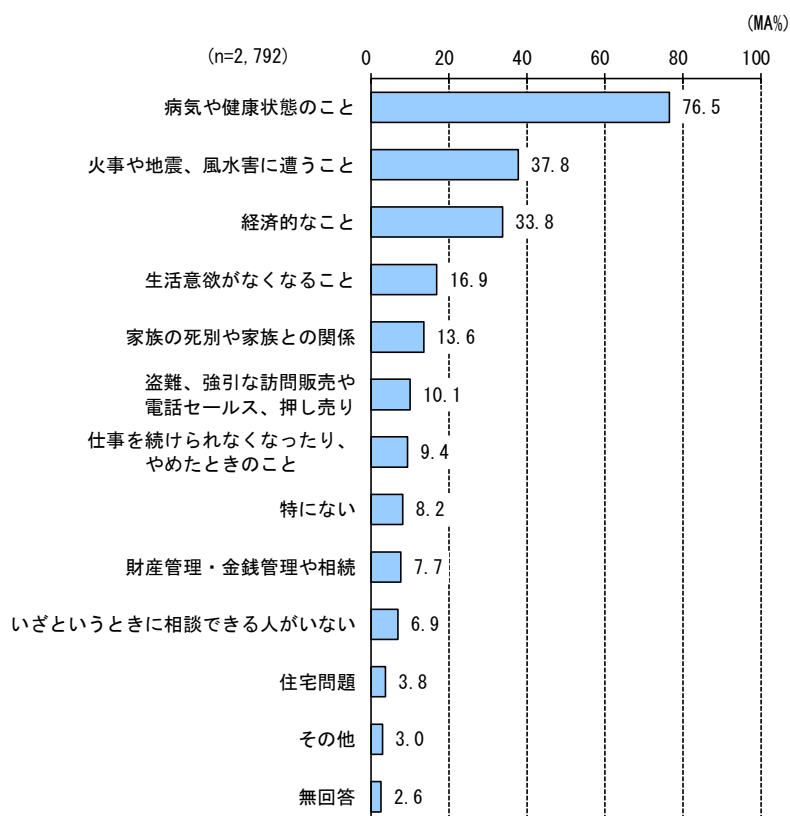
- 住まいについて、「持家（一戸建て）」が 85.6%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が 4.5%、「持家（集合住宅）」が 2.8%となっています。



6 日頃生活する中で不安に思っていることは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

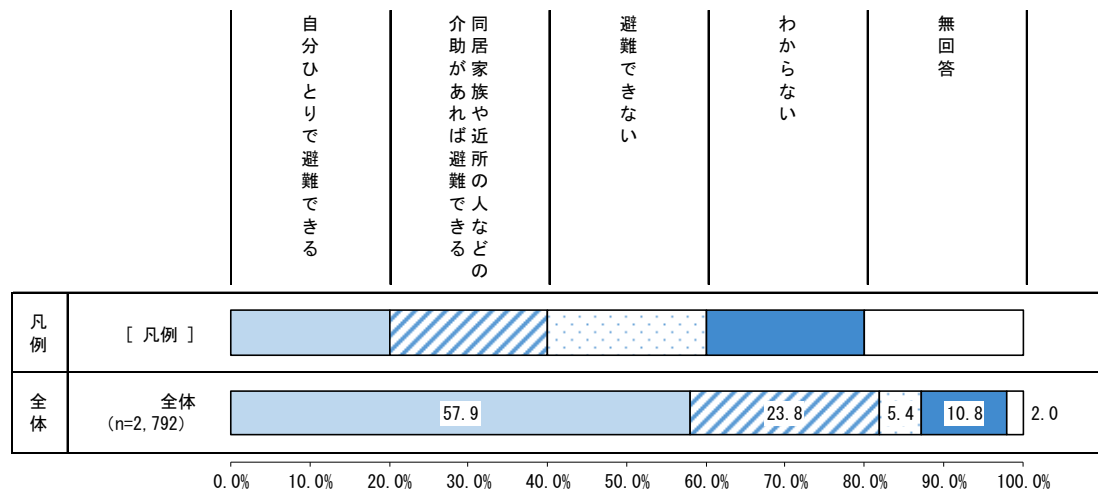
- 日常生活での不安について、「病気や健康状態のこと」が 76.5%で最も多く、次いで「火事や地震、風水害に遭うこと」が 37.8%、「経済的なこと」が 33.8%となっています。



7 災害が発生したとき、避難できますか。(1つだけ○)

【全体】

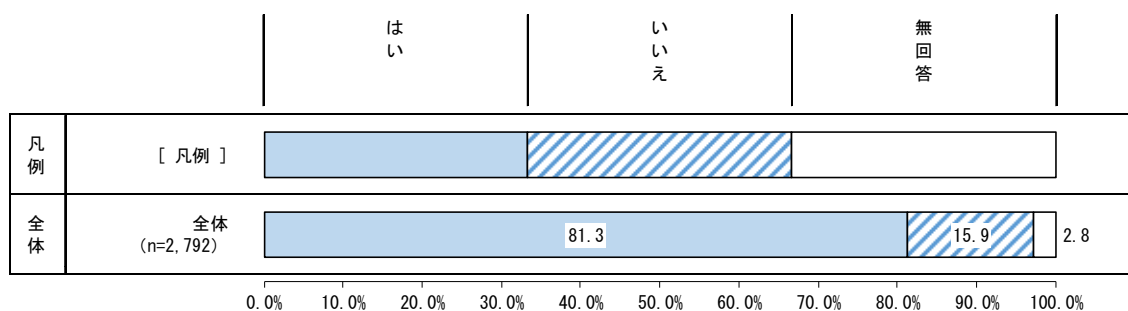
- 災害発生時の避難について、「自分ひとりで避難できる」が 57.9%で最も多く、次いで「同居家族や近所の人などの介助があれば避難できる」が 23.8%、「わからない」が 10.8%、「避難できない」が 5.4%となっています。



8 災害が発生したときの避難場所を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 避難場所の認知について、「はい」が 81.3%、「いいえ」が 15.9%となっています。



問2 からだを動かすことについて

運動器の機能低下リスク

●判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／やや不安である

【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が32.6%、「非該当」が67.4%となっています。

【圏域】

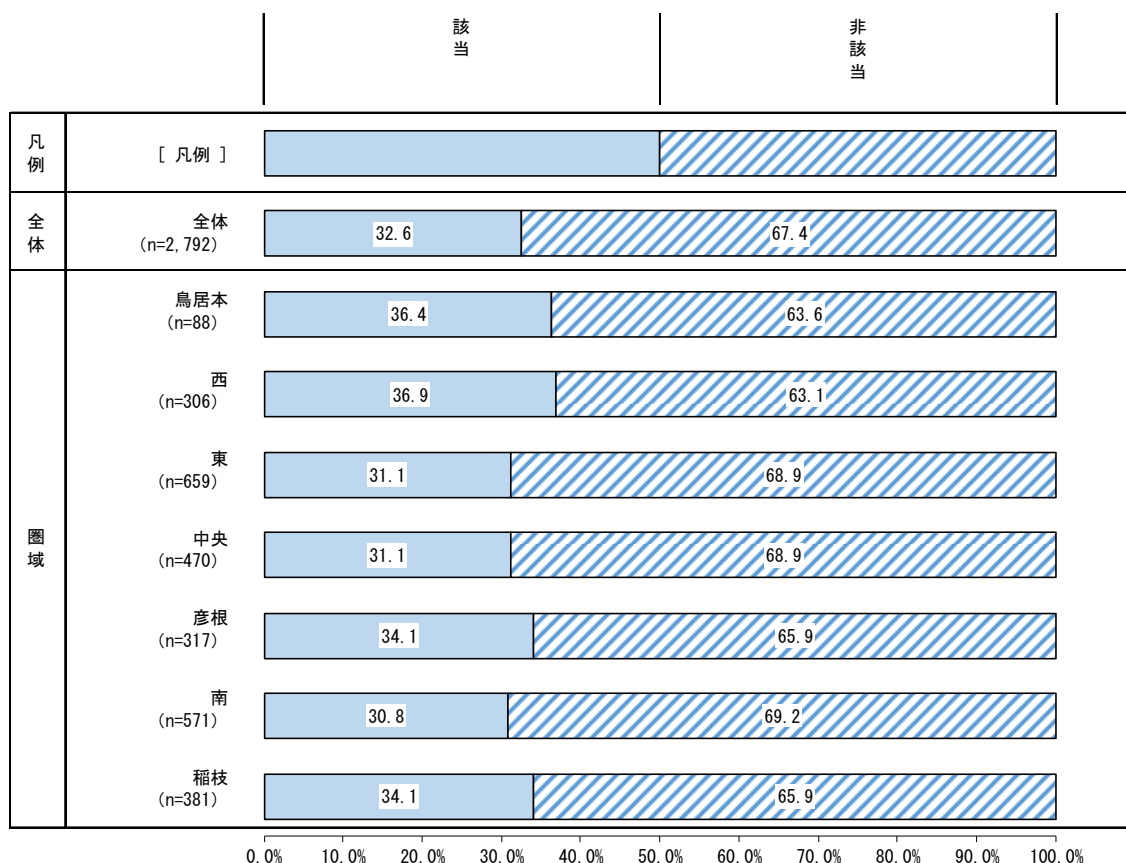
○ 「該当」は西が36.9%、鳥居本が36.4%と他の区分に比べて多くなっています。

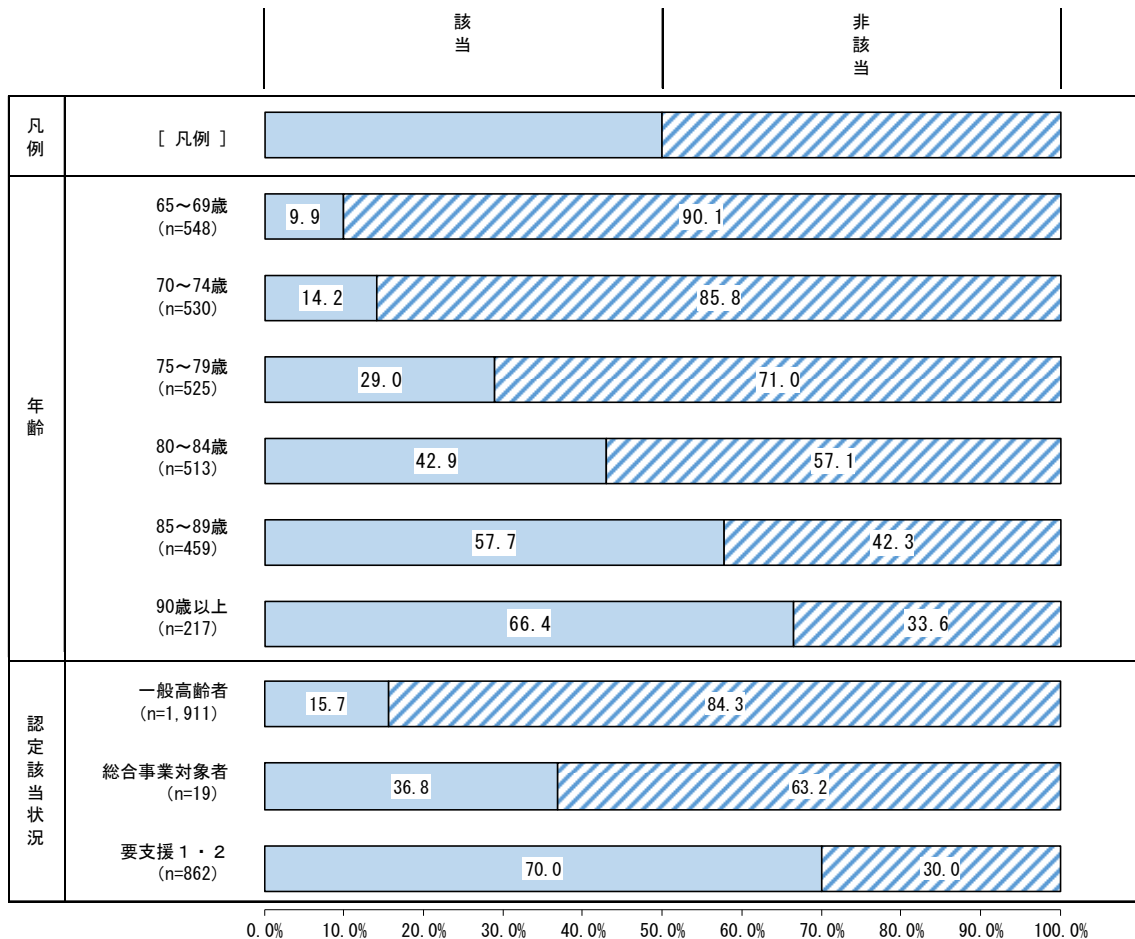
【年齢】

○ 年齢が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

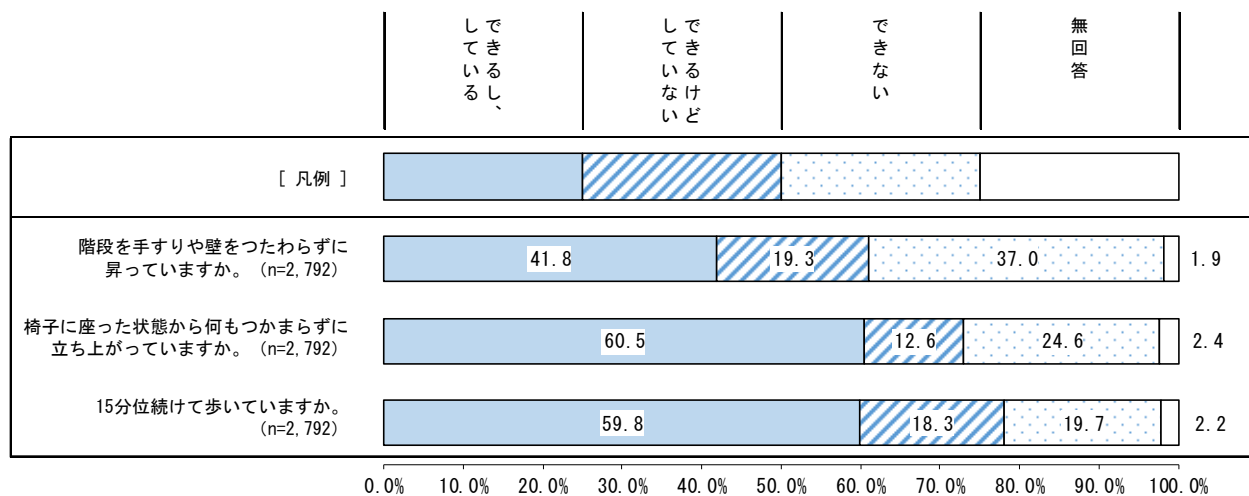
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。





【評価項目の回答状況】

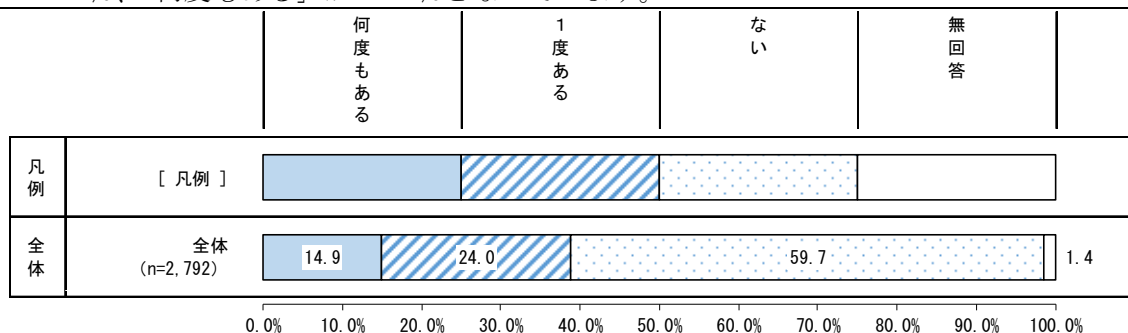
- 1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)
- 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)
- 3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)



4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

【全体】

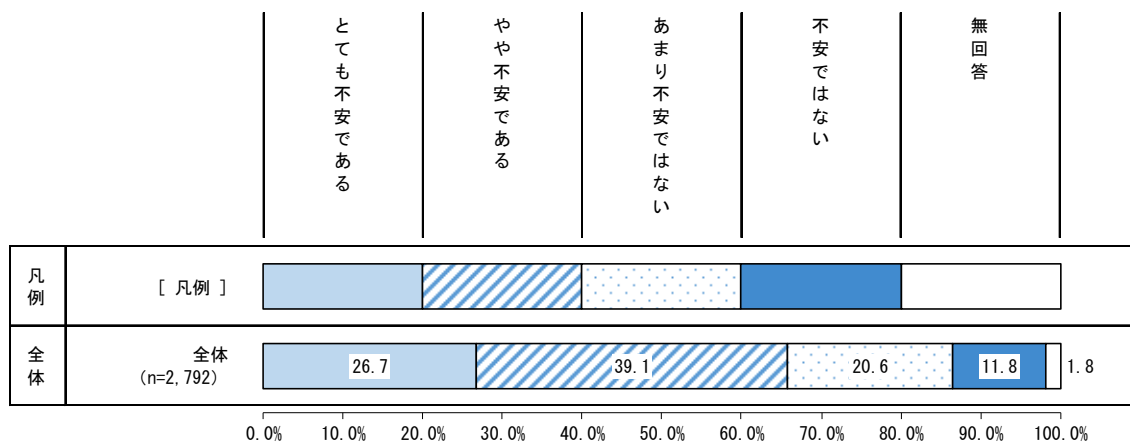
○ 過去1年間の転んだ経験について、「ない」が59.7%で最も多く、次いで「1度ある」が24.0%、「何度もある」が14.9%となっています。



5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が39.1%で最も多く、次いで「とても不安である」が26.7%、「あまり不安ではない」が20.6%となっています。「とても不安である」「やや不安である」を合わせた“不安な方”は65.8%となっています。



転倒リスク

●判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

※【評価項目の回答状況】については P14 参照

【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当」が 38.9%、「非該当」が 61.1%となっています。

【圏域】

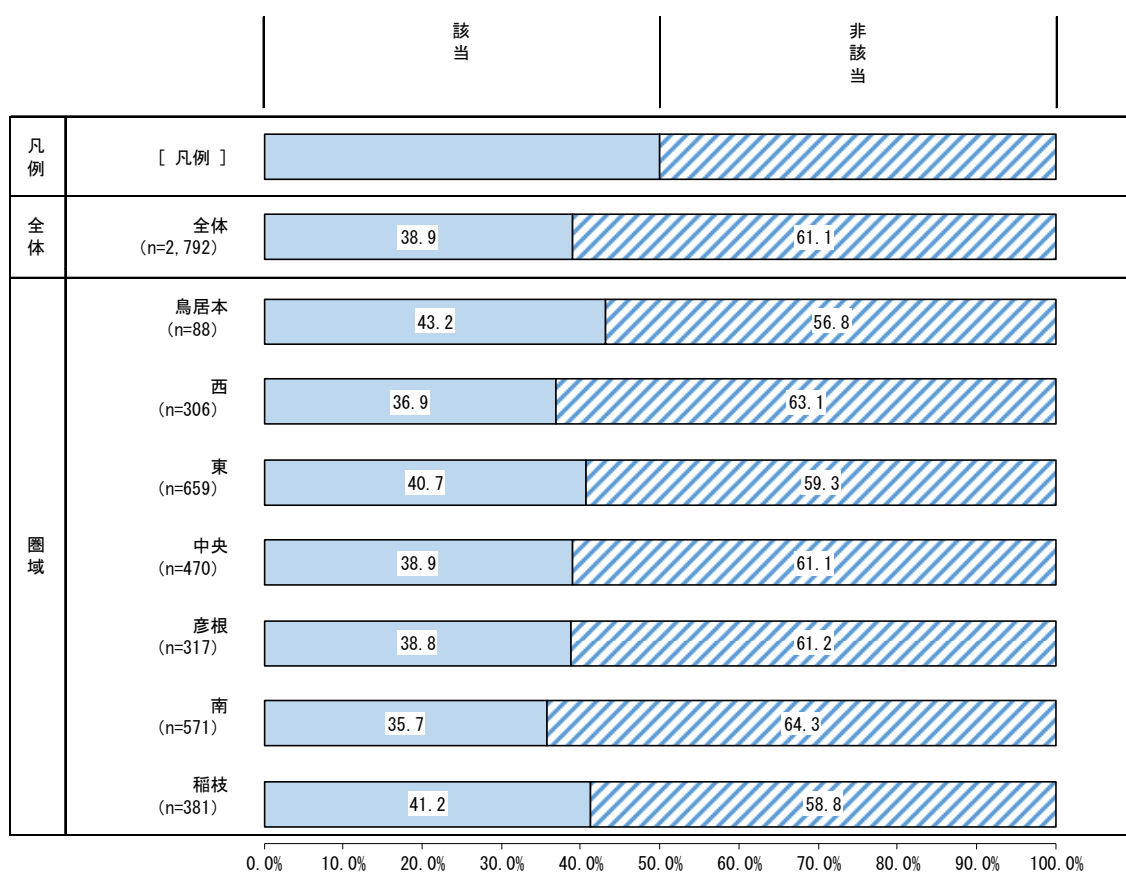
○ 「該当」は鳥居本が 43.2%と他の区分に比べて多くなっています。

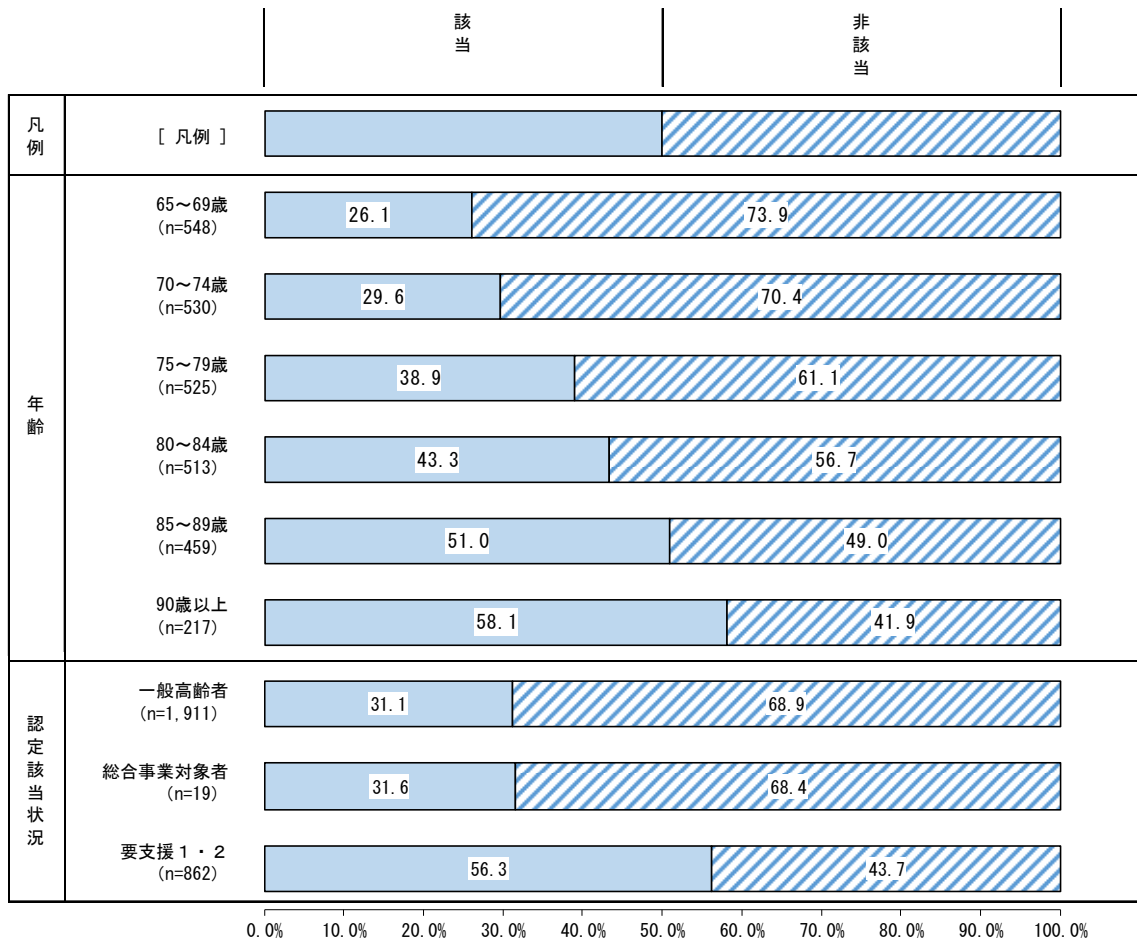
【年齢】

○ 年齢が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。





閉じこもりのリスク

●判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

【全体】

○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が26.1%、「非該当」が73.9%となっています。

【圏域】

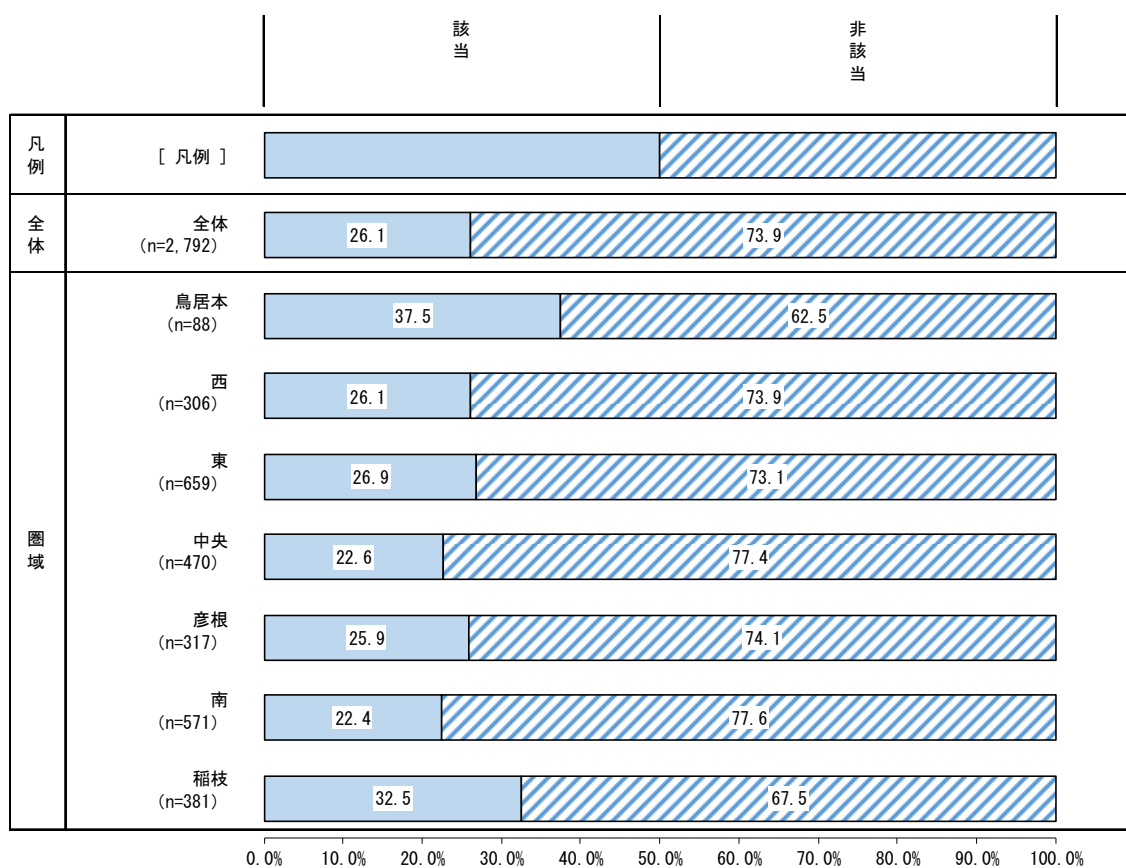
○ 「該当」は鳥居本が37.5%、稲枝が32.5%と他の区分に比べて多くなっています。

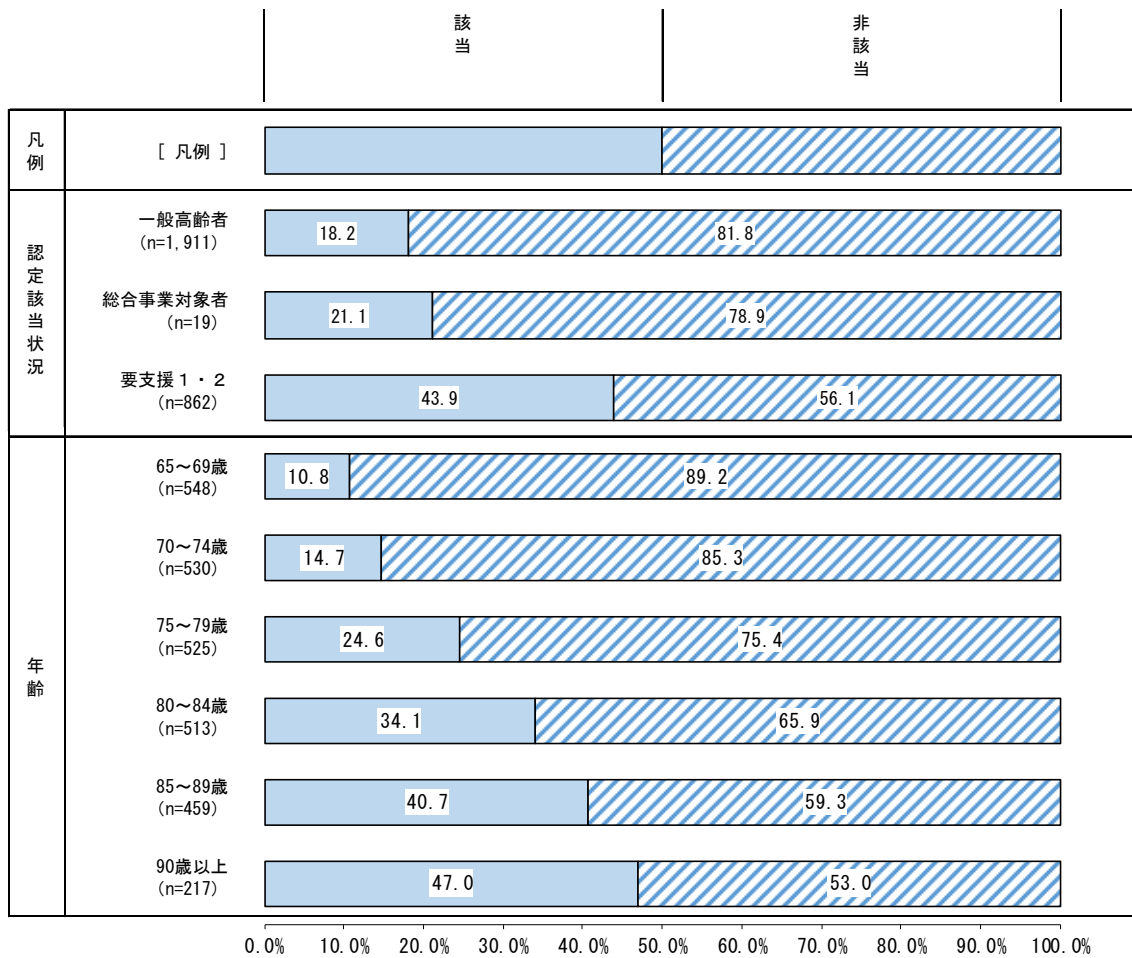
【年齢】

○ 年齢が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



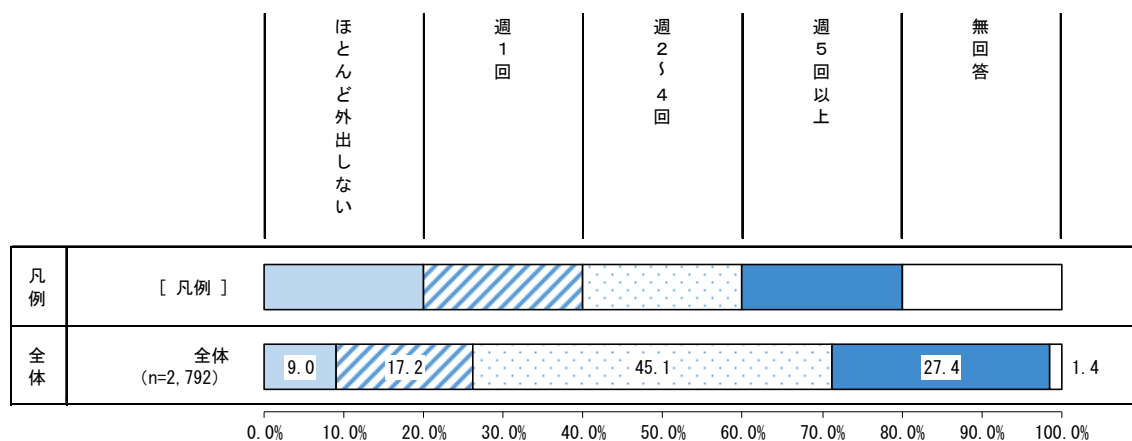


【評価項目の回答状況】

6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 外出頻度について、「週2～4回」が45.1%で最も多く、次いで「週5回以上」が27.4%、「週1回」が17.2%となっています。

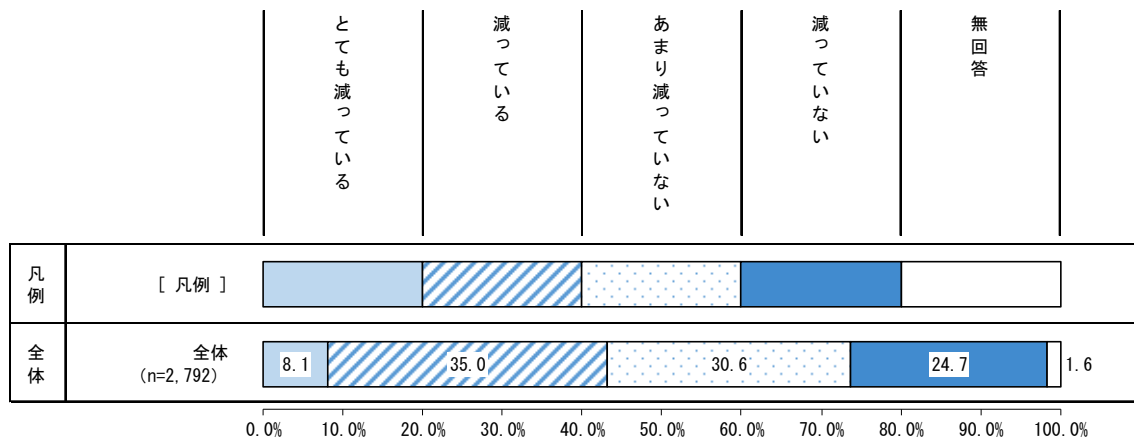


【関連設問】

7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

【全体】

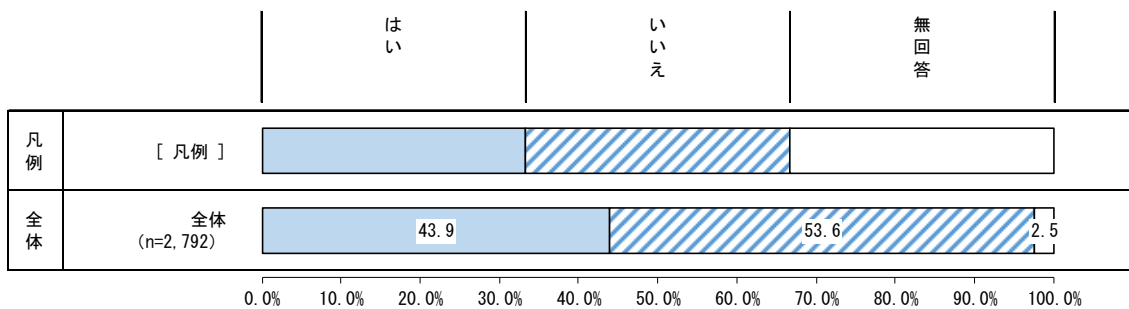
○ 昨年と比べて外出が減っているかについて、「減っている」が 35.0%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が 30.6%、「減っていない」が 24.7%となっています。「とても減っている」「減っている」を合わせた“減っている方”は 43.1%となっています。



8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

【全体】

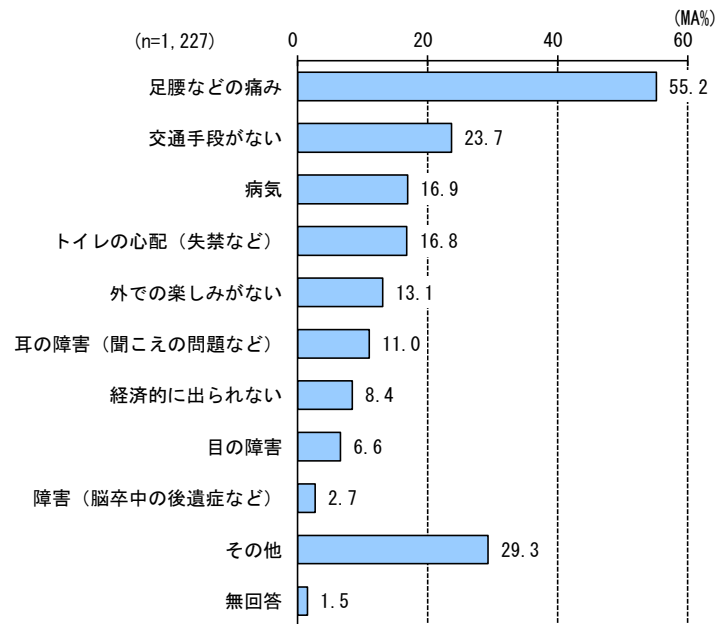
○ 外出を控えているかについて、「はい」が 43.9%、「いいえ」が 53.6%となっています。



8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

【全体】

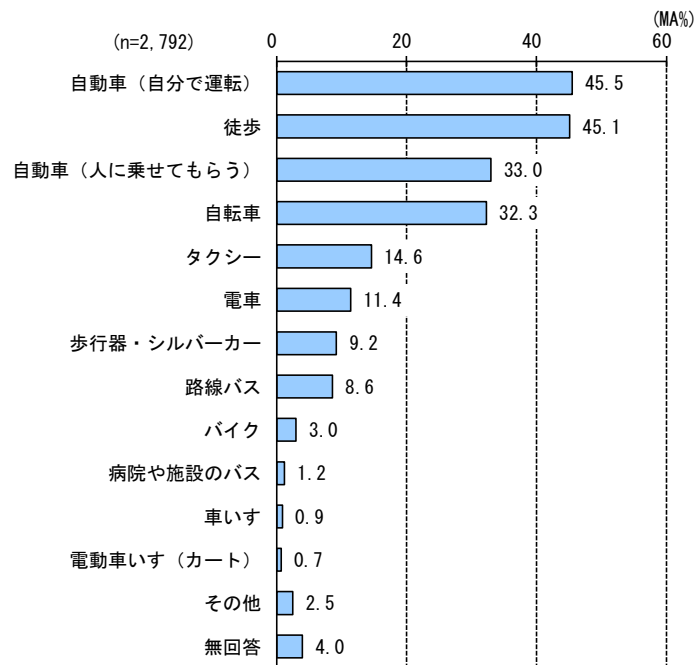
○ 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 55.2%で最も多く、次いで「その他」が 29.3%、「交通手段がない」が 23.7%となっています。



9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 外出する際の移動手段について、「自動車 (自分で運転)」が 45.5%で最も多く、次いで「徒歩」が 45.1%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が 33.0%となっています。



問3 食べることについて

低栄養リスク

●判定方法

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷身長 (m) ²)	18.5未満
6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が2.4%、「非該当」が97.6%となっています。

【圏域】

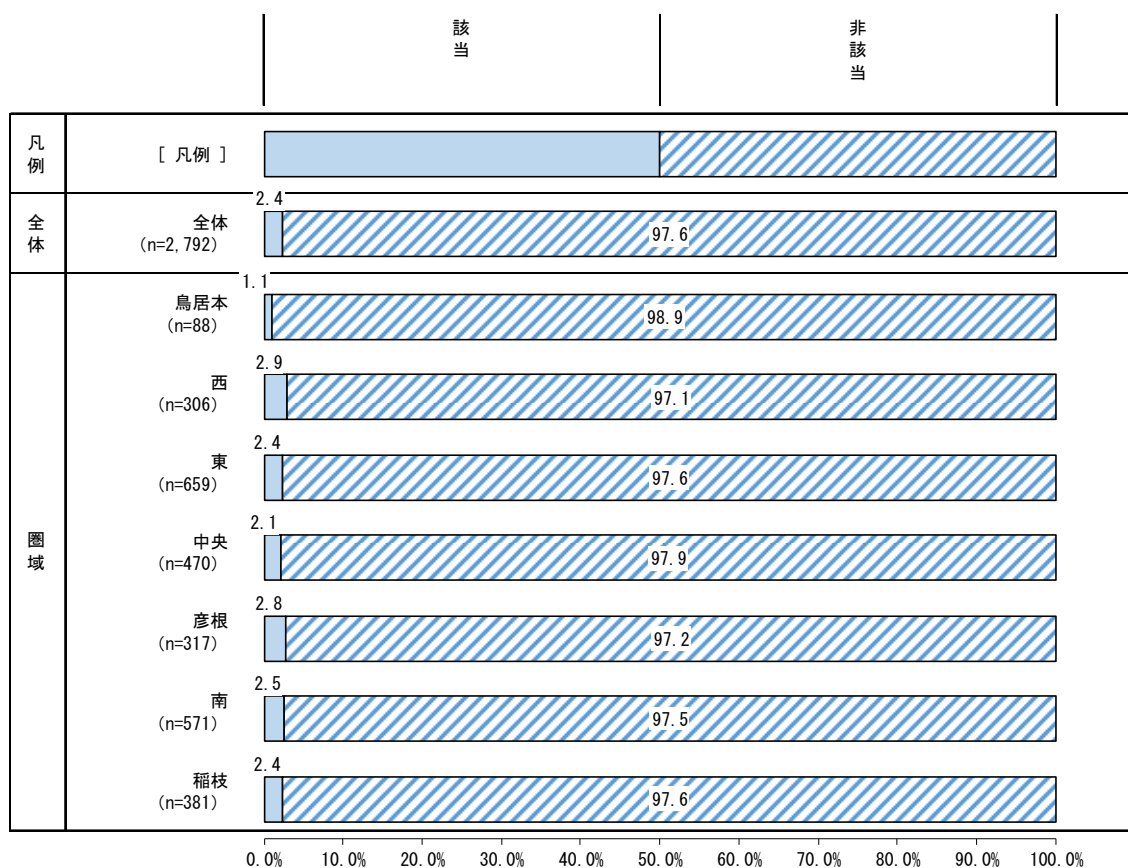
○ 「該当」は鳥居本が1.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

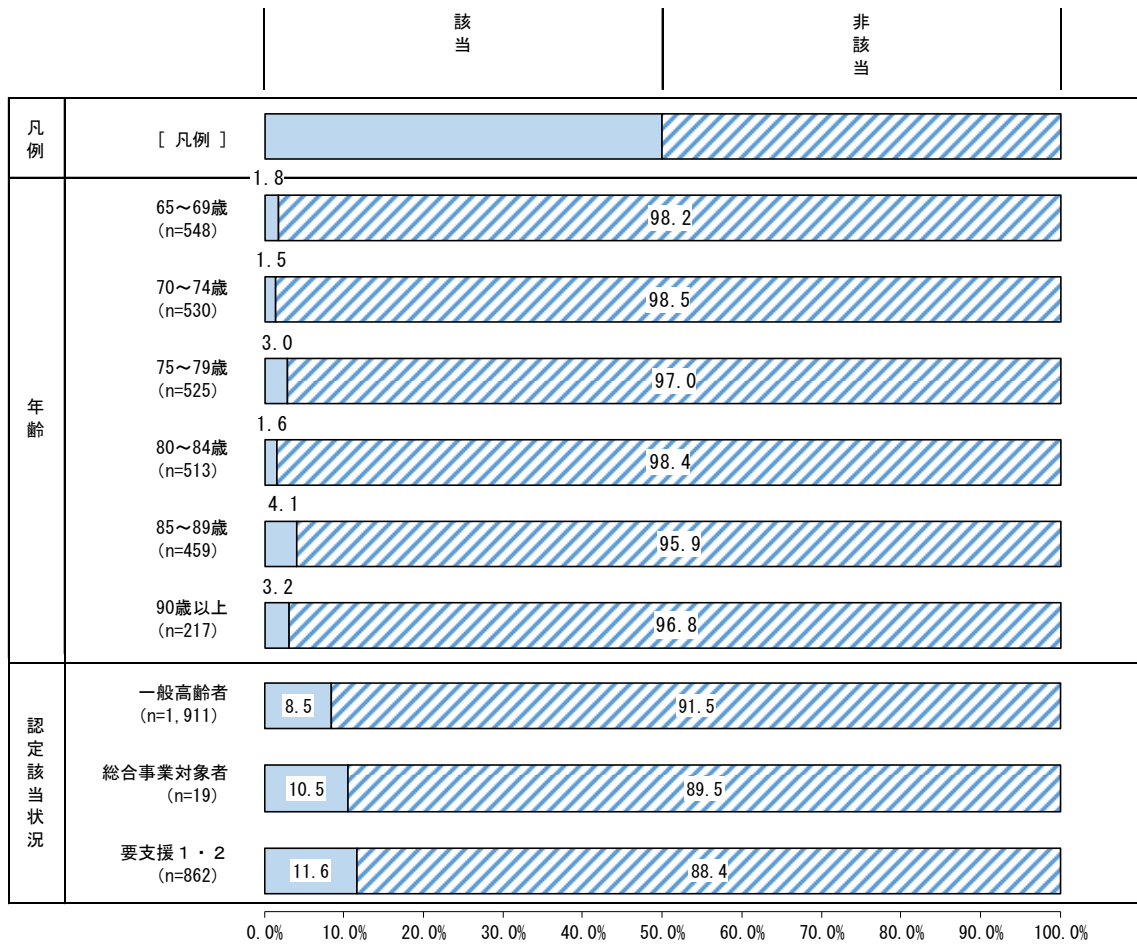
【年齢】

○ 「該当」は85~89歳が4.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



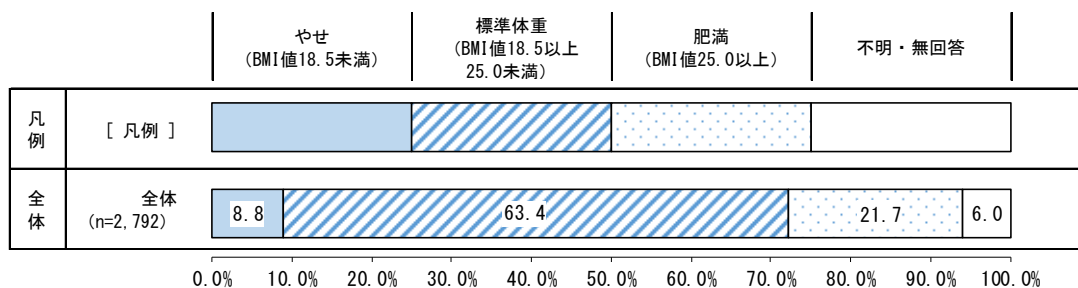


【評価項目の回答状況】

1 BMI判定結果

【全体】

○ BMI について、「標準体重 (BMI 値 18.5 以上 25.0 未満)」が 63.4%で最も多く、次いで「肥満 (BMI 値 25.0 以上)」が 21.7%、「やせ (BMI 値 18.5 未満)」が 8.8%となっています。



※BMI の求め方と判定基準

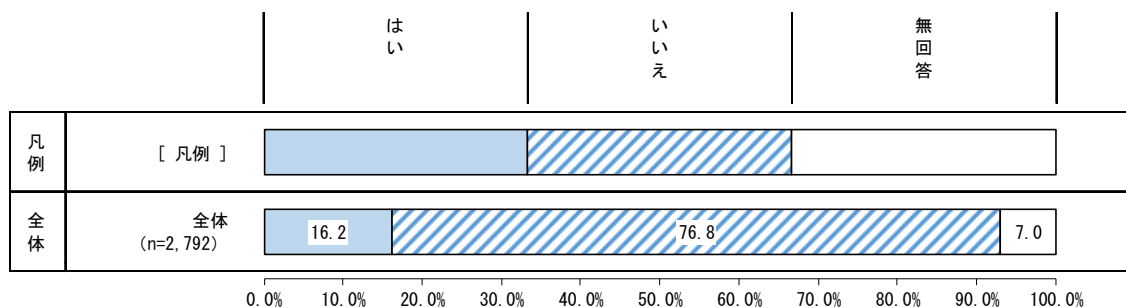
$$\text{BMI} = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$$

やせ	BMI 値	18.5 未満
標準	BMI 値	18.5 以上 25.0 未満
肥満	BMI 値	25.0 以上

7 6 か月間で 2～3 kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)

【全体】

○ 6 か月間の急激な体重減少の有無について、「はい」が 16.2%、「いいえ」が 76.8%となっています。



口腔機能の低下リスク

●判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

【全体】

○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が32.3%、「非該当」が67.7%となっています。

【圏域】

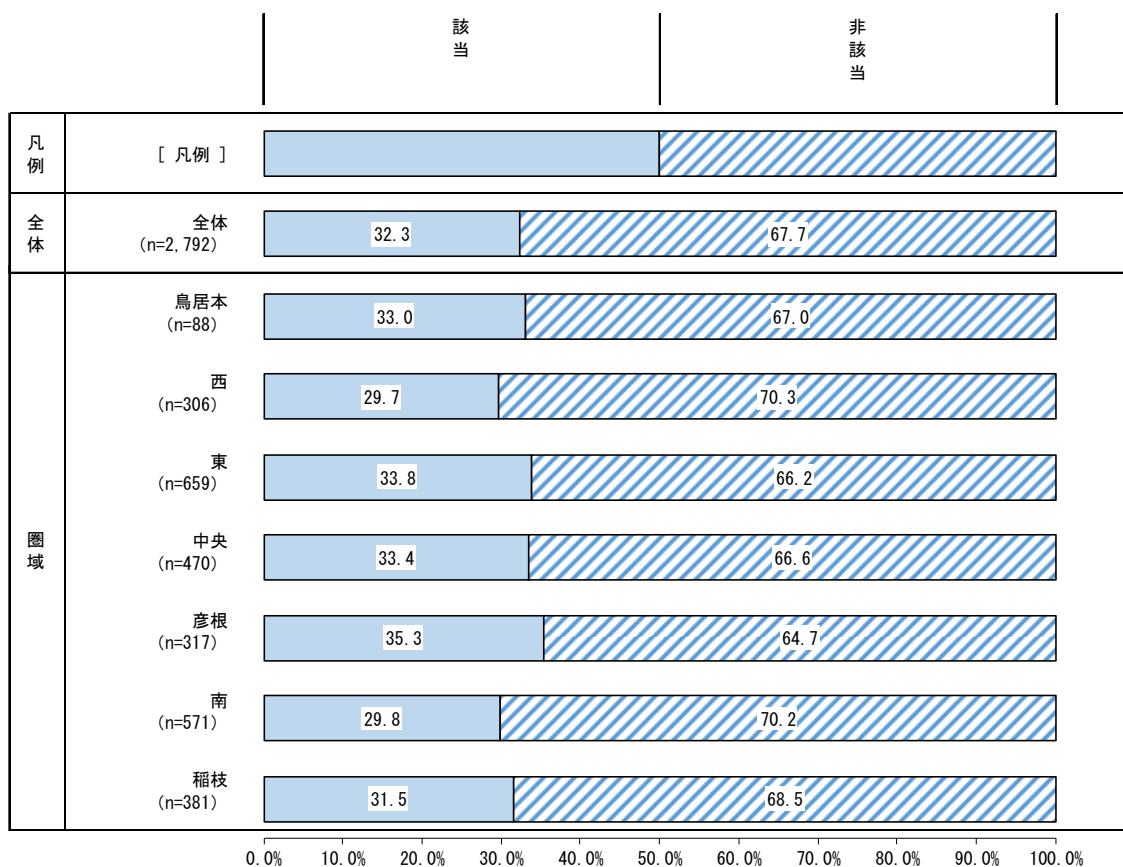
○ 「該当」は彦根が35.3%と他の区分に比べて多くなっています。

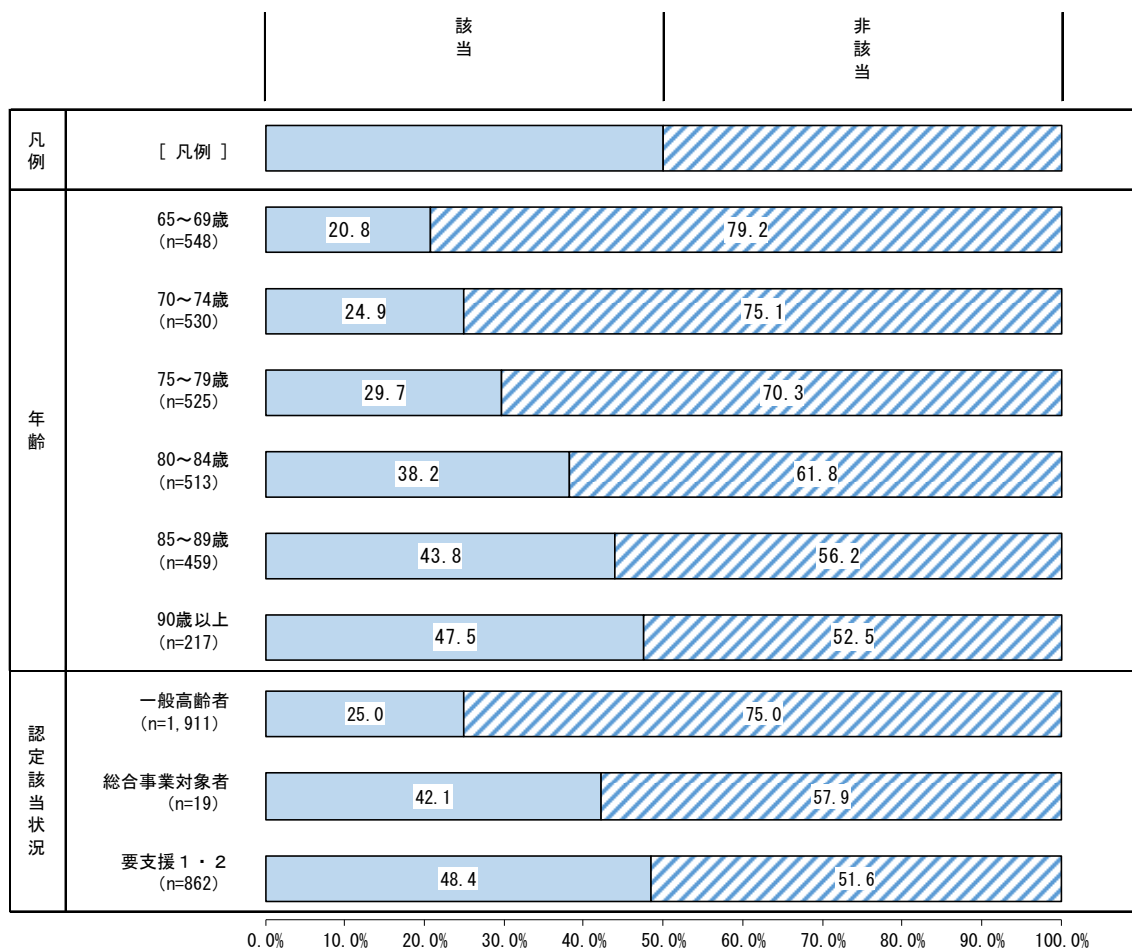
【年齢】

○ 年齢が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

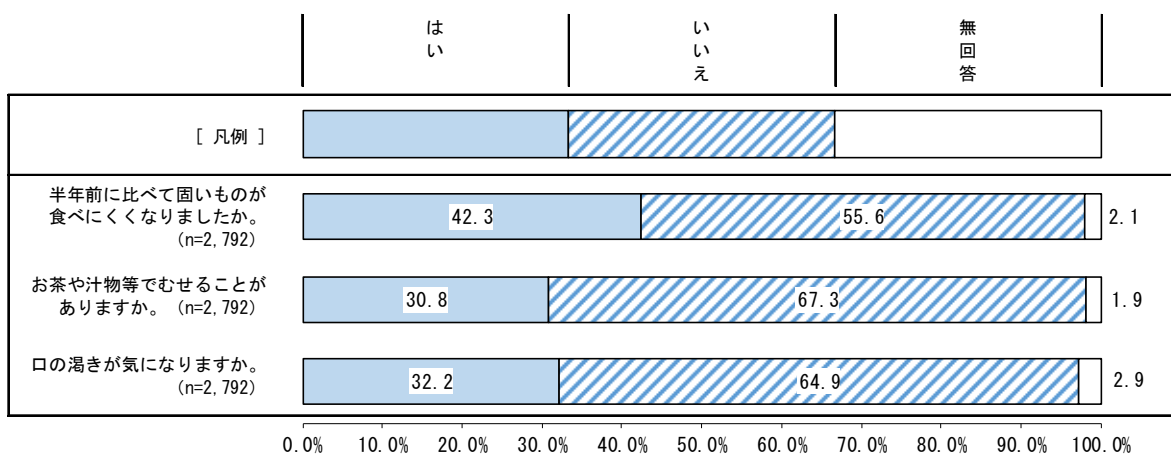
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。





【評価項目の回答状況】

- 2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)
- 3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)
- 4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)

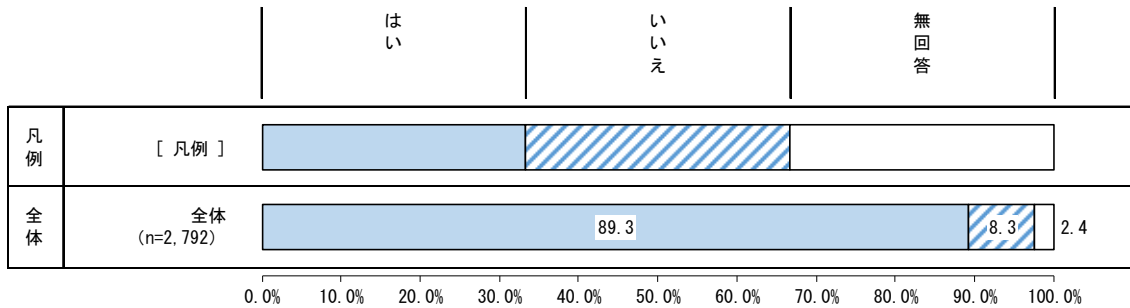


【関連設問】

5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ○）

【全体】

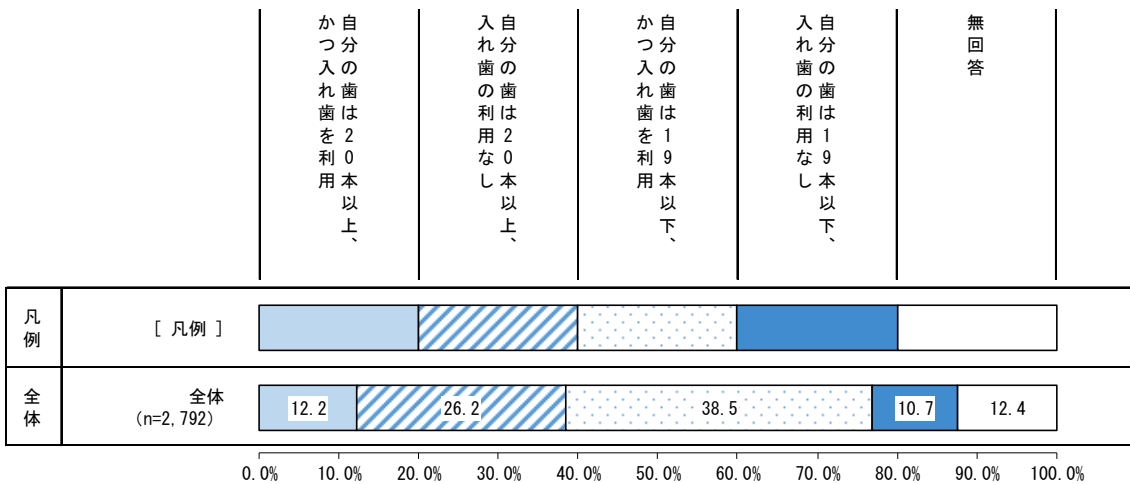
○ 「はい」が89.3%、「いいえ」が8.3%となっています。



6 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）（1つだけ○）

【全体】

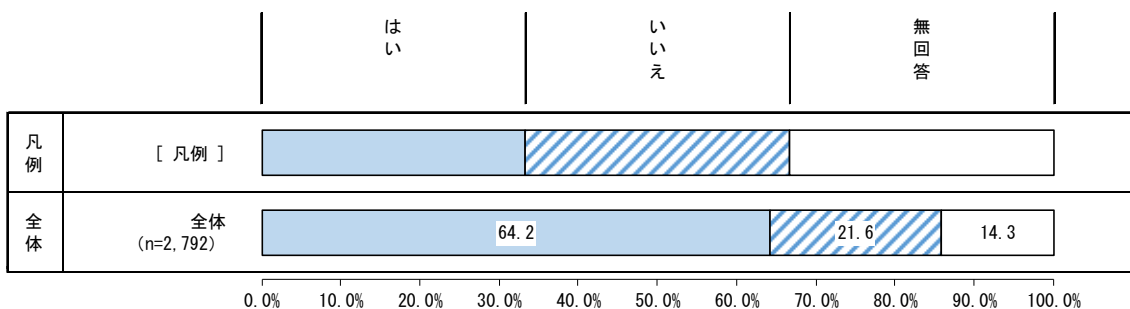
○ 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が38.5%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が26.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が12.2%となっています。



6-1 噛み合わせは良いですか。（1つだけ○）

【全体】

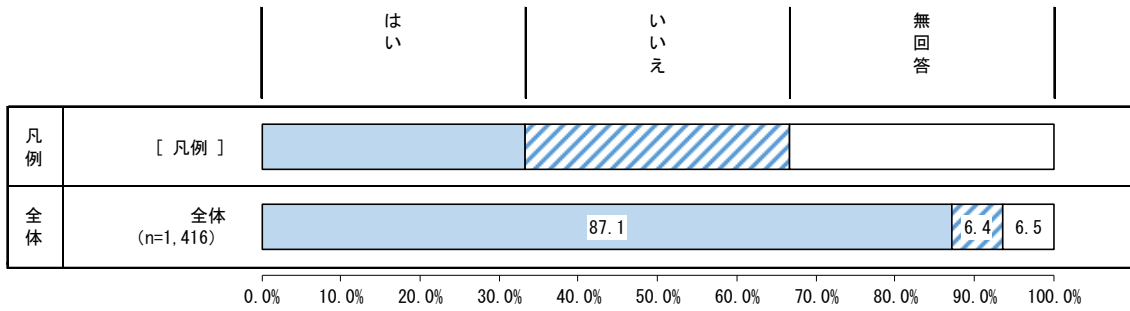
○ 「はい」が64.2%、「いいえ」が21.6%となっています。



6-2 (入れ歯を利用している方) 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つだけ○)

【全体】

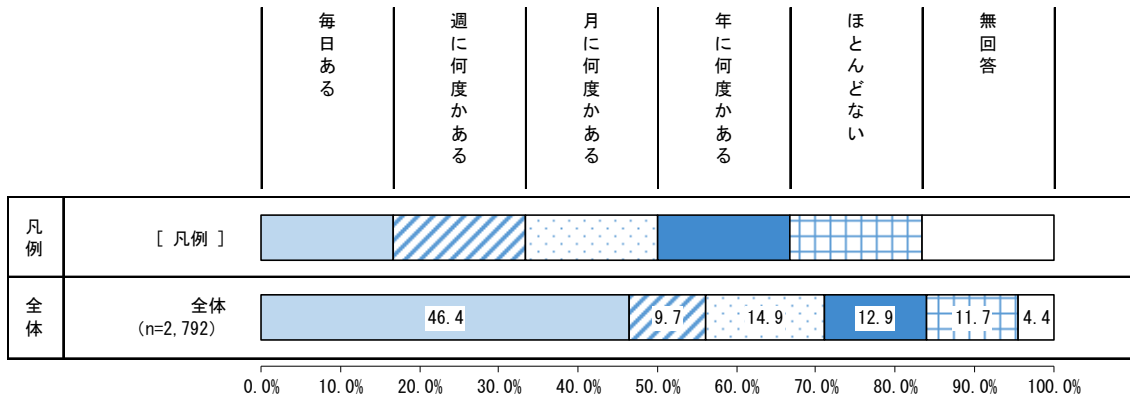
○ 「はい」が87.1%、「いいえ」が6.4%となっています。



8 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 誰かと食事をとる機会について、「毎日ある」が46.4%で最も多く、次いで「月に何度かある」が14.9%、「年に何度かある」が12.9%となっています。「年に何度かある」「ほとんどない」を合わせた“孤食傾向の方”は24.6%となっています。



問4 毎日の生活について

認知機能の低下リスク

●判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

【全体】

○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が47.5%、「非該当」が52.5%となっています。

【圏域】

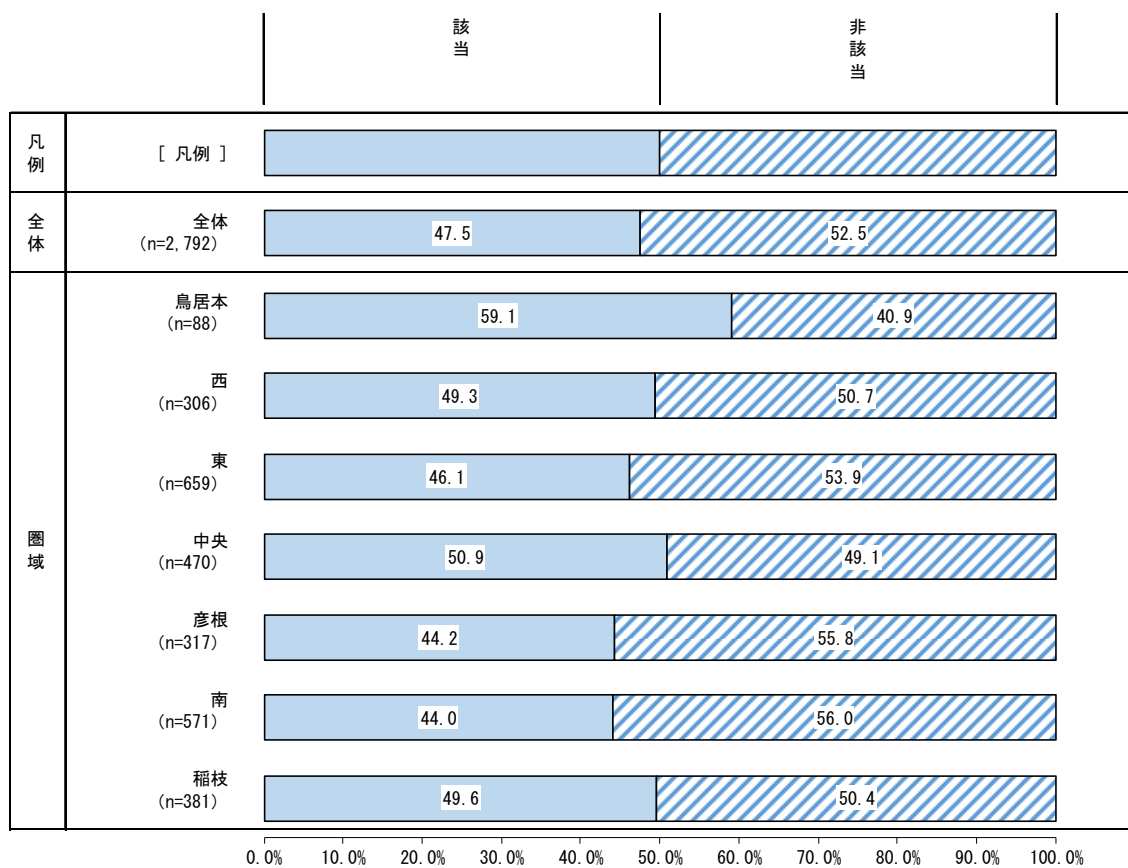
○ 「該当」は鳥居本が59.1%と他の区分に比べて多くなっています。

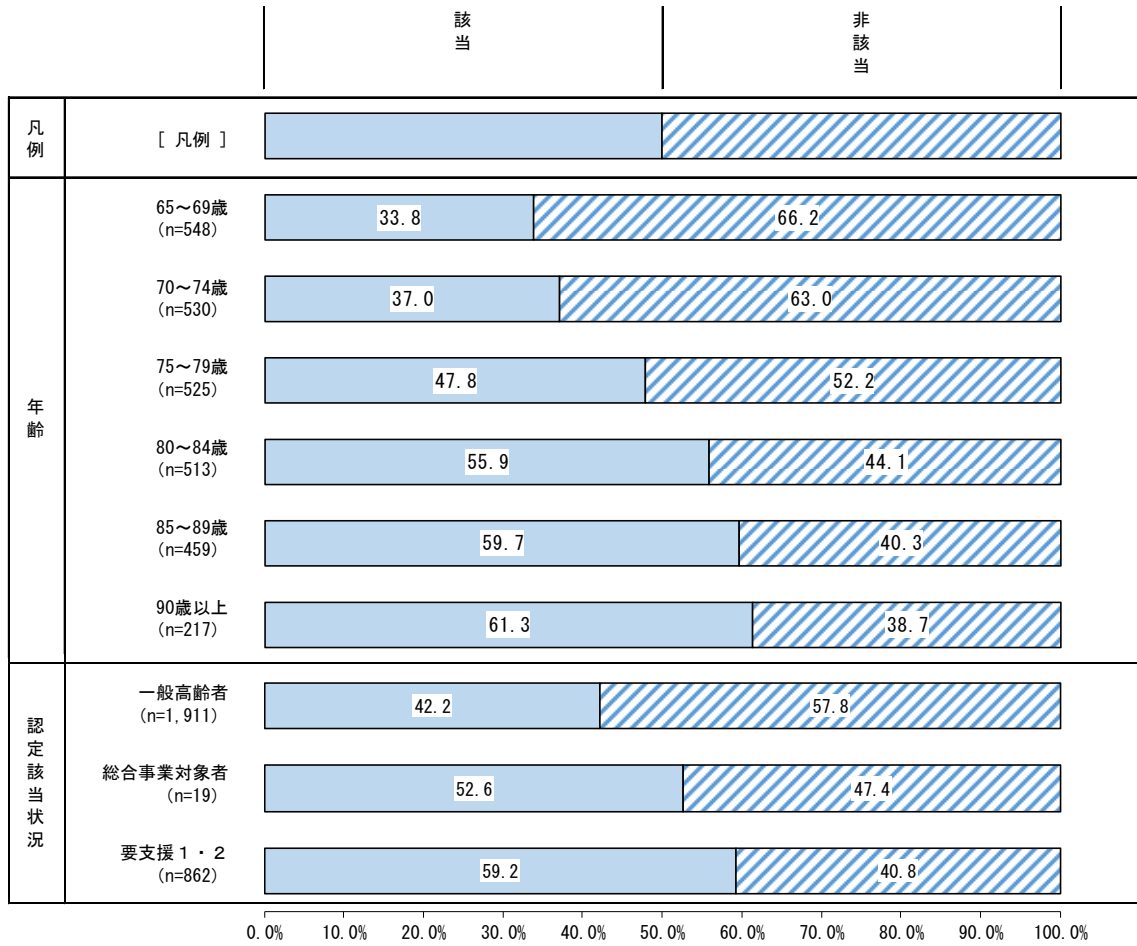
【年齢】

○ 年齢が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

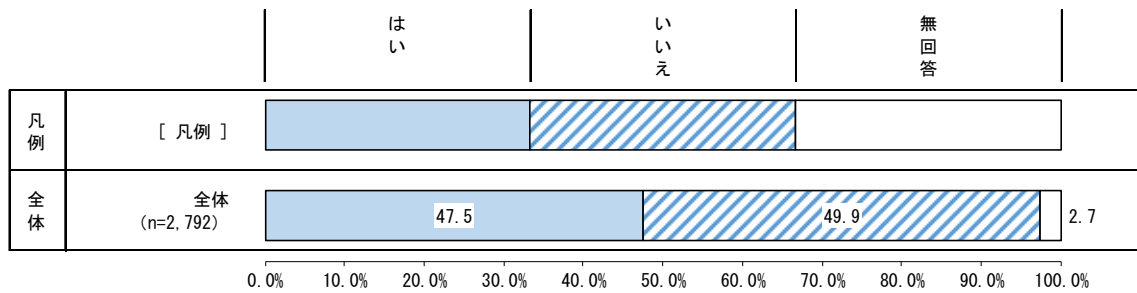
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。





【評価項目の回答状況】

1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)



【関連設問】

2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

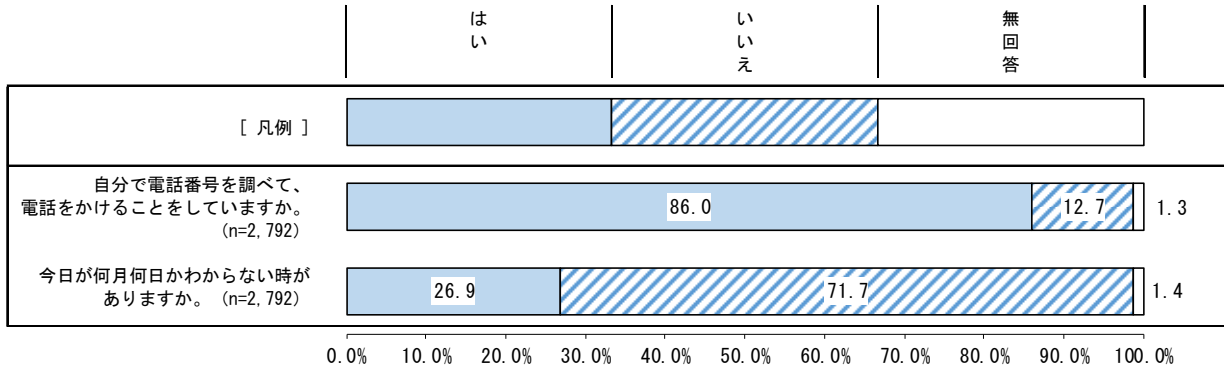
【全体】

○ 問 4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。について、「はい」が86.0%、「いいえ」が12.7%となっています。

3 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 問 4.3 今日が何月何日かわからない時がありますか。について、「はい」が26.9%、「いいえ」が71.7%となっています。



手段的自立度（IADL）

●判定方法

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

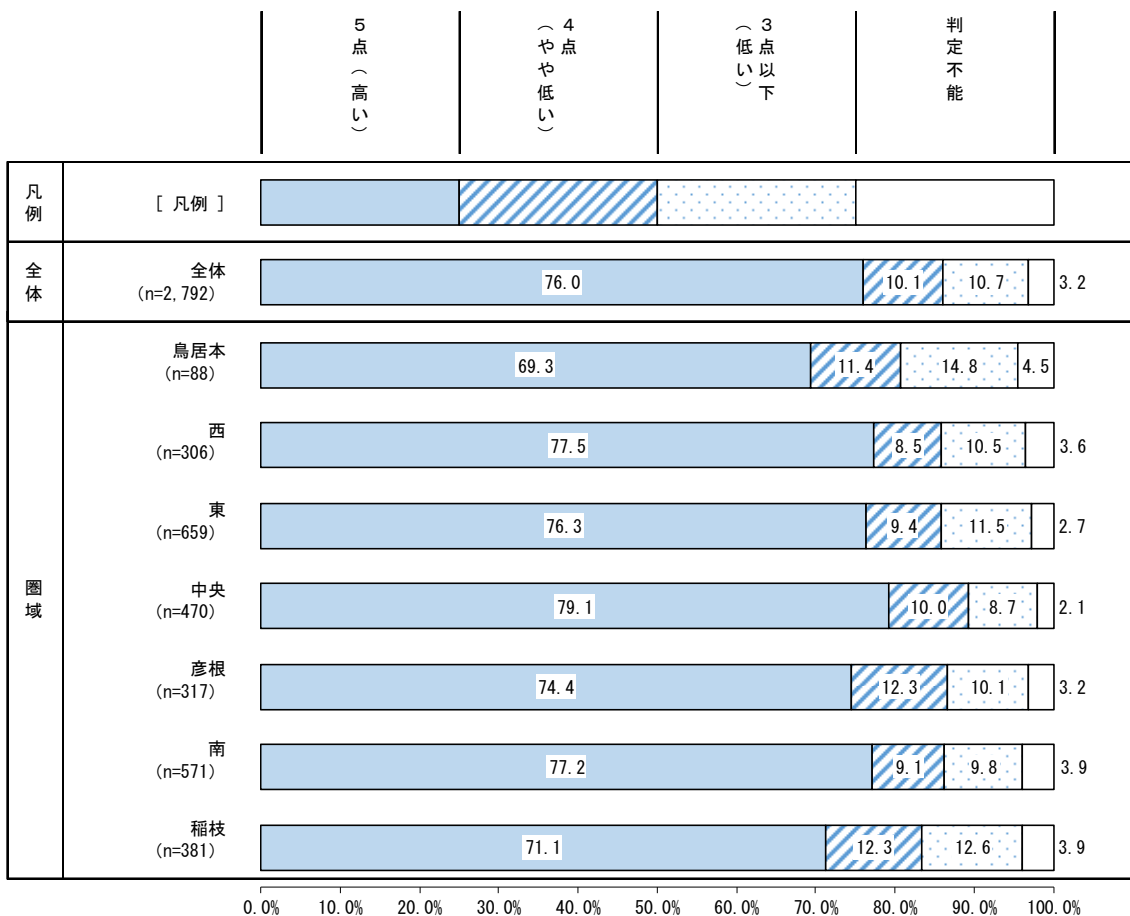
※手段的自立度（IADL）とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

【全体】

- IADL について、「5点（高い）」が 76.0%で最も多く、次いで「3点以下（低い）」が 10.7%、「4点（やや低い）」が 10.1%となっています。「4点（やや低い）」「3点以下（低い）」を合わせた“IADL が低下している高齢者”は 20.8%となっています。

【圏域】

- “IADL が低下している高齢者”は鳥居本が 26.2%、稲枝が 24.9%と他の区分に比べて多くなっています。

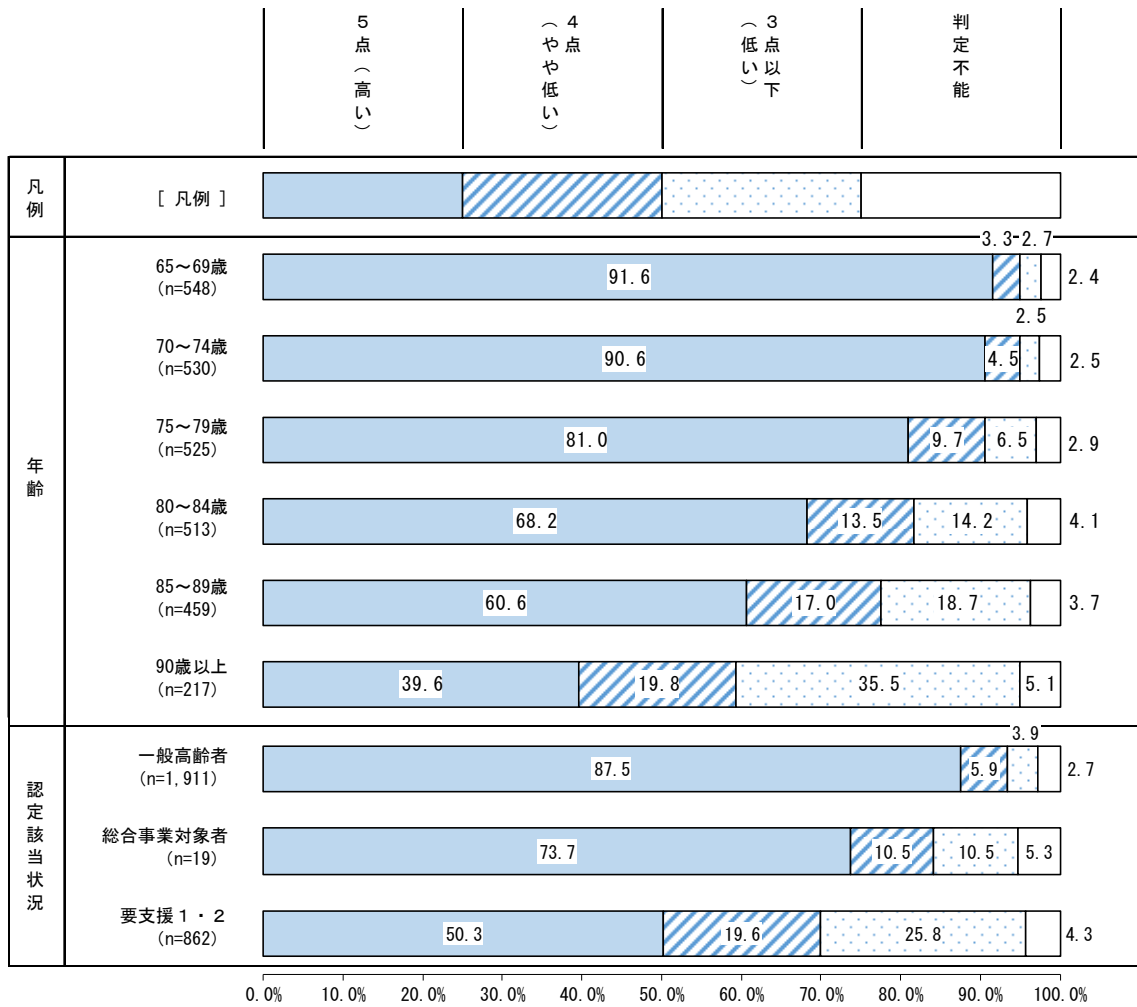


【年齢】

○ 年齢が高いほど“IADLが低下している高齢者”が多くなる傾向がみられます。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど“IADLが低下している高齢者”が多くなる傾向がみられます。

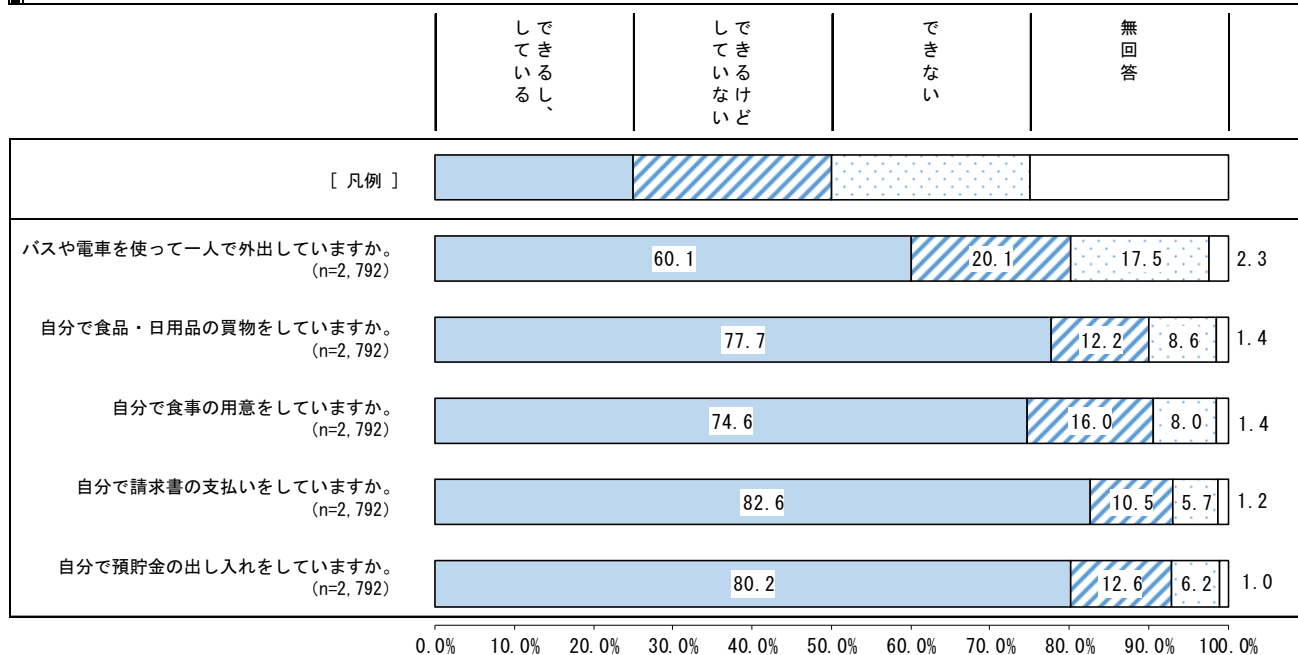


【評価項目の回答状況】

- 4 バスや電車を使って一人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つだけ○）
- 5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（1つだけ○）
- 6 自分で食事の用意をしていますか。（1つだけ○）
- 7 自分で請求書の支払いをしていますか。（1つだけ○）
- 8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（1つだけ○）

【全体】

○ 「バスや電車を使って1人で外出していますか」について、「できない」が15.0%を超え、高くなっています。

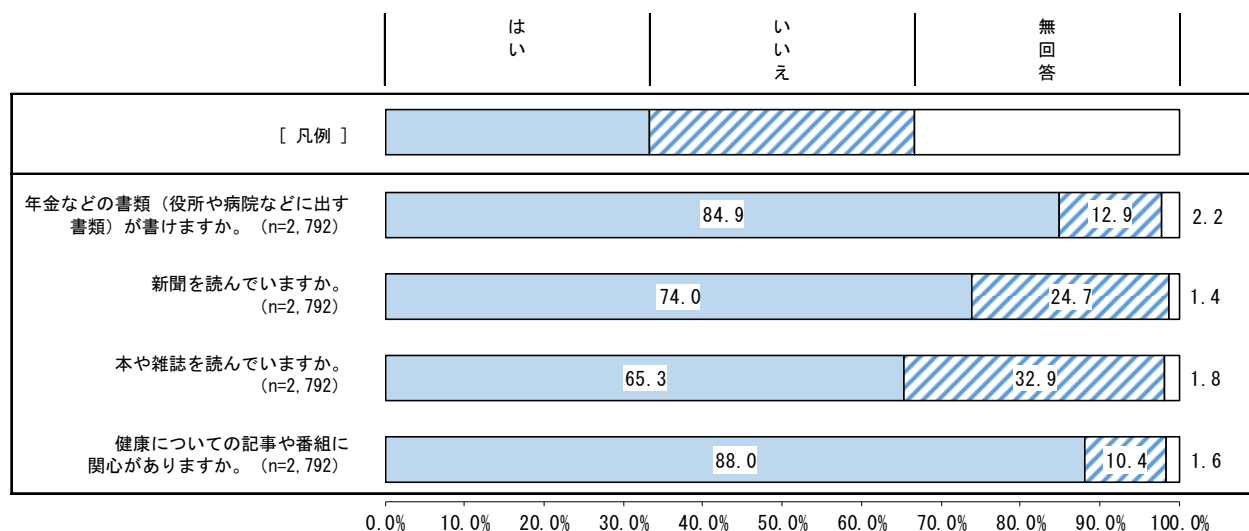


知的能動性・社会的役割

- 9 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つだけ○）
- 10 新聞を読んでいますか。（1つだけ○）
- 11 本や雑誌を読んでいますか。（1つだけ○）
- 12 健康についての記事や番組に関心がありますか。（1つだけ○）

【全体】

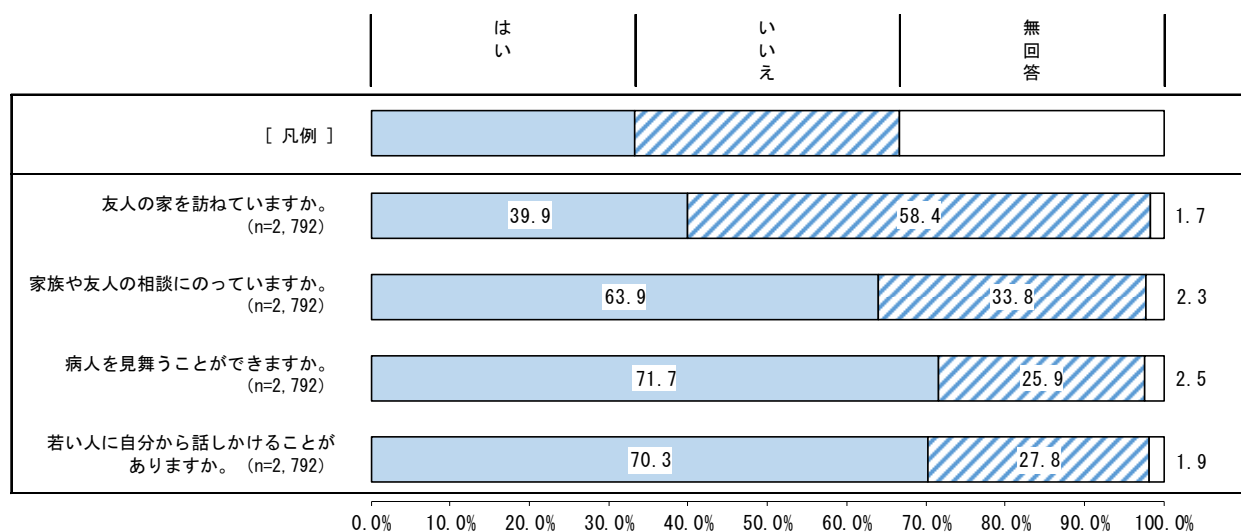
- 高齢者の知的活動に関する設問について、「年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか」「健康についての記事や番組に関心がありますか」では「はい」が80.0%を超えています。
- 一方で「本や雑誌を読んでいますか」では「はい」が65.3%となっています。



- 13 友人の家を訪ねていますか。（1つだけ○）
- 14 家族や友人の相談にのっていますか。（1つだけ○）
- 15 病人を見舞うことができますか。（1つだけ○）
- 16 若い人に自分から話しかけることがありますか。（1つだけ○）

【全体】

- 高齢者の社会的活動に関する設問について、「友人の家を訪ねていますか」で「はい」が39.9%となっています。



趣味・生きがい

17 趣味はありますか。(1つだけ○)

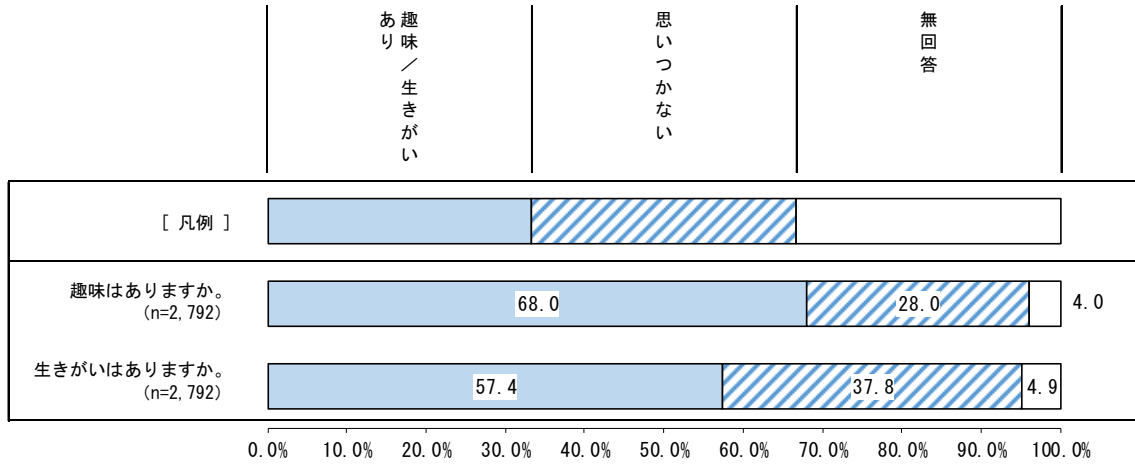
【全体】

○ 趣味について、「趣味あり」が68.0%、「思いつかない」が28.0%となっています。

18 生きがいはありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 生きがいについて、「生きがいあり」が57.4%、「思いつかない」が37.8%となっています。

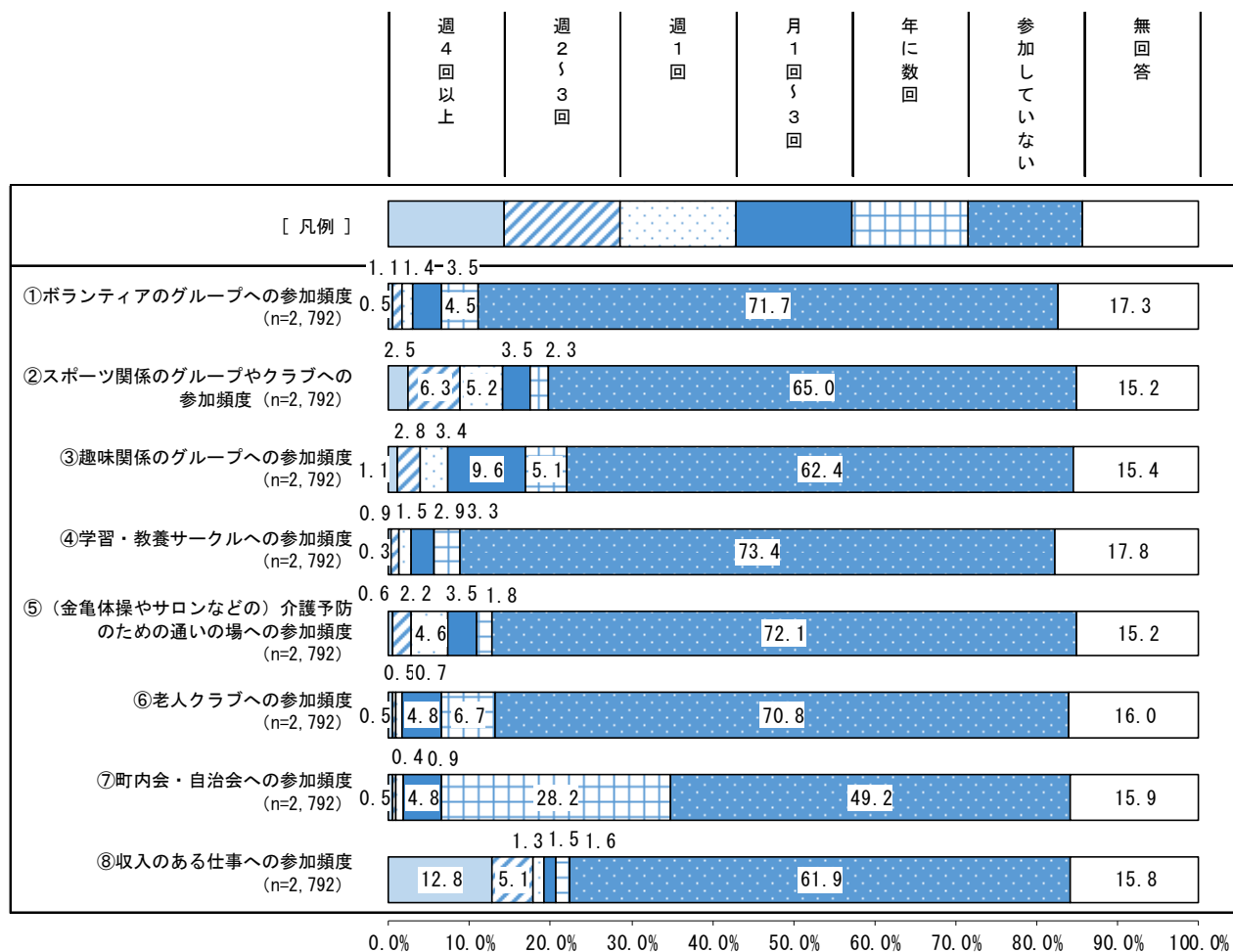


問5 地域での活動について

1 以下のような会・グループ等にどれくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つだけ○)

【全体】

○ 会・グループへの参加頻度について、年に数回以上参加している割合は「町内会・自治会」「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」で比較的高くなっています。

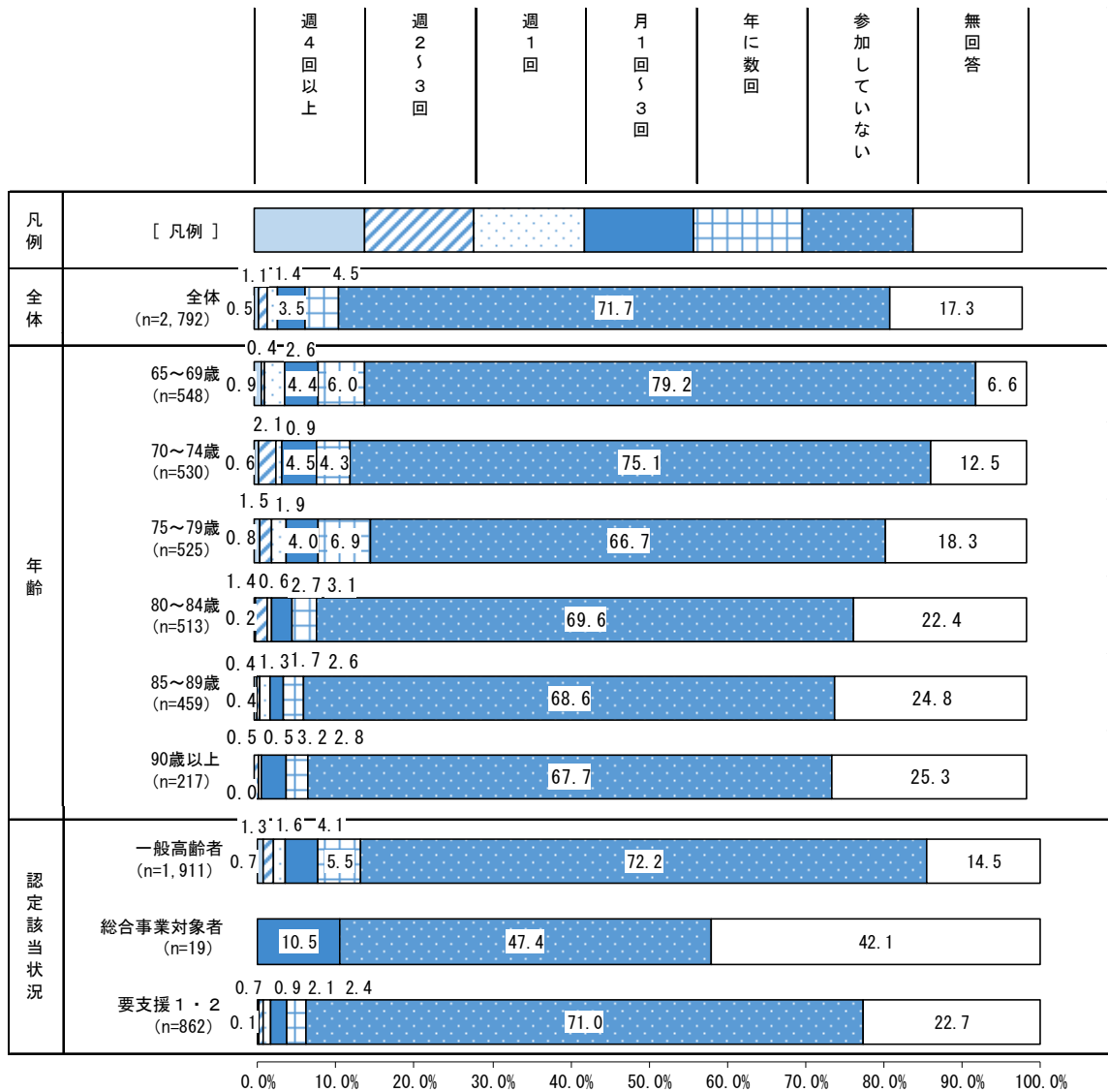


①ボランティアのグループ

【全体】
 ○ ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が71.7%で最も多く、次いで「年に数回」が4.5%、「月1回～3回」が3.5%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は3.0%となっています。

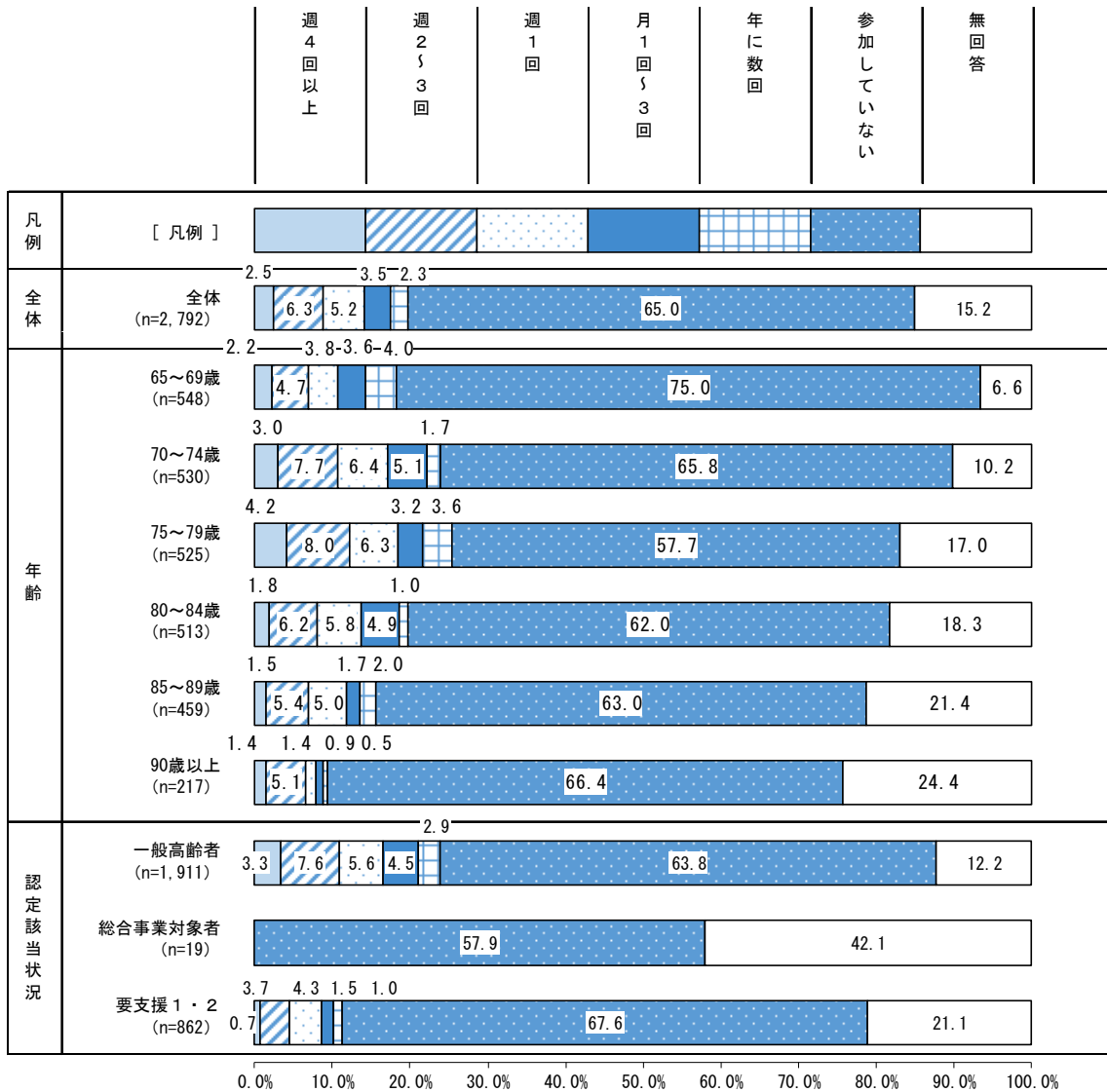
【年齢】
 ○ “年に数回以上参加している人”は65～79歳が10.0%を超えており、80歳以上に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】
 ○ 「月1回～3回」は総合事業対象者が10.5%と他の区分に比べて多くなっています。



②スポーツ関係のグループやクラブ

- 【全体】**
- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が65.0%で最も多く、次いで「週2～3回」が6.3%、「週1回」が5.2%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は14.0%となっています。
- 【年齢】**
- “週1回以上参加している人”は70～79歳で15%を超えており、他の区分に比べて多くなっています。
 - 「参加していない」は65～84歳にかけて下がり、その後上昇しています。

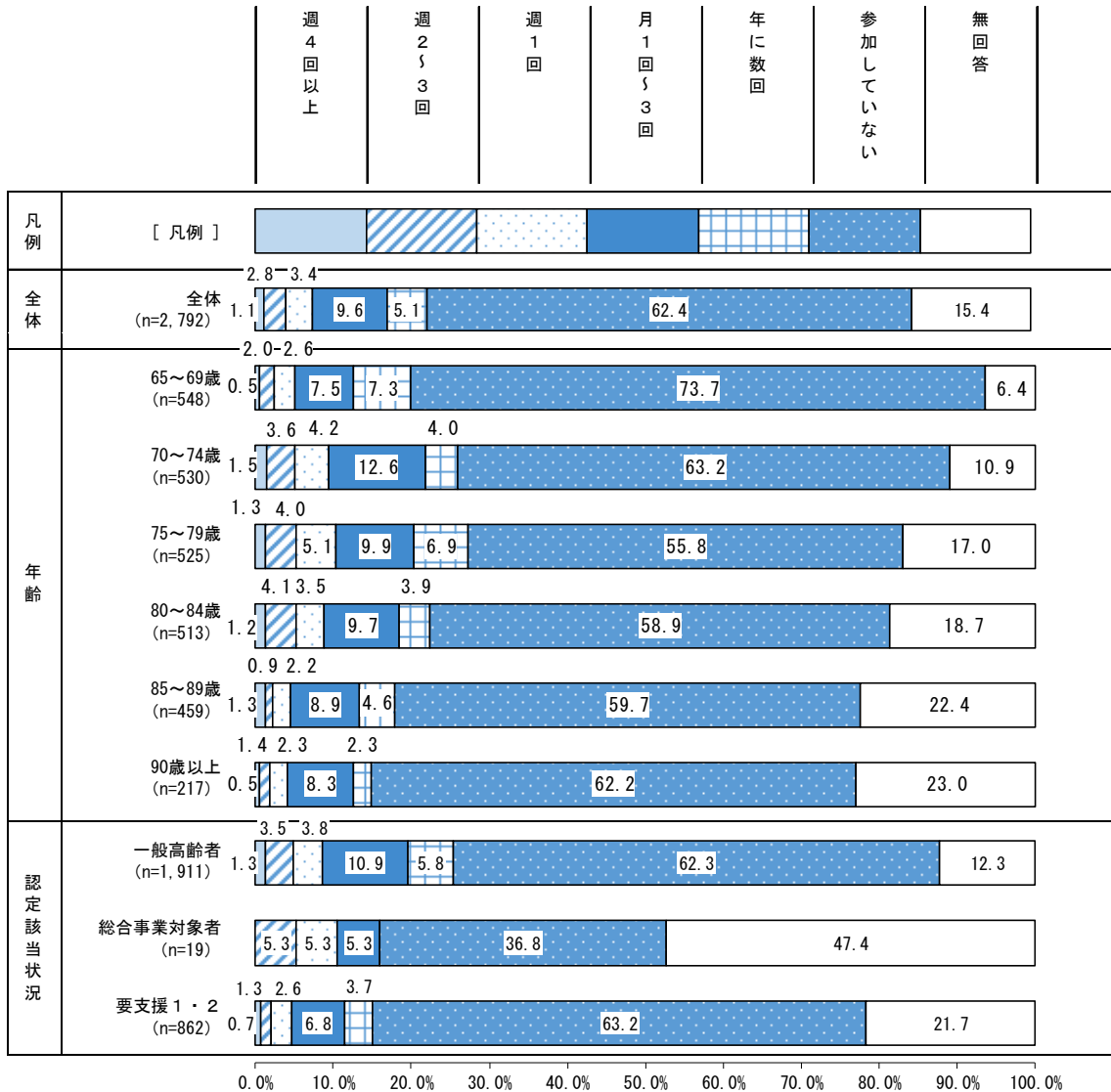


③趣味関係のグループ

【全体】
 ○ ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が62.4%で最も多く、次いで「月1回～3回」が9.6%、「年に数回」が5.1%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は7.3%となっています。

【年齢】
 ○ “年に数回以上参加している人”は70～79歳が25.0%を超えており、他の区分に比べて多くなっています。

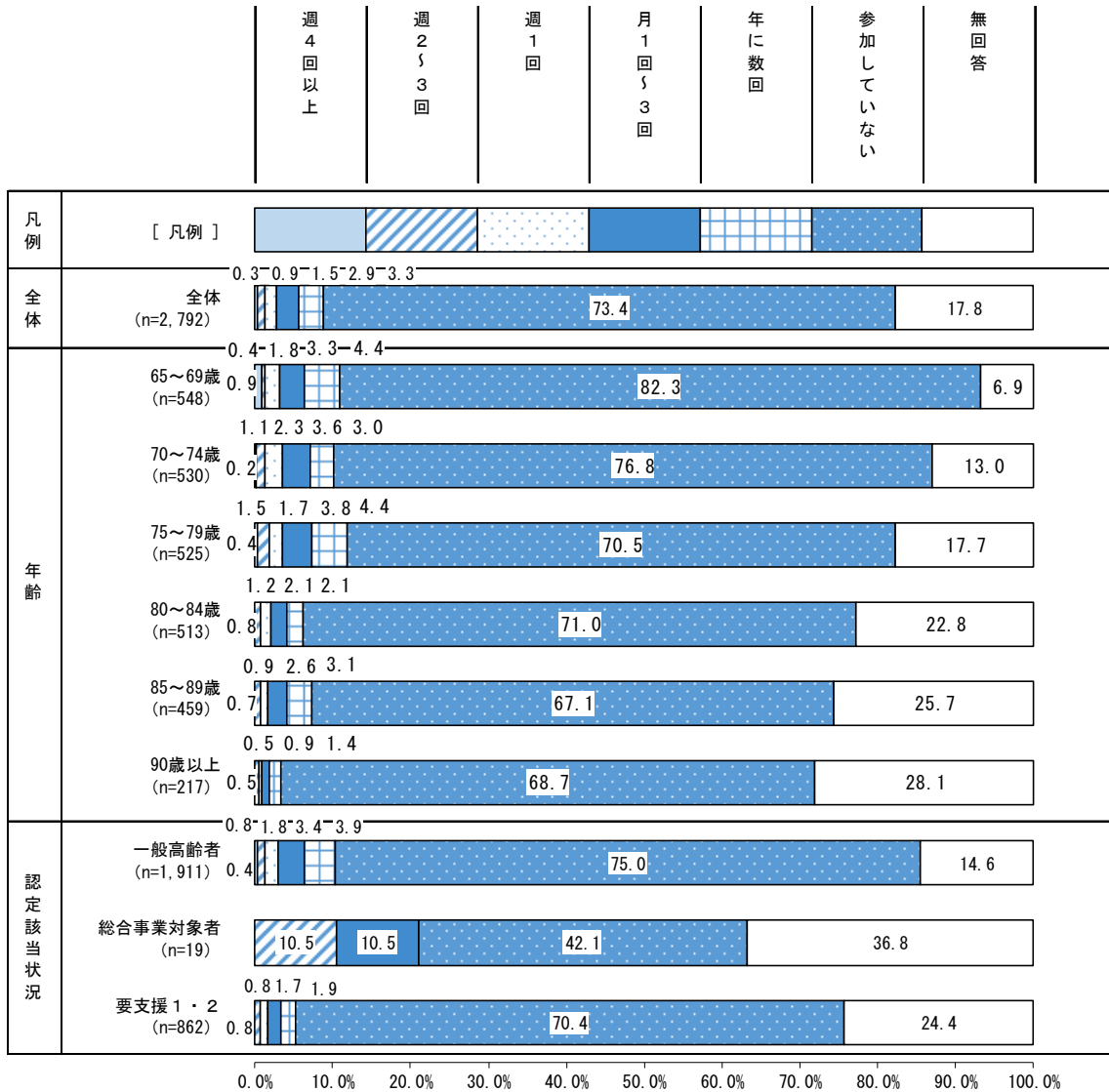
【認定該当状況】
 ○ 「月1回～3回」は一般高齢者が10.9%と他の区分に比べて多くなっています。



④学習・教養サークル

【全体】
 ○ ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が73.4%で最も多く、次いで「年に数回」が3.3%、「月1回～3回」が2.9%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は2.7%となっています。

【年齢】
 ○ “年に数回以上参加している人”は65～79歳が10%を超えており、他の区分に比べて多くなっています。

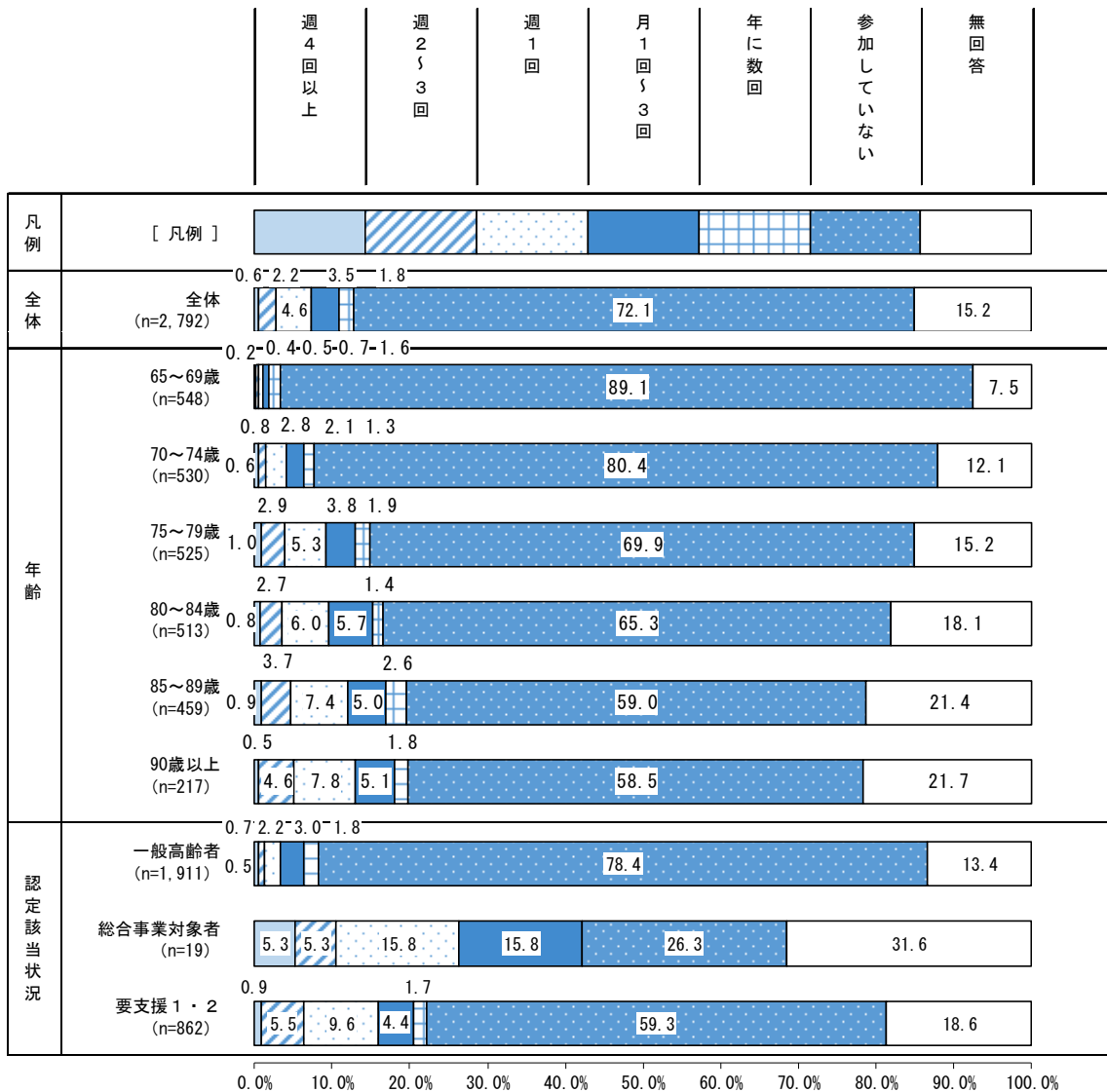


⑤（金亀体操やサロンなどの）介護予防のための通いの場

【全体】
 ○ ⑤（金亀体操やサロンなどの）介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が72.1%で最も多く、次いで「週1回」が4.6%、「月1回～3回」が3.5%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は7.4%となっています。

【年齢】
 ○ 年齢が高いほど「参加していない」が少なくなる傾向がみられます。
 ○ “年に数回以上参加している人”は75歳以上で10.0%を超えており、74歳以下に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ “週1回以上参加している人”は総合事業対象者が26.4%と他の区分に比べて多くなっています。

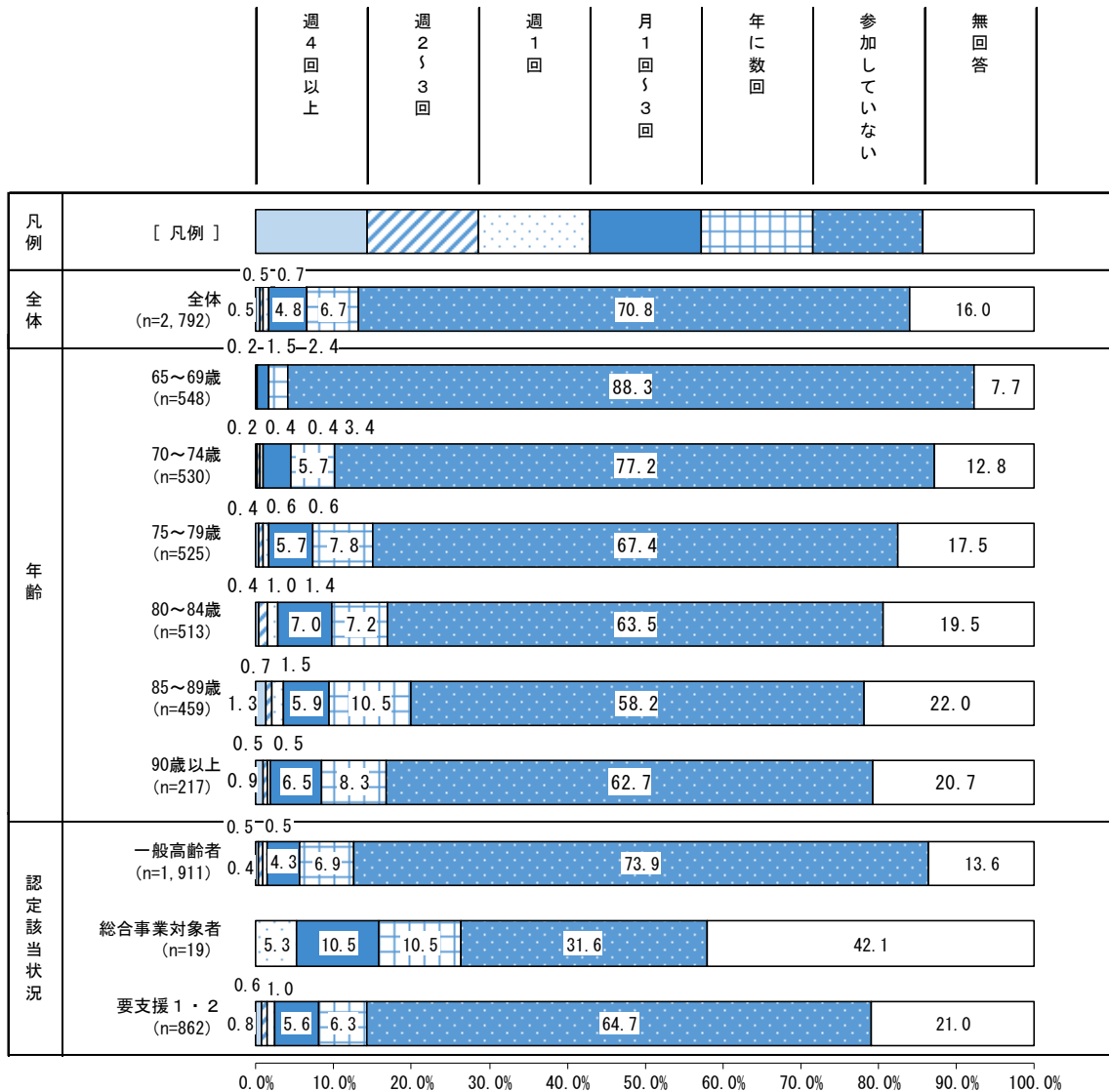


⑥老人クラブ

【全体】
 ○ ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が70.8%で最も多く、次いで「年に数回」が6.7%、「月1回～3回」が4.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.7%となっています。

【年齢】
 ○ “年に数回以上参加している人”は75歳以上が15.0%を超えており、74歳以下に比べて多くなっています。

【認定該当状況】
 ○ “年に数回以上参加している人”は総合事業対象者が26.3%と他の区分に比べて多くなっています。

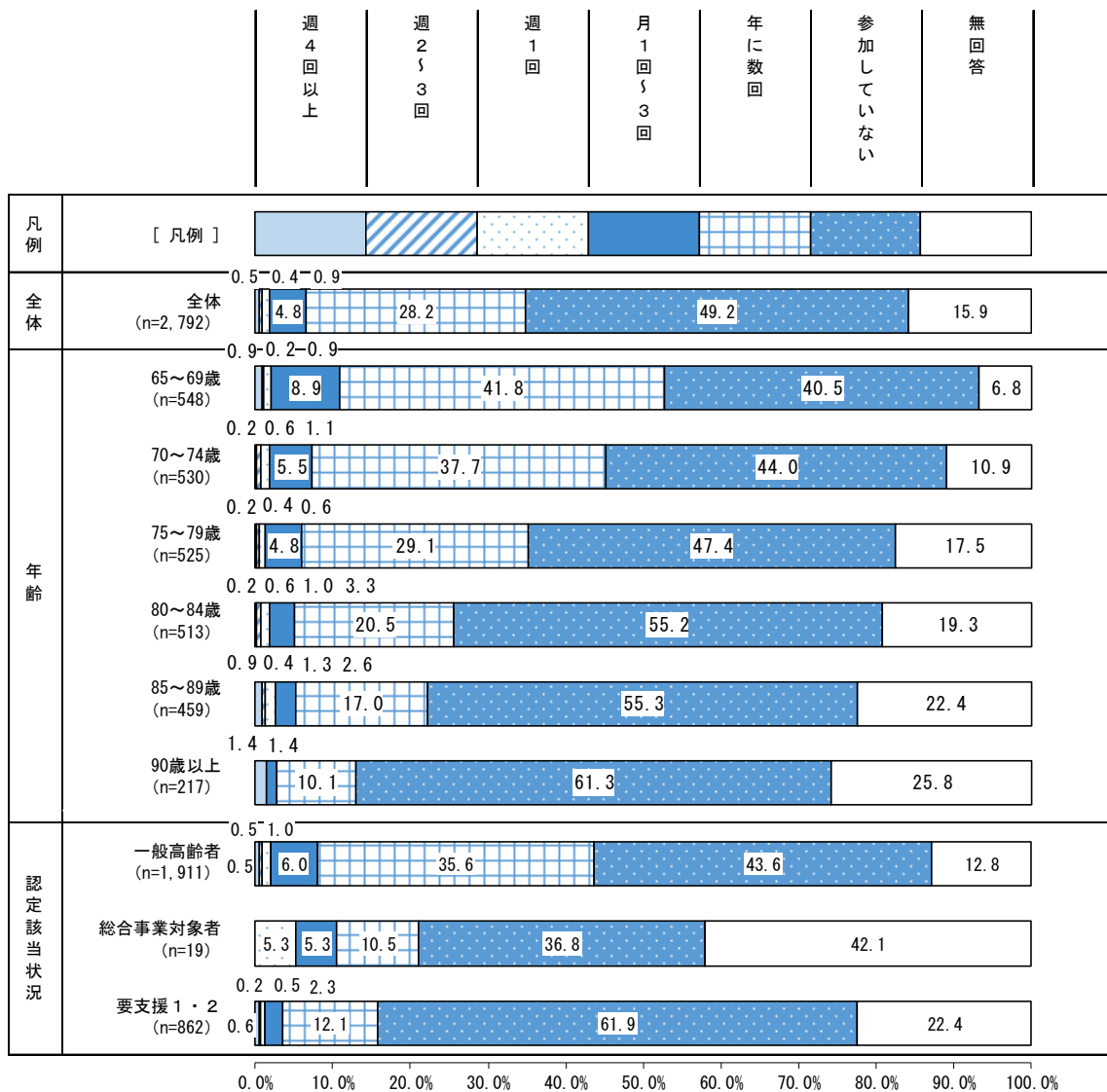


⑦町内会・自治会

【全体】
 ○ ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が49.2%で最も多く、次いで「年に数回」が28.2%、「月1回～3回」が4.8%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は1.8%となっています。

【年齢】
 ○ 年齢が高いほど、“年に数回以上参加している人”が少なくなる傾向がみられます。

【認定該当状況】
 ○ 要介護度が高いほど“年に数回以上参加している人”が少なくなる傾向がみられます。

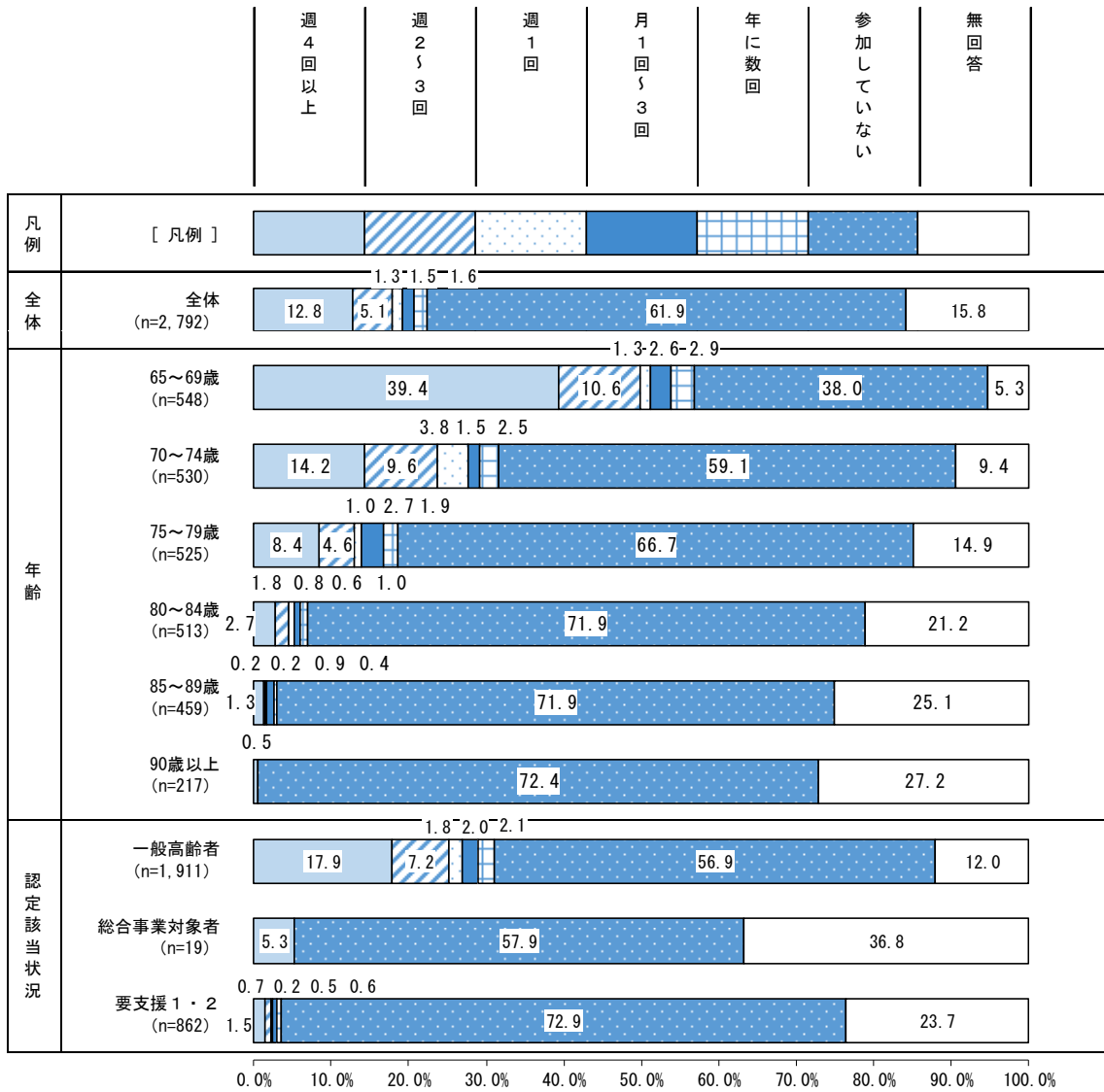


⑧収入のある仕事

【全体】
 ○ ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が61.9%で最も多く、次いで「週4回以上」が12.8%、「週2～3回」が5.1%となっています。「週4回以上」「週2～3回」「週1回」を合わせた“週1回以上参加している人”は19.2%となっています。

【年齢】
 ○ 年齢が高いほど「週4回以上」が少なくなる傾向がみられます。

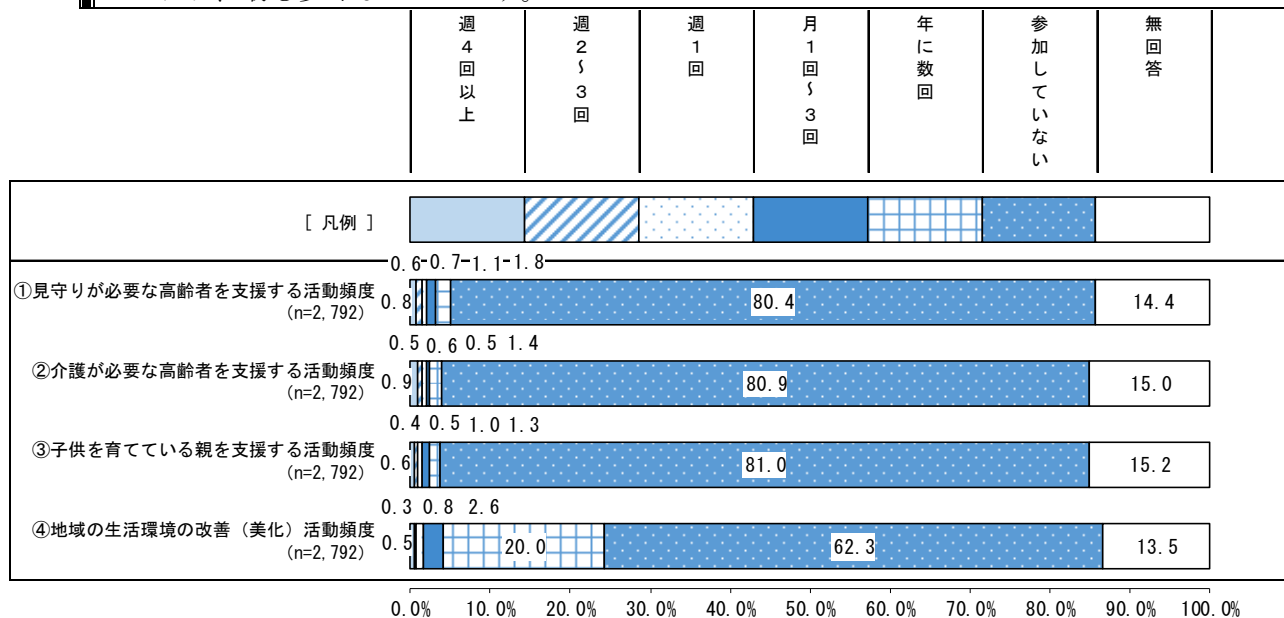
【認定該当状況】
 ○ 要介護度が高いほど「参加していない」が多くなる傾向がみられます。



2 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどれくらいの頻度でしていますか。（それぞれ1つだけ○）

- ①見守りが必要な高齢者を支援する活動
- ②介護が必要な高齢者を支援する活動
- ③子供を育てている親を支援する活動
- ④地域の生活環境の改善（美化）活動

【全体】
 ○ 年に数回以上参加している割合は「地域の生活環境の改善（美化）活動」20.0%を超えており、最も多くなっています。



3 地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

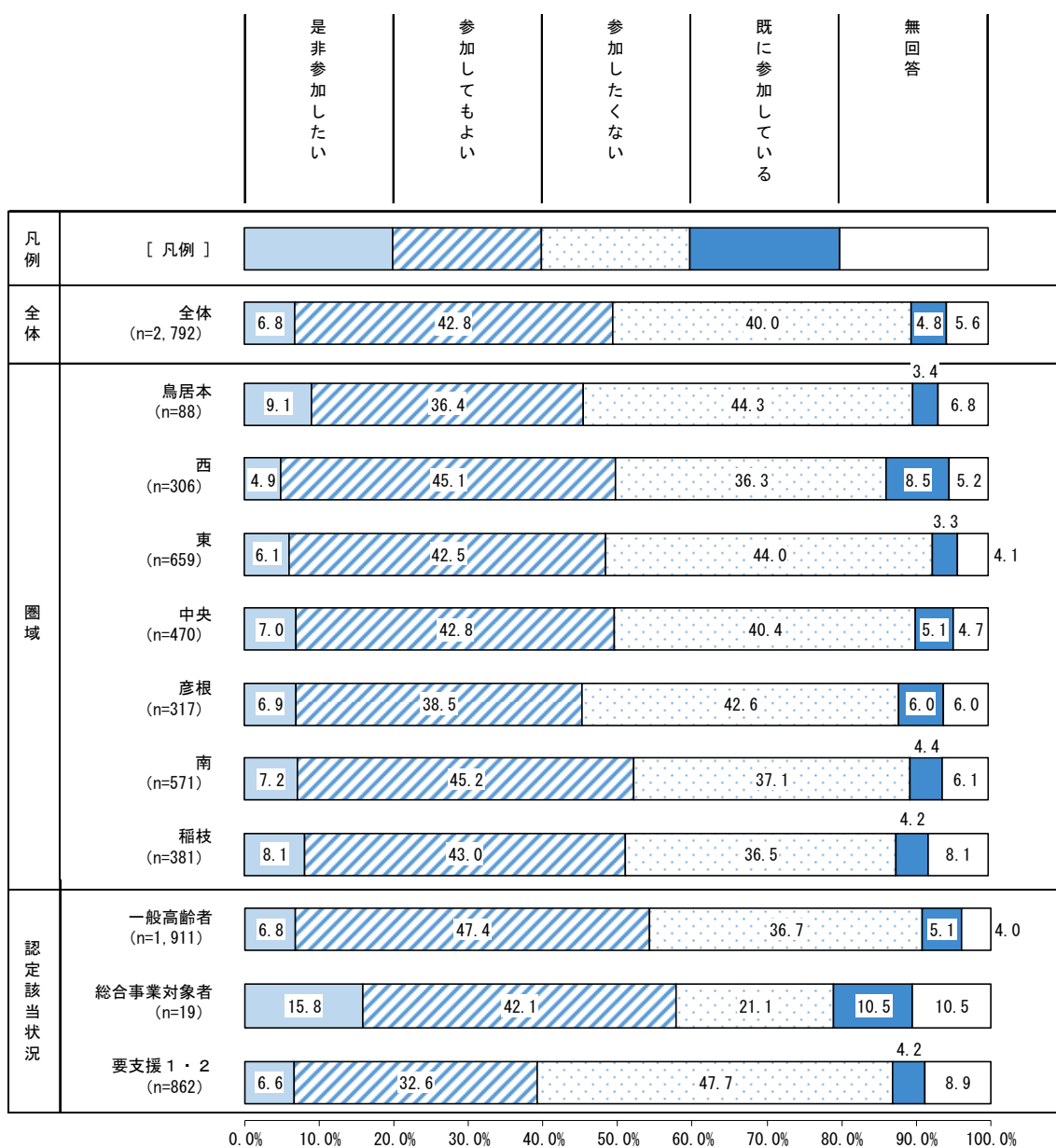
○ 「参加してもよい」が42.8%で最も多く、次いで「参加したくない」が40.0%、「是非参加したい」が6.8%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は49.6%となっています。

【圏域】

○ “参加意向がある方”は鳥居本が45.5%、彦根が45.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

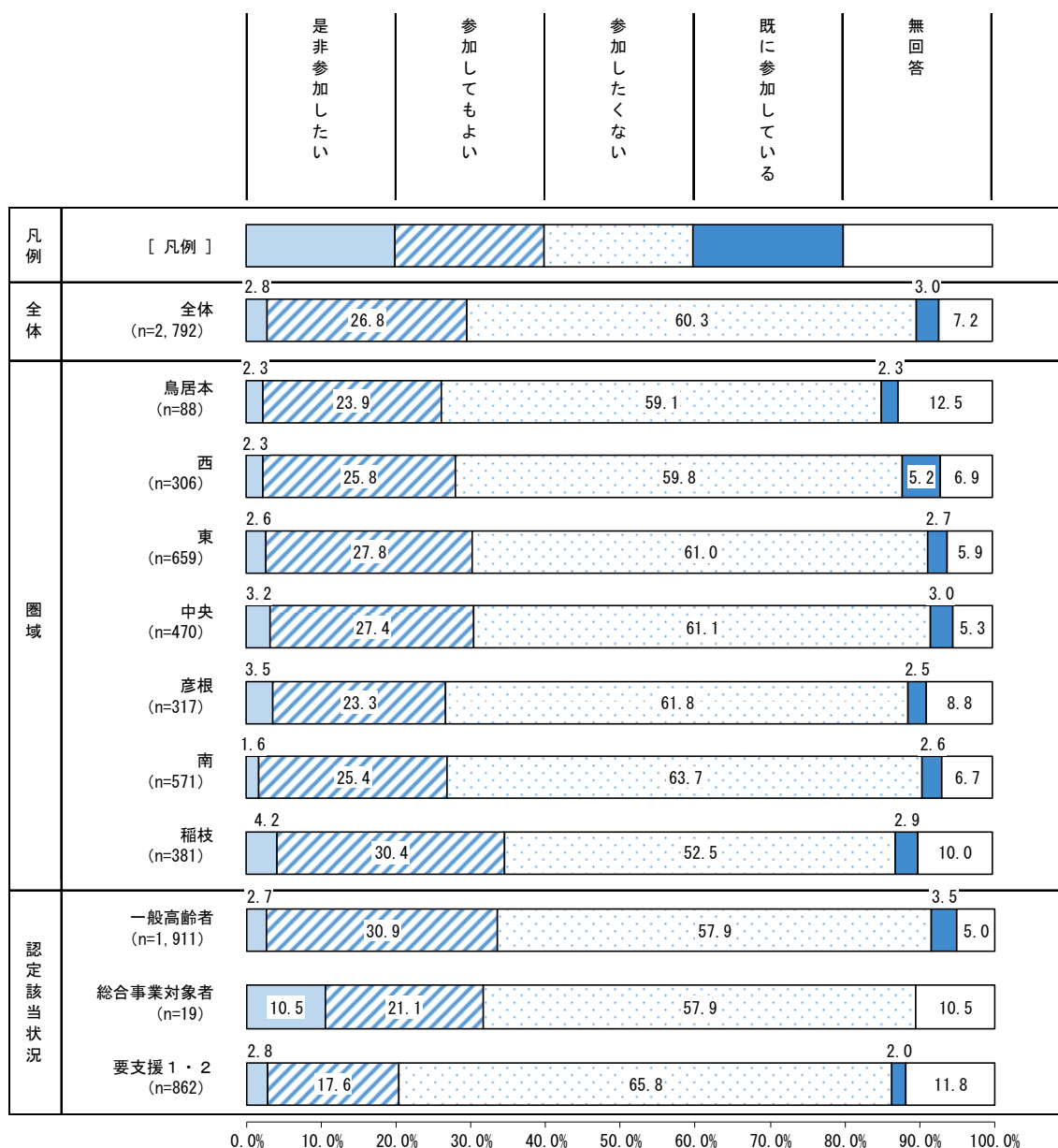
【認定該当状況】

○ “参加意向がある方”は一般高齢者、総合事業対象者では50.0%を超えており、要支援1・2と比べて多くなっています。



4 地域の住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ○）

- 【全体】
 ○ 「参加したくない」が60.3%で最も多く、次いで「参加してもよい」が26.8%、「既に参加している」が3.0%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は29.6%となっています。
- 【圏域】
 ○ “参加意向がある方”は稲枝が34.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】
 ○ 要介護度が高いほど“参加意向がある方”が少なくなる傾向がみられます。



問6 たすけあいについて

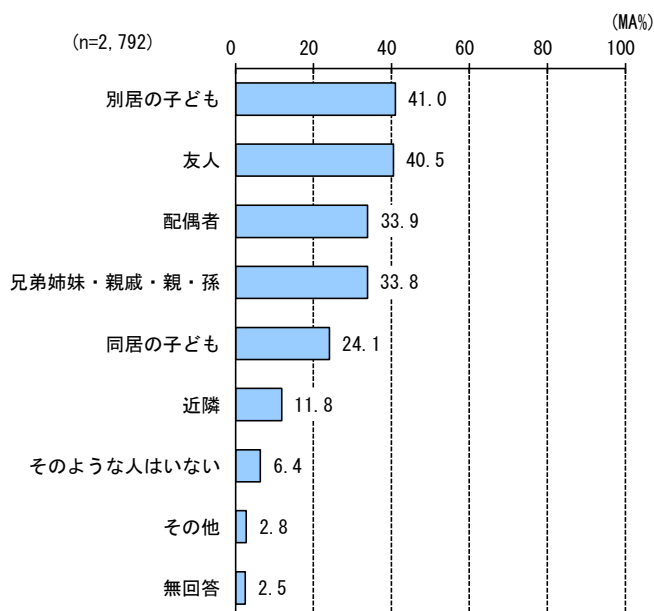
1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも○）

【全体】

- あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「別居の子ども」が41.0%で最も多く、次いで「友人」が40.5%、「配偶者」が33.9%となっています。

【性別】

- 「配偶者」は男性が54.0%と女性の21.6%に比べて多くなっています。
- 「配偶者」「そのような人はいない」を除く項目で、女性のほうが高い結果になっています。



単位：%

		母数 (n)	問6.1(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人 (MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,792	33.9	24.1	41.0	33.8	11.8	40.5	2.8	6.4	2.5
性別	男性	1,062	△ 54.0	17.1	▼ 30.0	24.8	7.1	▼ 28.2	2.7	11.1	2.7
	女性	1,730	▼ 21.6	28.4	47.7	39.4	14.7	48.1	2.9	3.5	2.3
家族構成	1人暮らし	939	▼ 1.6	▼ 2.0	50.6	37.9	15.9	44.9	3.2	11.5	2.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	603	△ 79.4	▼ 3.3	50.6	31.7	9.6	36.8	2.5	2.3	2.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	160	△ 86.3	▼ 3.8	31.3	▼ 20.6	7.5	▼ 28.8	3.8	2.5	3.8
	息子・娘との2世帯	573	29.5	△ 65.1	31.2	36.3	11.2	37.9	1.6	4.0	1.4
	その他	461	29.7	△ 49.9	▼ 26.0	30.8	8.5	43.6	3.9	5.2	1.7

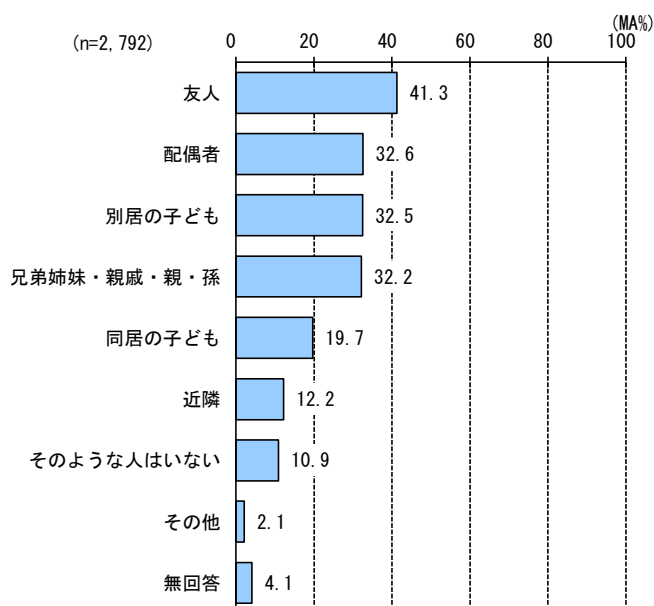
2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも○）

【全体】

- 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「友人」が 41.3%で最も多く、次いで「配偶者」が 32.6%、「別居の子ども」が 32.5%となっています。

【性別】

- 「配偶者」は男性が 53.2%と女性の 19.9%に比べて多くなっています。



単位：%

		問6.1(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)									
		母数 (n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,792	32.6	19.7	32.5	32.2	12.2	41.3	2.1	10.9	4.1
性別	男性	1,062	△ 53.2	16.6	28.1	25.0	7.4	▼ 28.5	2.4	14.4	3.2
	女性	1,730	▼ 19.9	21.6	35.3	36.7	15.1	49.1	2.0	8.7	4.6
家族構成	1人暮らし	939	▼ 1.3	▼ 1.7	33.9	33.5	14.9	44.3	2.0	17.9	4.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	603	△ 75.0	▼ 3.3	△ 44.6	31.3	11.4	38.8	1.5	4.6	3.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	160	△ 80.0	▼ 5.6	31.3	23.1	5.0	32.5	5.0	4.4	4.4
	息子・娘との2世帯	573	28.6	△ 52.4	26.4	33.9	12.0	38.4	1.2	9.1	3.8
	その他	461	31.5	△ 41.0	23.9	32.8	10.4	44.9	3.0	8.9	2.6

3 あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも○）

【全体】

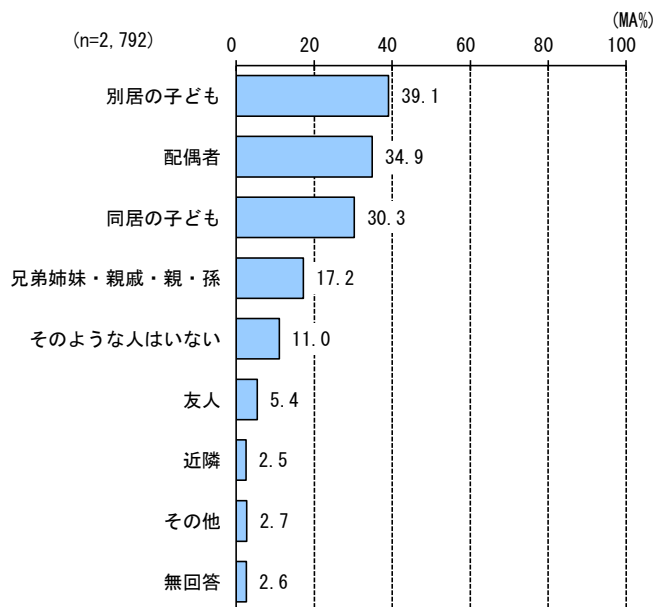
- あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「別居の子ども」が39.1%で最も多く、次いで「配偶者」が34.9%、「同居の子ども」が30.3%となっています。

【性別】

- 「配偶者」は男性が56.6%と女性の21.6%に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「そのような人はいない」は1人暮らしが25.3%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

		母数 (n)	問6.1(3) あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,792	34.9	30.3	39.1	17.2	2.5	5.4	2.7	11.0	2.6
性別	男性	1,062	△ 56.6	21.8	30.0	13.7	0.8	2.9	2.3	12.9	2.1
	女性	1,730	▼ 21.6	35.5	44.6	19.4	3.6	6.9	2.9	9.8	2.9
家族構成	1人暮らし	939	▼ 1.5	▼ 2.3	△ 51.3	23.9	4.4	8.2	3.6	△ 25.3	3.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	603	△ 79.3	▼ 4.0	△ 49.3	13.8	2.5	3.6	1.7	3.6	1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	160	△ 90.6	▼ 6.9	▼ 26.9	▼ 6.3	1.3	3.8	1.9	1.3	2.5
	息子・娘との2世帯	573	31.9	△ 81.3	▼ 26.0	14.3	1.7	3.3	1.4	3.0	1.7
	その他	461	31.9	△ 63.1	▼ 23.0	16.5	0.7	4.8	3.9	4.8	1.7

4 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも○）

【全体】

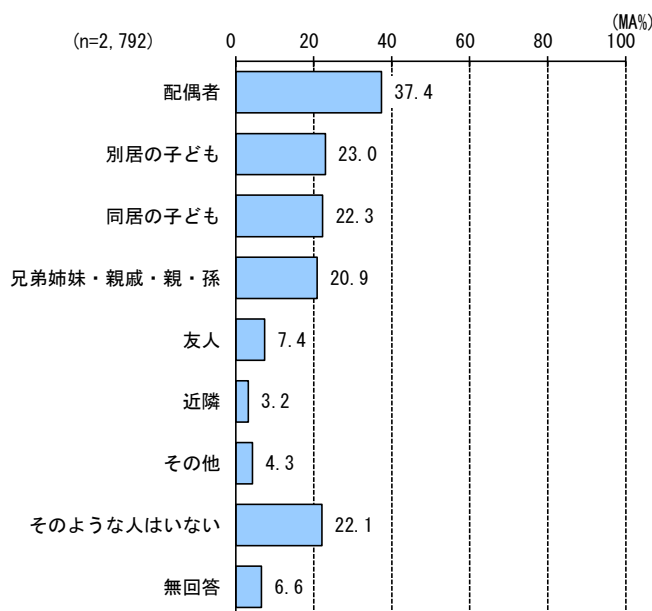
○ 反対に、看病や世話をしてあげる人について、「配偶者」が 37.4%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 23.0%、「同居の子ども」が 22.3%となっています。

【性別】

○ 「配偶者」は男性が 56.9%と女性の 25.4%に比べて多くなっています。

【家族構成】

○ 「そのような人はいない」は 1人暮らしが 41.6%と他の区分に比べて多くなっています。



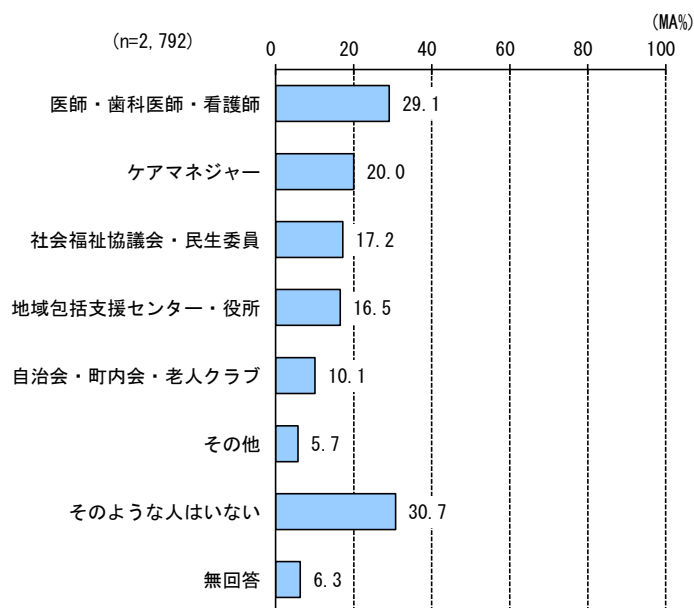
単位：%

		問6.1(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (MA)									
		母数 (n)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
全体		2,792	37.4	22.3	23.0	20.9	3.2	7.4	4.3	22.1	6.6
性別	男性	1,062	△ 56.9	18.3	19.1	16.7	1.2	4.2	2.7	21.7	4.8
	女性	1,730	▼ 25.4	24.7	25.4	23.5	4.3	9.3	5.3	22.4	7.7
家族構成	1人暮らし	939	▼ 1.6	▼ 1.6	26.3	22.3	4.8	9.5	6.2	△ 41.6	9.2
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	603	△ 86.6	▼ 3.3	27.2	19.1	2.3	6.3	2.7	▼ 5.1	3.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	160	△ 88.1	▼ 6.3	25.6	17.5	1.9	5.6	3.1	▼ 4.4	3.8
	息子・娘との2世帯	573	34.2	△ 58.6	18.8	20.4	2.6	5.6	3.8	17.3	6.5
	その他	461	33.6	△ 49.2	16.3	23.2	2.4	7.2	3.7	16.5	4.8

5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも○)

【全体】

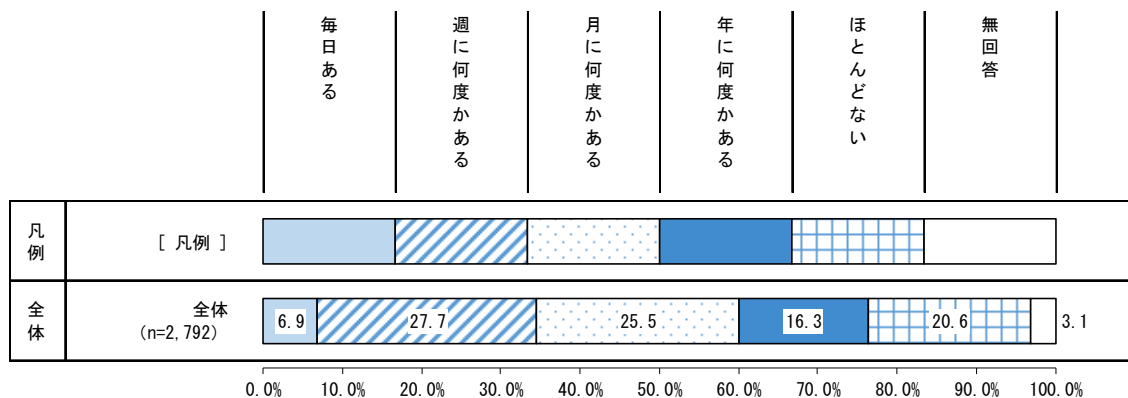
○ 家族や友人・知人以外の相談相手について、「そのような人はいない」が 30.7%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 29.1%、「ケアマネジャー」が 20.0%となっています。



6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

【全体】

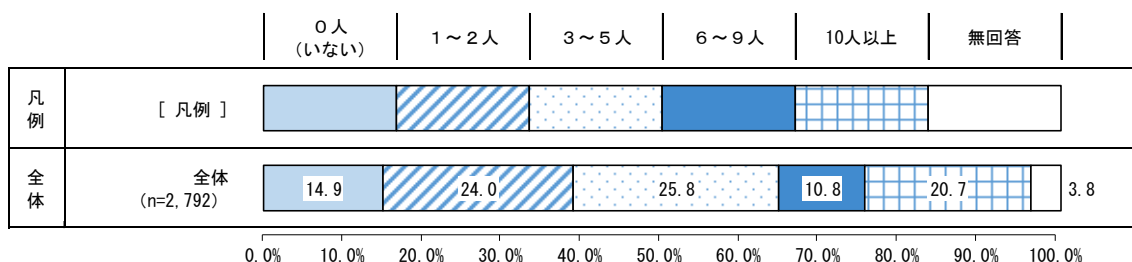
○ 友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が 27.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 25.5%、「ほとんどない」が 20.6%となっています。



7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(1つだけ○)

【全体】

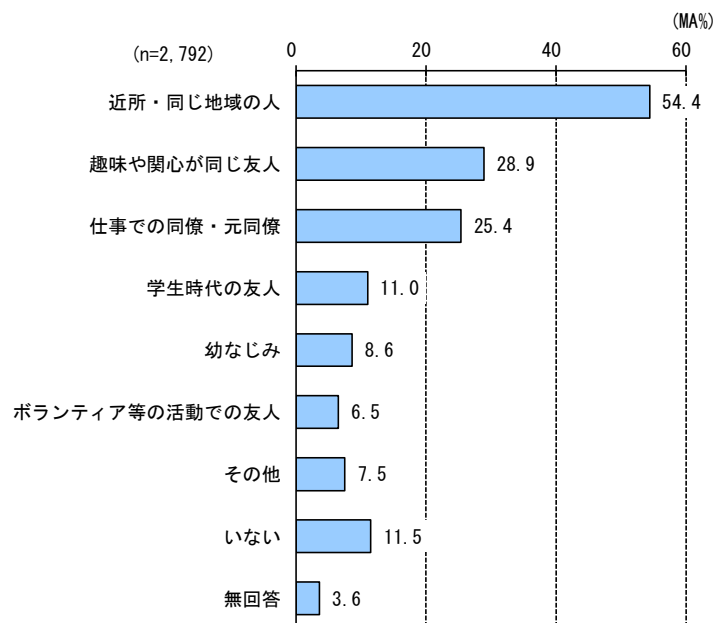
○ この1か月間に会った友人・知人について、「3～5人」が25.8%で最も多く、次いで「1～2人」が24.0%、「10人以上」が20.7%となっています。



8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ よく会う友人・知人について、「近所・同じ地域の人」が54.4%で最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が28.9%、「仕事での同僚・元同僚」が25.4%となっています。



問7 健康について

1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

【全体】

- 主観的健康感について、「まあよい」が 61.8%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 24.2%、「とてもよい」が 6.7%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は 68.5%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は 28.9%となっています。

【年齢】

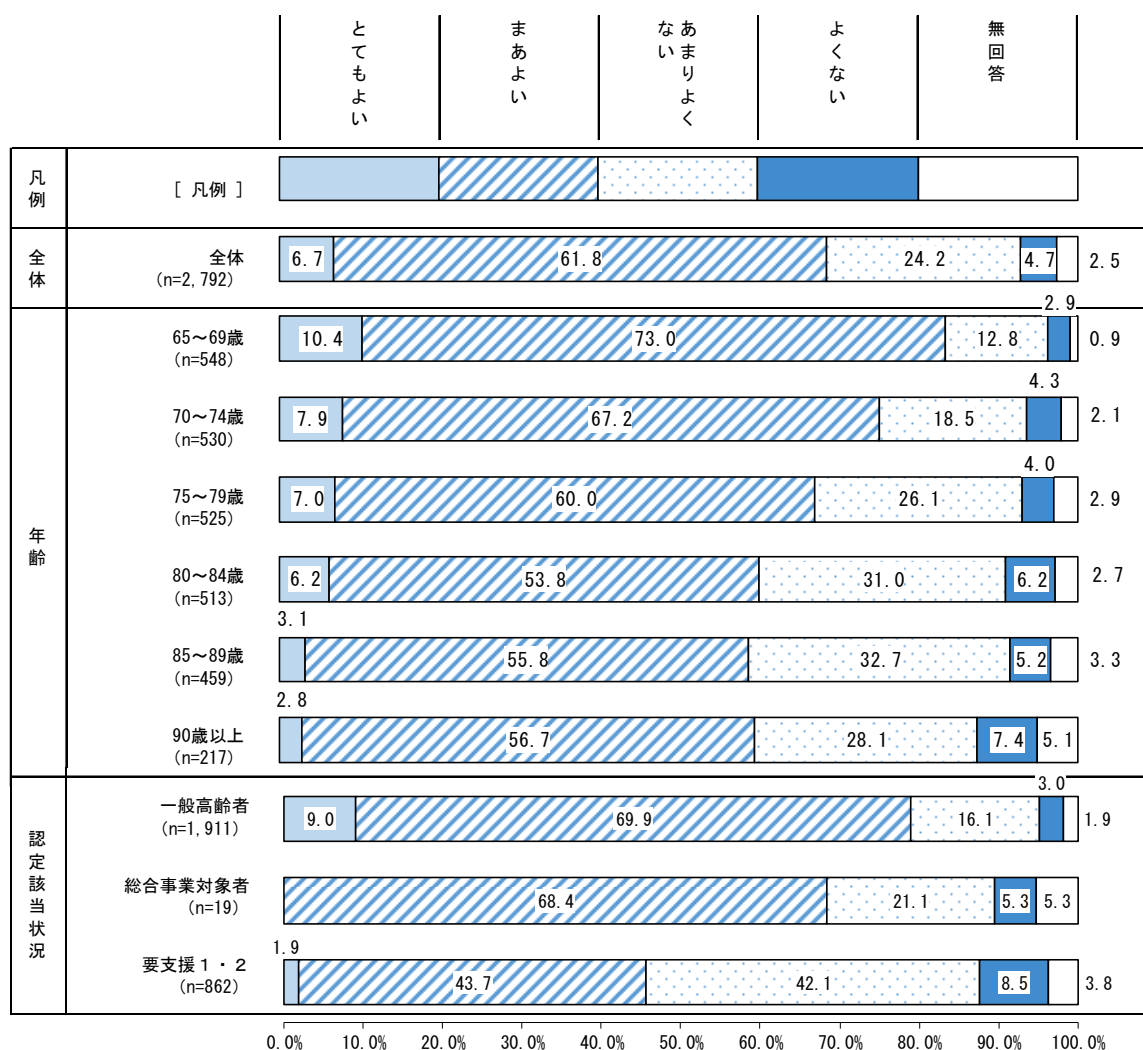
- 年齢が高いほど“よい方”が少なくなる傾向がみられますが、90歳以上で再び増加しています。

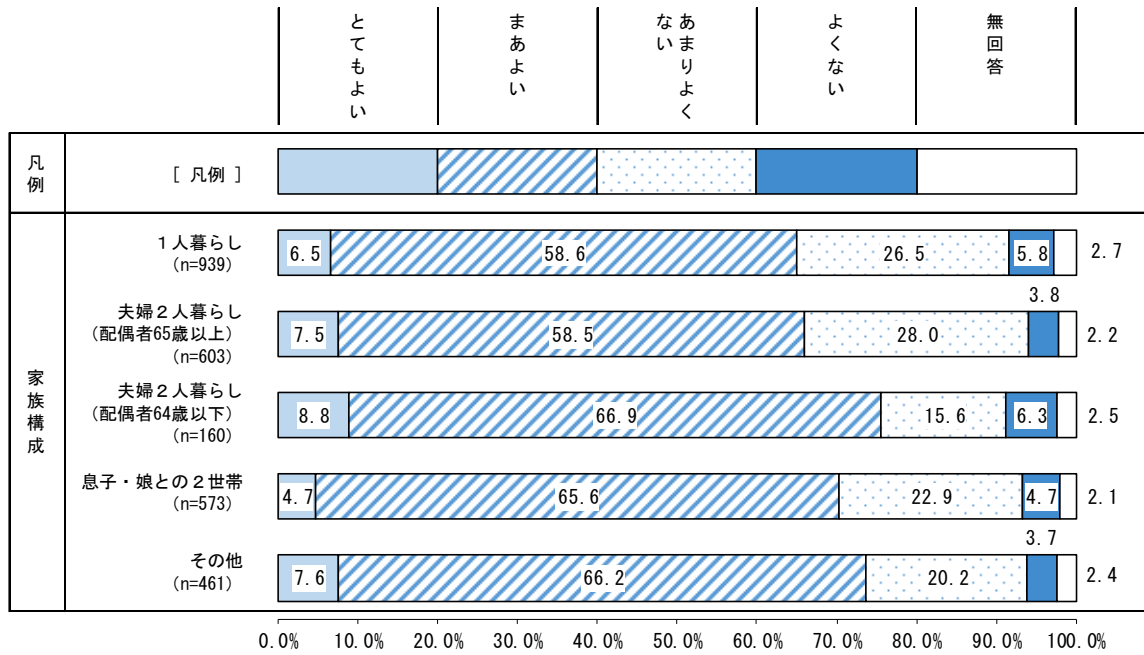
【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“よい方”が少なくなる傾向がみられます。

【家族構成】

- “よくない方”は1人暮らしが 32.3%、夫婦2人暮らし（配偶者 65歳以上）が 31.8%と他の区分に比べて多くなっています。





2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)

【全体】

- 幸福感について、「幸せ(7~9点)」が44.2%で最も多く、次いで「ふつう(4~6点)」が34.3%、「とても幸せ(10点)」が11.9%となっています。「とても幸せ」「幸せ」を合わせた“幸せと感じている方”は56.1%となっています。「不幸」「とても不幸」を合わせた“幸せでないと感じている方”は6.5%となっています。

【認定該当状況】

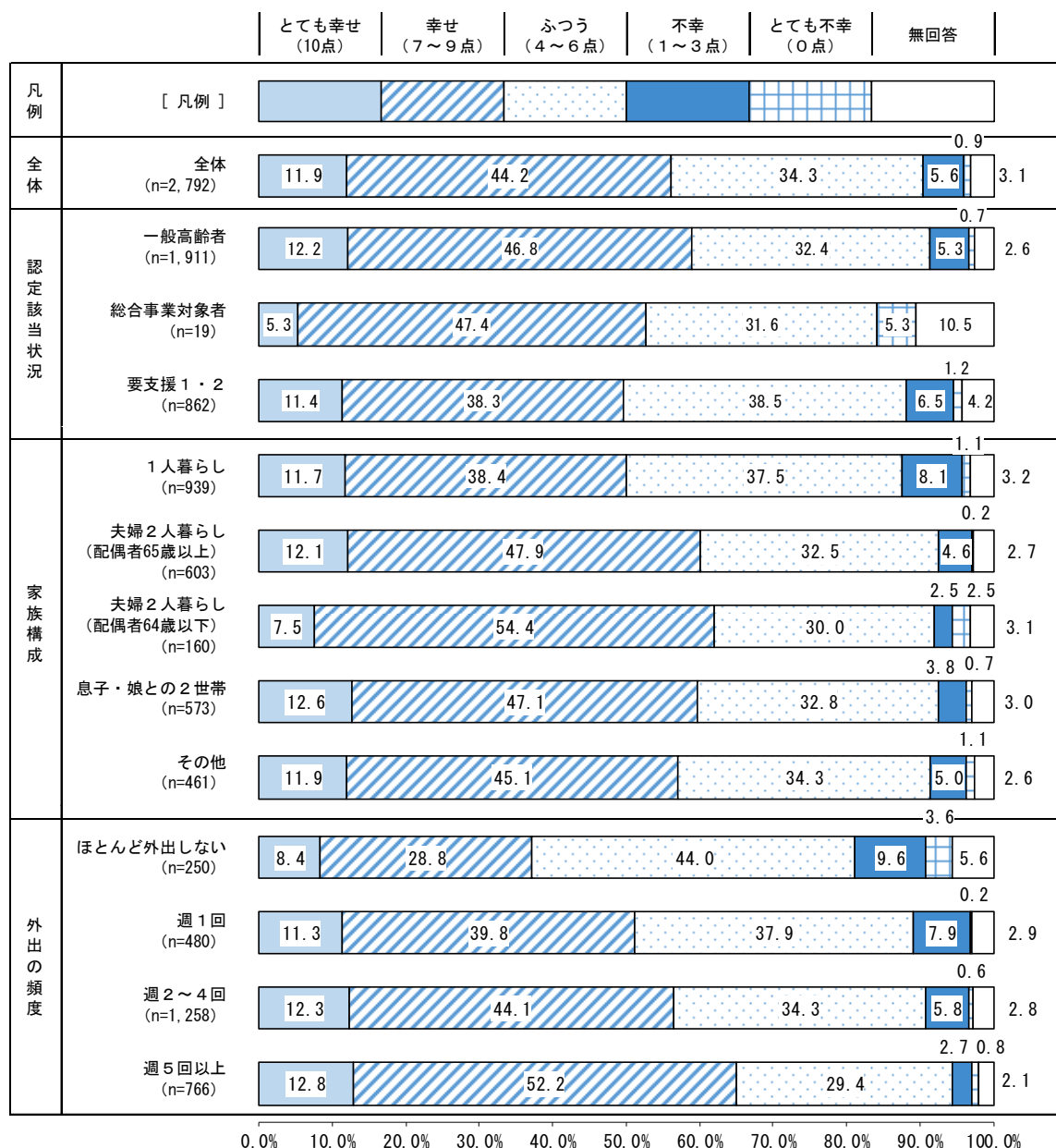
- 要介護度が高いほど“幸せと感じている方”が少なくなる傾向がみられます。

【家族構成】

- “幸せと感じている方”は1人暮らしが50.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【外出頻度】

- 外出頻度が高いほど“幸せと感じている方”が多くなる傾向がみられます。



うつのリスク

●判定方法

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

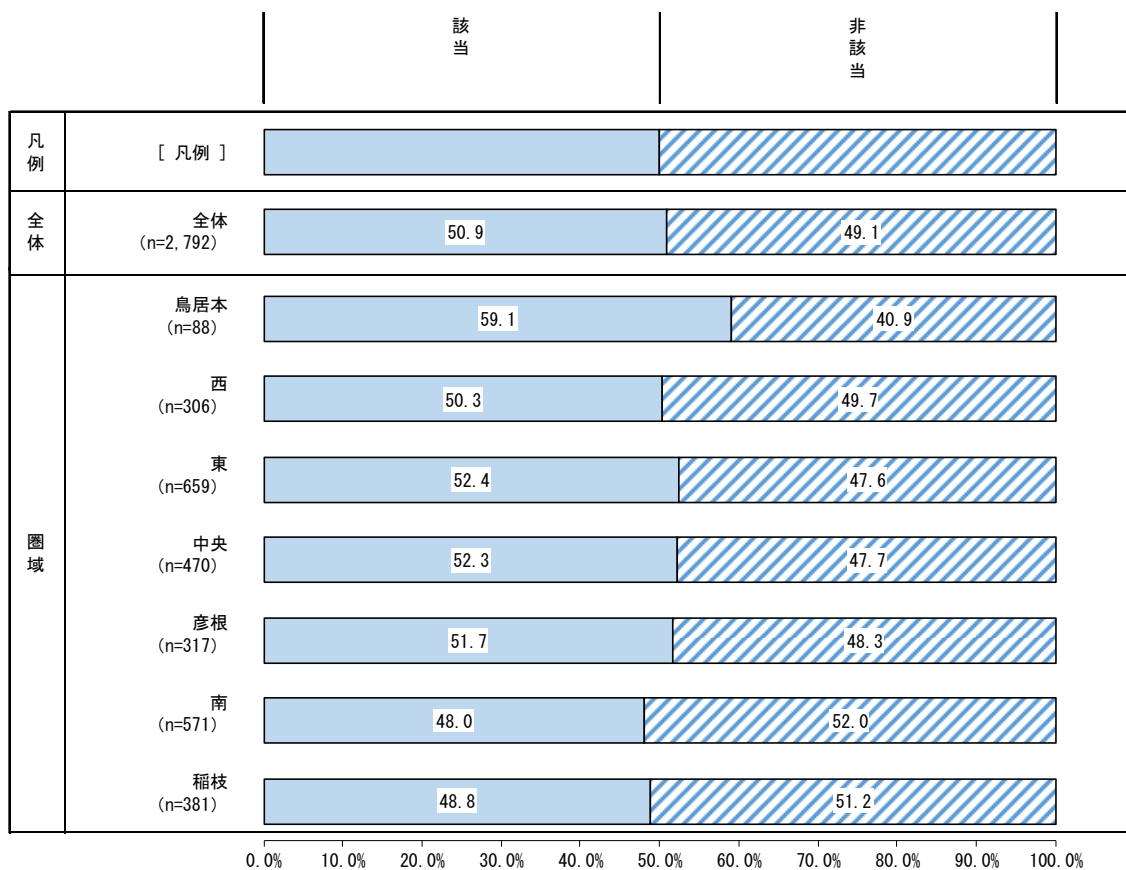
設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

【全体】

○ うつのリスクについて、「該当」が50.9%、「非該当」が49.1%となっています。

【圏域】

○ 「該当」は鳥居本が59.1%と他の区分に比べて多くなっています。



【年齢】

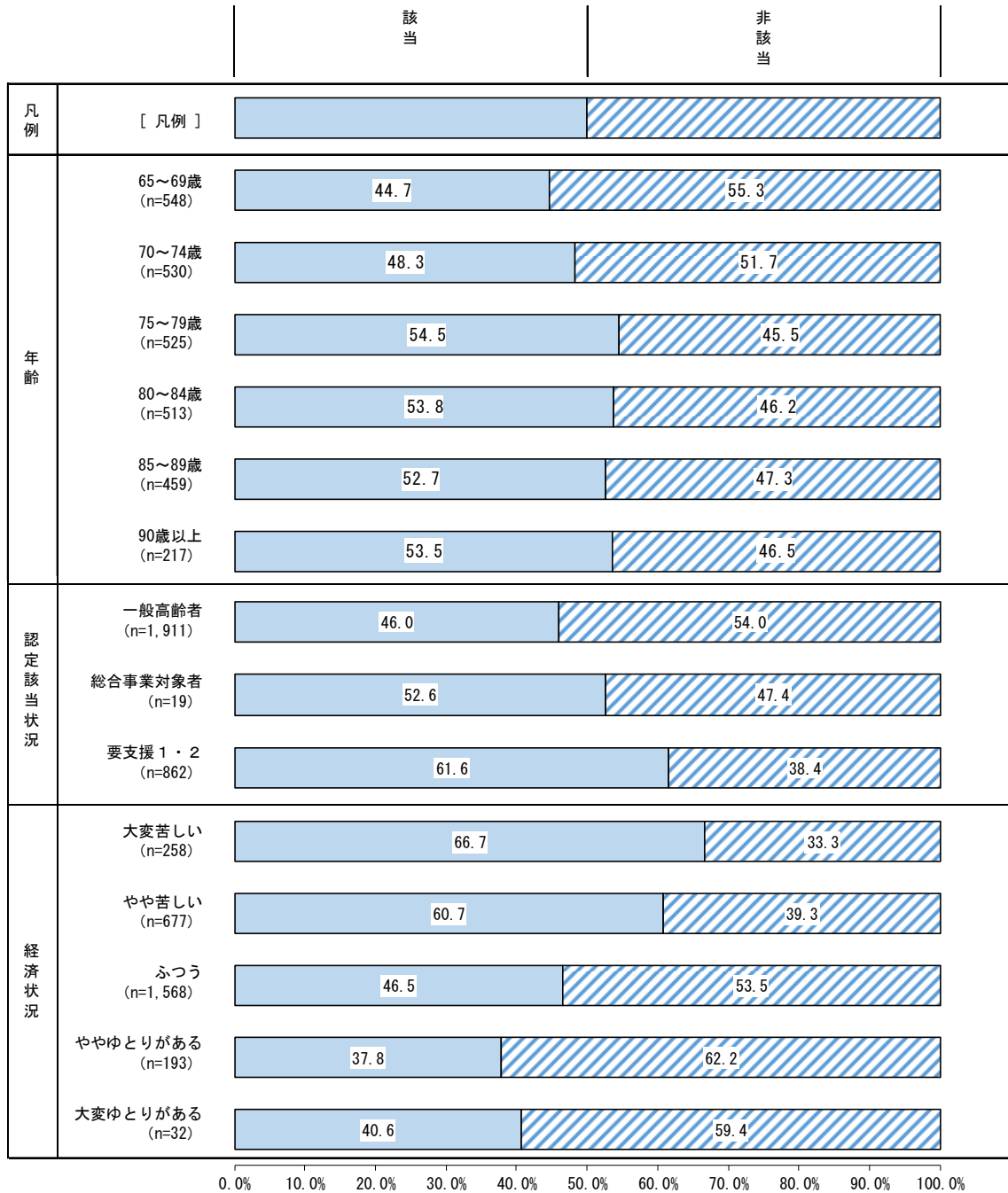
○ 「該当」は65～69歳が44.7%、70～74歳が48.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認定該当状況】

○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

【経済状況】

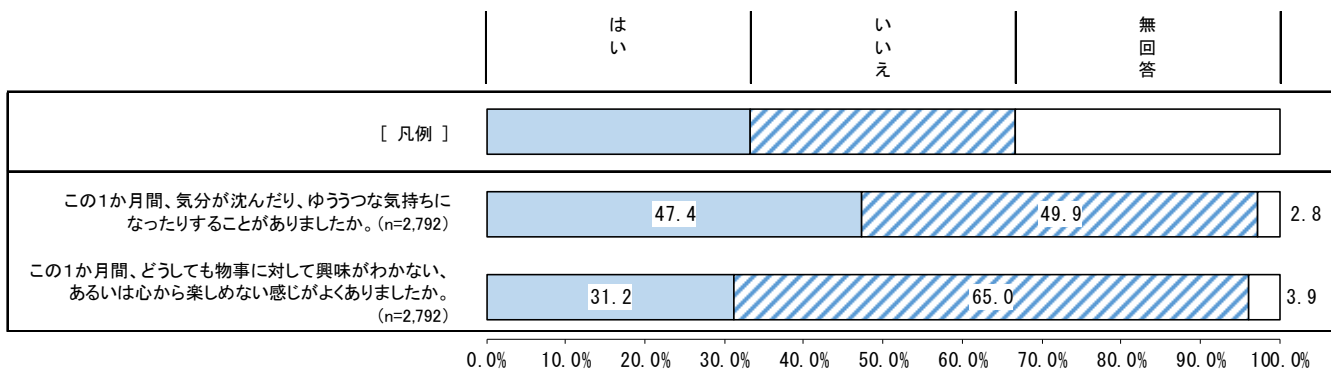
○ 「該当」は大変苦しいが66.7%、やや苦しいが60.7%と他の区分に比べて多くなっています。



【評価項目の回答状況】

3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)

4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか(1つだけ○)

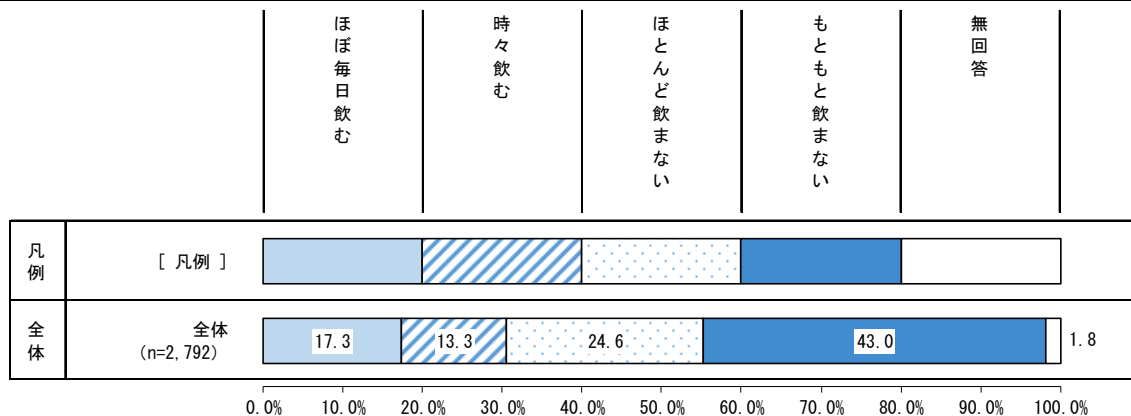


お酒・タバコの習慣

5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

【全体】

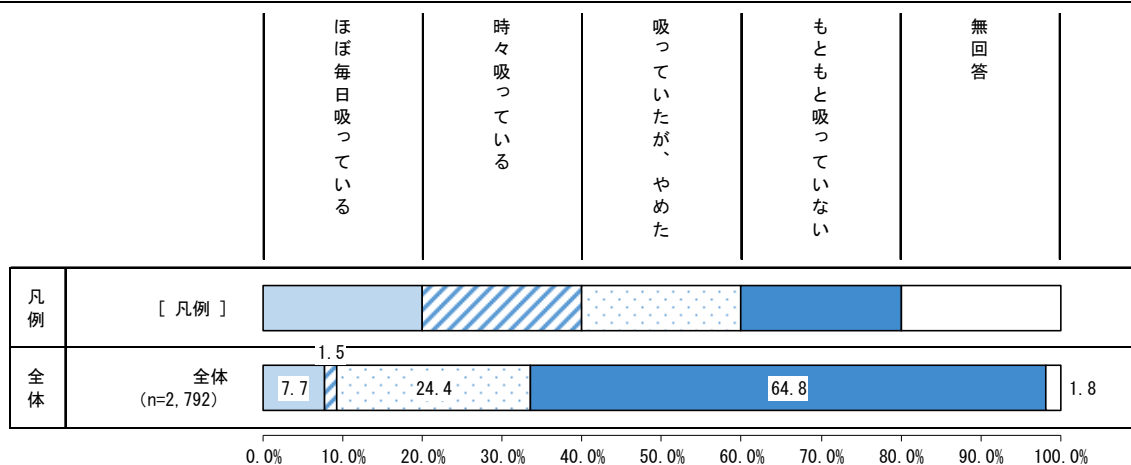
○ 「もともと飲まない」が43.0%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が24.6%、「ほぼ毎日飲む」が17.3%となっています。



6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 「もともと吸っていない」が64.8%で最も多く、次いで「吸っていたが、やめた」が24.4%、「ほぼ毎日吸っている」が7.7%となっています。



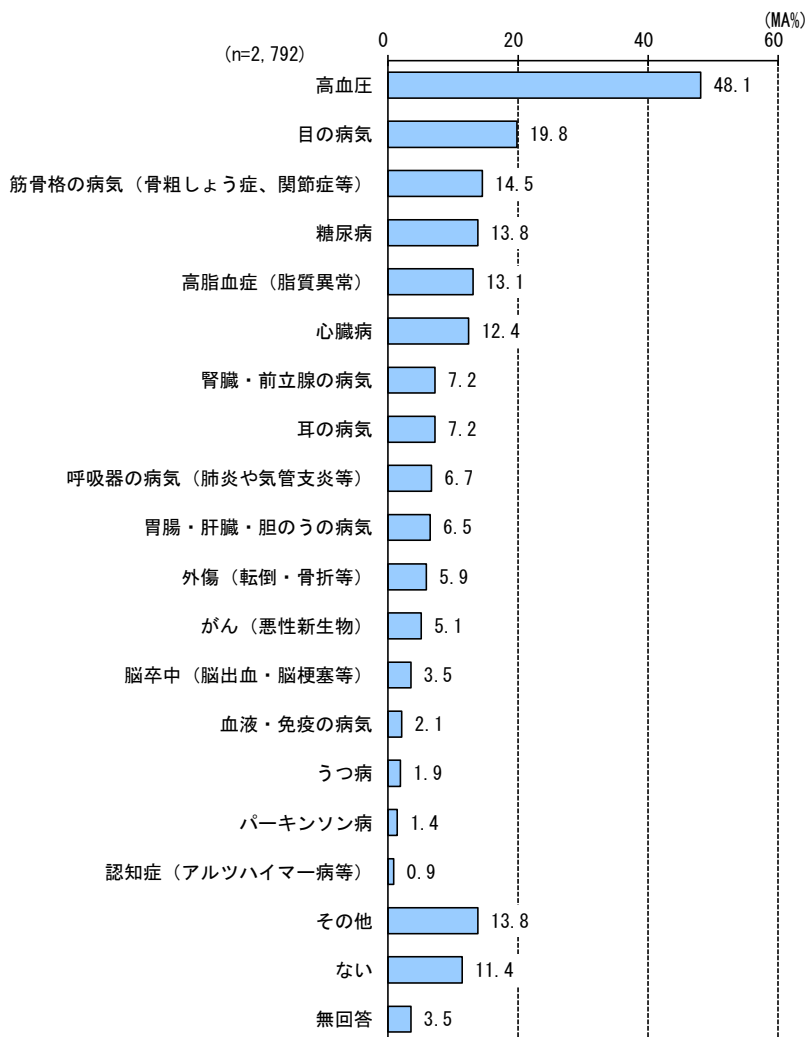
7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

【全体】

- 「高血圧」が48.1%で最も多く、次いで「目の病気」が19.8%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が14.5%となっています。

【認定該当状況】

- 「ない」「高脂血症」を除くすべての項目で一般高齢者より要支援1・2の方が高く、特に「心臓病」「筋骨格の病気」「外傷」等ではその差が大きくなっています。



単位：%

		母数 (n)	問7.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(MA)									
			ない	高血圧	(脳卒中 出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	(呼吸器の 病気 肺炎や 気管支 炎等)	胃腸・ 肝臓・ 胆のう の病気	腎臓・ 前立腺 の病気	(筋骨格 の病気 骨粗し ょう症、 関節症 等)
全体		2,792	11.4	48.1	3.5	12.4	13.8	13.1	6.7	6.5	7.2	14.5
当認 状定 況該	一般高齢者	1,911	14.8	46.0	1.9	8.5	13.1	14.5	5.3	5.6	5.8	10.7
	総合事業対象者	19	5.3	57.9	△ 15.8	15.8	10.5	10.5	5.3	-	10.5	21.1
	要支援1・2	862	4.1	52.4	6.6	21.0	15.4	10.1	9.9	8.7	10.3	23.0

単位：％

		問7.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(MA)										
		母数 (n)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		2,792	5.9	5.1	2.1	1.9	0.9	1.4	19.8	7.2	13.8	3.5
当認 状定 況該	一般高齢者	1,911	2.6	4.5	1.8	1.2	0.3	0.3	17.2	5.5	13.1	3.9
	総合事業対象者	19	5.3	10.5	-	5.3	-	-	△ 31.6	5.3	5.3	5.3
	要支援1・2	862	13.1	6.4	2.9	3.2	2.3	3.7	25.2	10.9	15.7	2.6

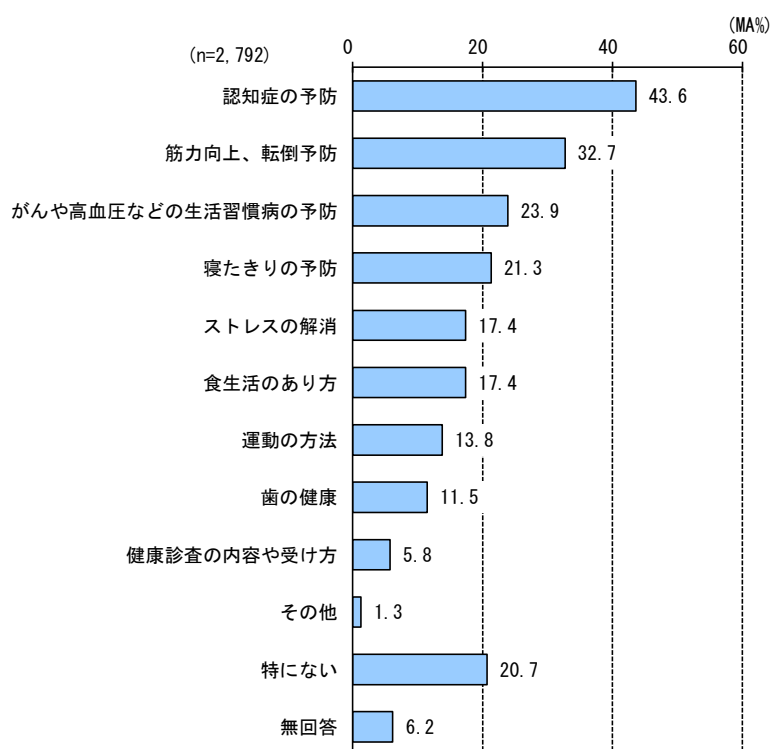
8 健康について知りたいことは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 「認知症の予防」が 43.6%で最も多く、次いで「筋力向上、転倒予防」が 32.7%、「がんや高血圧などの生活習慣病の予防」が 23.9%となっています。

【認定該当状況】

- 総合事業対象者では「筋力向上、転倒予防」が 47.4%で最も多く、次いで「寝たきりの予防」が 42.1%、「認知症の予防」が 36.8%となっています。
- 「認知症の予防」は、認定の有無にかかわらず関心が高い結果となっています。
- 「寝たきりの予防」は総合事業者が 42.1%、要支援 1・2 が 32.4%と一般高齢者に比べて多くなっています。



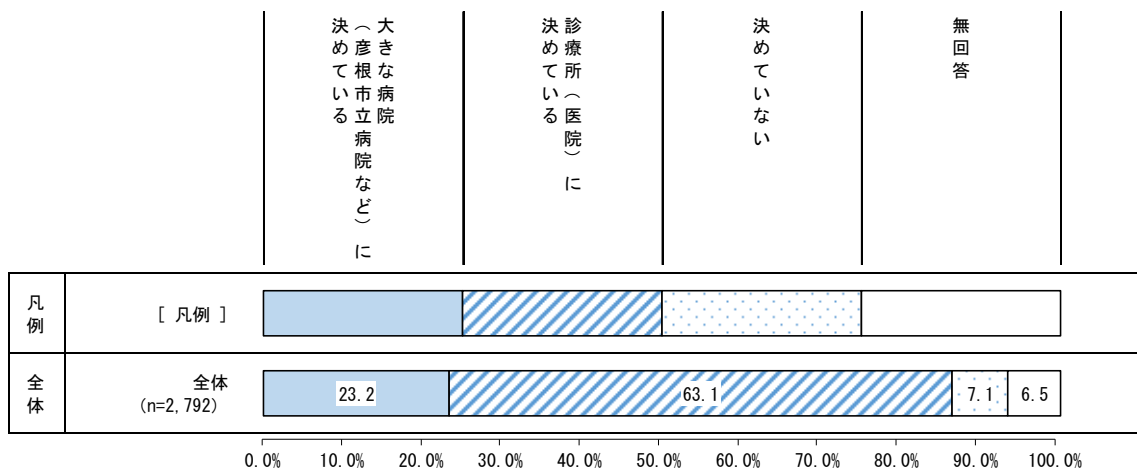
単位：%

	母数 (n)	問7.8 健康について知りたいことは何ですか。(MA)											
		認知症の予防	がんや高血圧などの生活習慣病の予防	筋力向上、転倒予防	ストレスの解消	食生活のあり方	運動の方法	寝たきりの予防	健康診査の内容や受け方	歯の健康	その他	特にない	無回答
全体	2,792	43.6	23.9	32.7	17.4	17.4	13.8	21.3	5.8	11.5	1.3	20.7	6.2
当認 状定 況該	1,911	43.0	25.9	27.2	16.0	16.9	12.2	16.1	5.3	11.0	1.2	23.9	5.5
	19	36.8	▼ 10.5	△ 47.4	26.3	21.1	10.5	△ 42.1	5.3	△ 26.3	-	▼ 5.3	21.1
	862	45.0	19.8	△ 44.8	20.3	18.3	17.2	△ 32.4	6.8	12.2	1.5	14.0	7.5

9 あなたは、①かかりつけ医師（例えば熱が出たり、おなかが痛かったりするときに受診する医療機関）、②かかりつけ歯科医師、③かかりつけ薬局を決めていますか。（それぞれ1つだけ○）

①かかりつけ医師

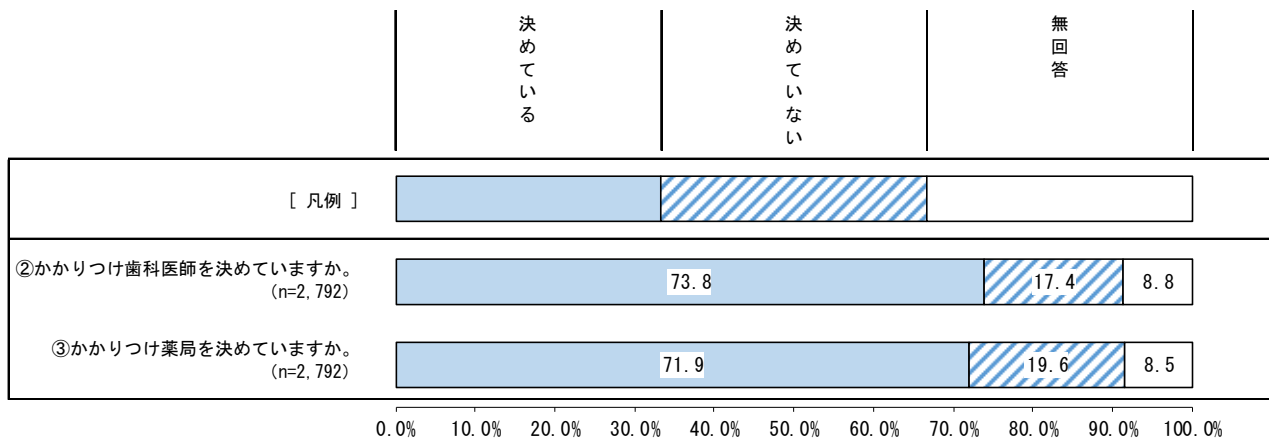
【全体】
 ○ かかりつけ医師について、「診療所（医院）に決めている」が 63.1%で最も多く、次いで「大きな病院（彦根市立病院など）に決めている」が 23.2%、「決めていない」が 7.1%となっています。



②かかりつけ歯科医師

③かかりつけ薬局

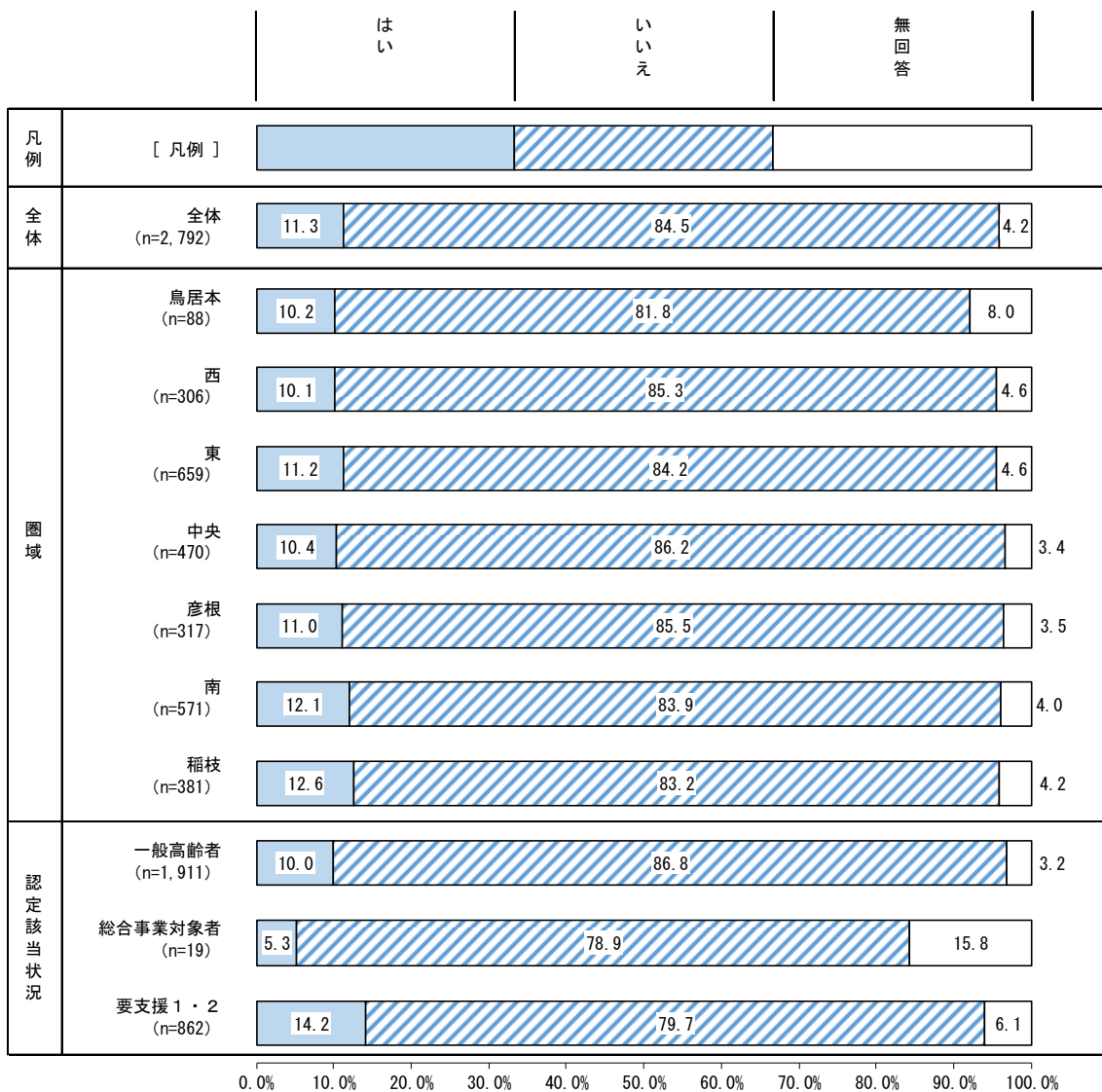
【全体】
 ○ ②かかりつけ歯科医師について、「決めている」が 73.8%、「決めていない」が 17.4%となっています。
 ○ ③かかりつけ薬局について、「決めている」が 71.9%、「決めていない」が 19.6%となっています。



問8 認知症について

1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

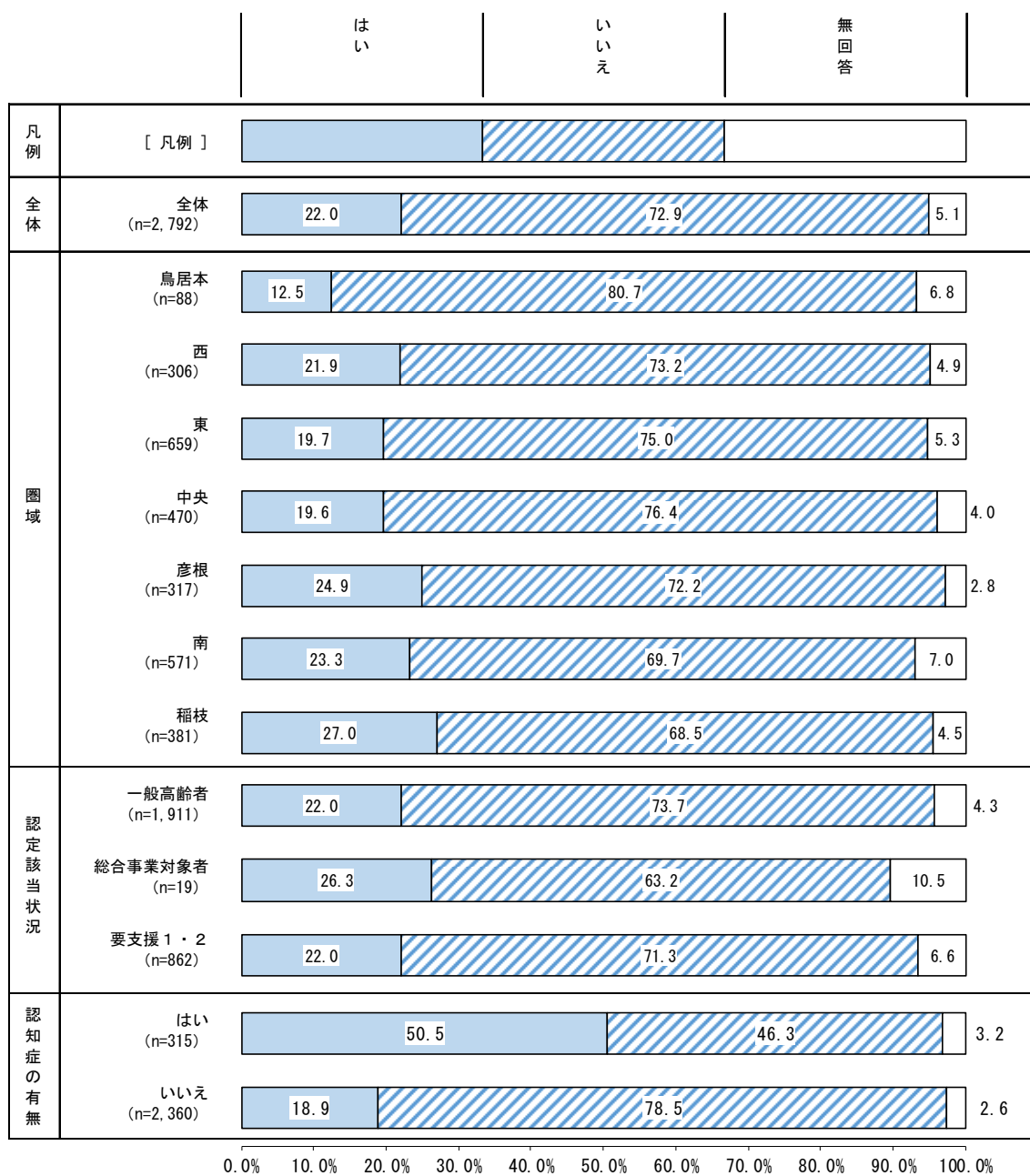
【全体】
○ 「はい」が11.3%、「いいえ」が84.5%となっています。



2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】

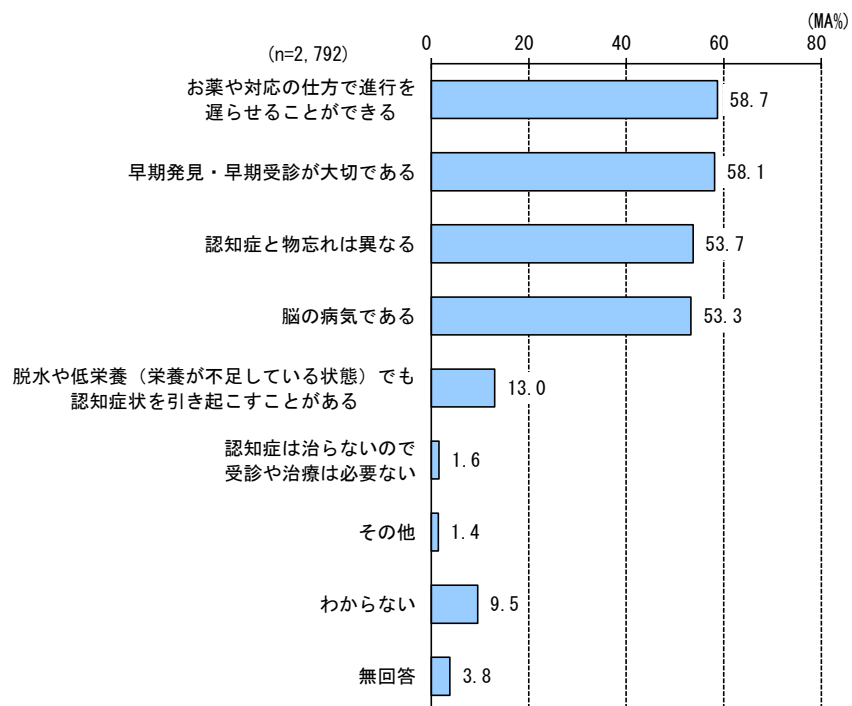
○ 「はい」が22.0%、「いいえ」が72.9%となっています。



3 認知症について、どのように理解していますか。(いくつでも○)

【全体】

- 「お薬や対応の仕方で行進を遅らせることができる」が 58.7%で最も多く、次いで「早期発見・早期受診が大切である」が 58.1%、「認知症と物忘れは異なる」が 53.7%となっています。

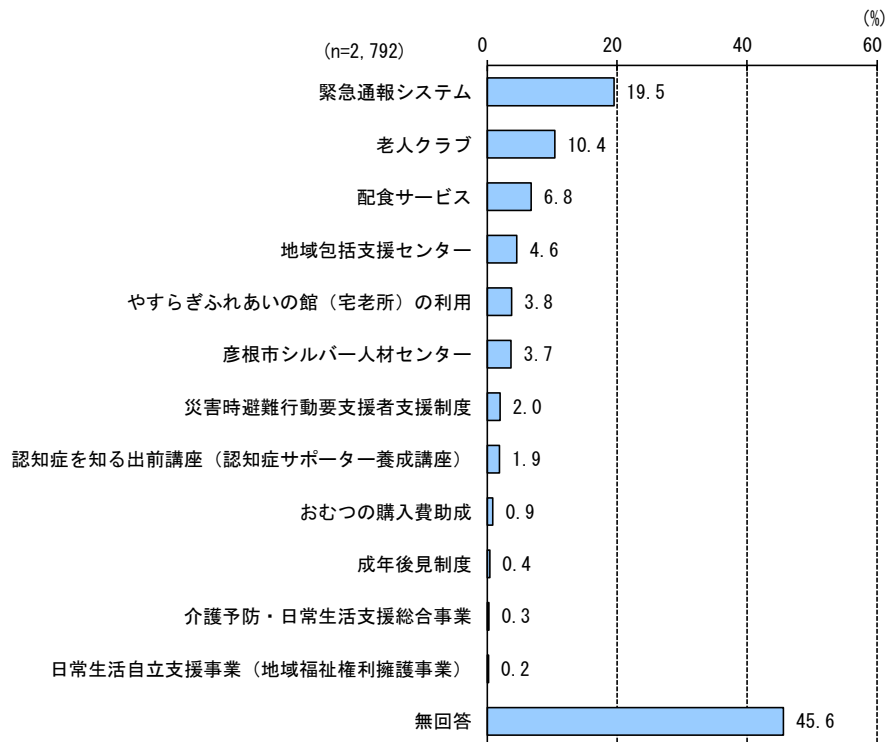


問9 市などの保健福祉サービスの認知状況と今後の利用意向について

1 以下のようなサービス等について、①現在の認知状況と②今後の利用意向をお答えください。

①現在の利用状況

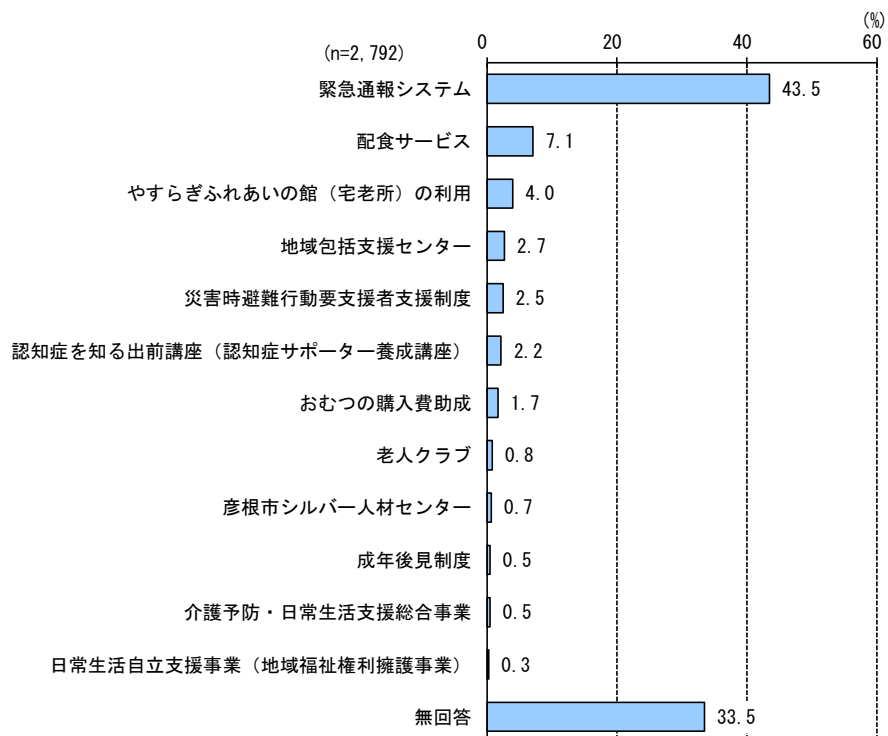
【全体】
 ○ 現在の認知状況について、「緊急通報システム」が 19.5%で最も多く、次いで「老人クラブ」が 10.4%、「配食サービス」が 6.8%となっています。



②今後の利用意向

【全体】

- 今後の利用意向について、「緊急通報システム」が43.5%で最も多く、次いで「配食サービス」が7.1%、「やすらぎふれあいの館（宅老所）の利用」が4.0%となっています。



問10 これからの生き方や市の取り組みへの希望について

1 今後の仕事について、お考えに近いものはどれですか。(1つだけ○)

【全体】

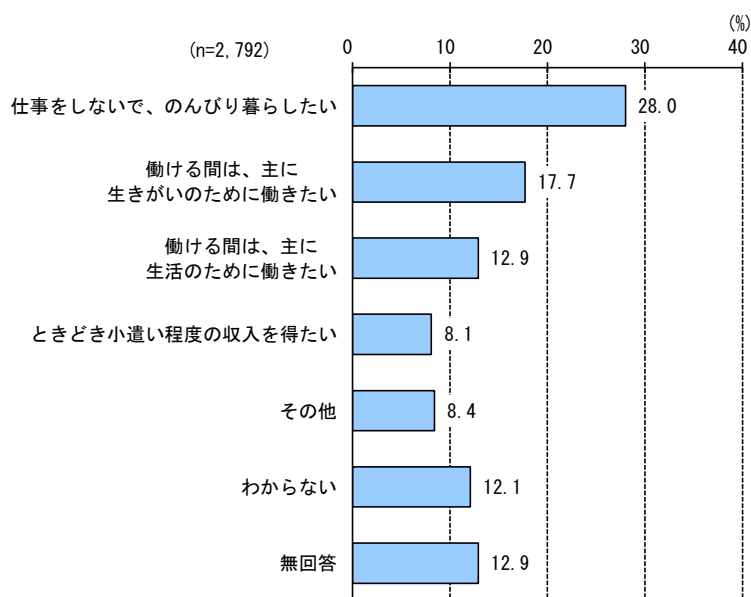
- 「仕事をしないで、のんびり暮らしたい」が 28.0%で最も多く、次いで「働ける間は、主に生きがいのために働きたい」が 17.7%、「働ける間は、主に生活のために働きたい」が 12.9%となっています。

【性・年齢】

- 「働ける間は、主に生活のために働きたい」は男性 前期高齢者が 29.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 一般高齢者では「働ける間は、主に生活のために働きたい」「働ける間は、主に生きがいのために働きたい」「ときどき小遣い程度の収入を得たい」を合わせた“仕事をする意欲のある方”の割合が 47.8%となっています。



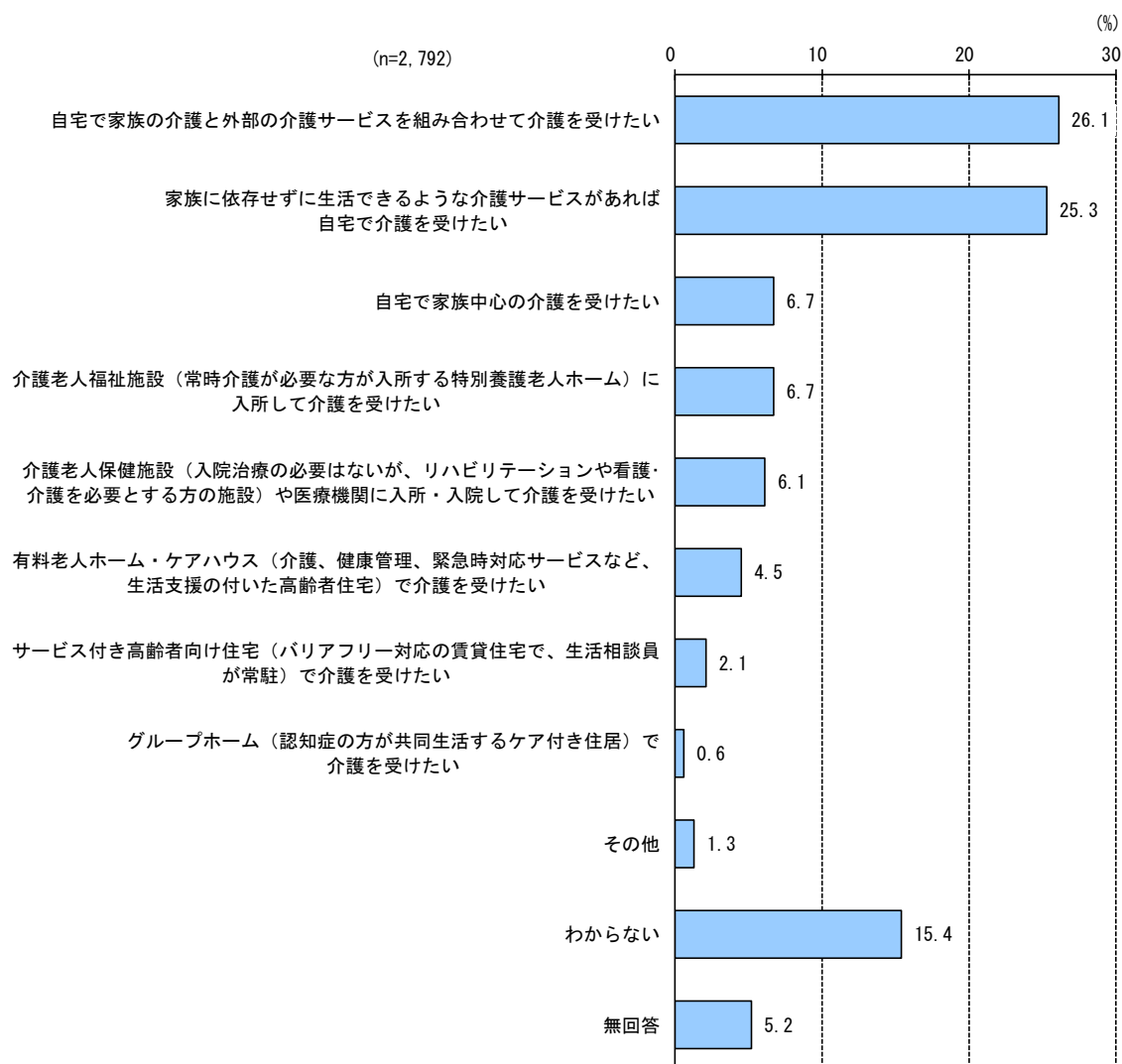
単位：%

		母数 (n)	問10.1 今後の仕事について、お考えに近いものはどれですか。						
			生活の間は、主に働きたい	働ける間は、主に生きがいのために働きたい	ときどき小遣い程度の収入を得たい	仕事をしないで、のんびり暮らしたい	その他	わからない	無回答
全体		2,792	12.9	17.7	8.1	28.0	8.4	12.1	12.9
性・年齢	男性 前期高齢者	553	△ 29.7	23.1	14.1	21.7	3.3	5.6	2.5
	後期高齢者	509	8.4	17.3	7.3	31.6	8.8	13.6	13.0
	女性 前期高齢者	525	19.8	21.1	11.0	25.3	5.3	11.4	5.9
	後期高齢者	1,205	4.0	13.8	4.4	30.5	11.9	14.8	20.7
当認定状況	一般高齢者	1,911	17.5	20.5	9.8	26.6	6.4	9.5	9.7
	総合事業対象者	19	-	15.8	5.3	31.6	10.5	5.3	31.6
	要支援1・2	862	▼ 2.9	11.5	4.3	31.1	12.8	18.0	19.5

2 今後、もしあなた自身の介護が必要となった場合、どのようにしたいとお考えですか。(1つだけ○)

【全体】

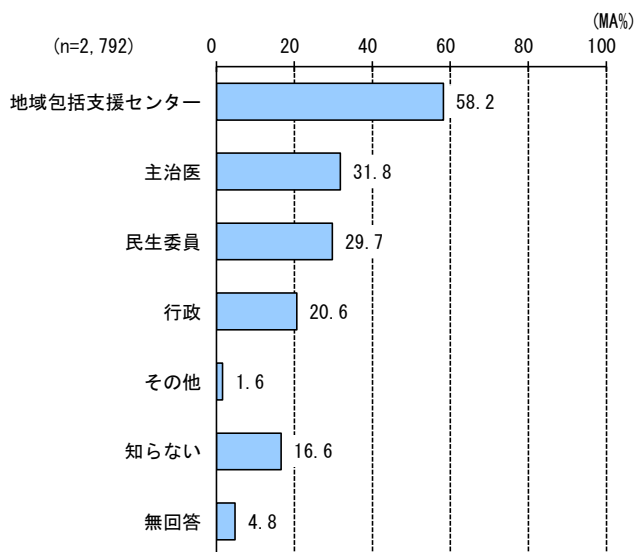
○ 「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」が26.1%で最も多く、次いで「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」が25.3%、「わからない」が15.4%となっています。



3 あなたやあなたの家族などに介護が必要となった時、相談する窓口をご存知ですか。(いくつでも○)

【全体】

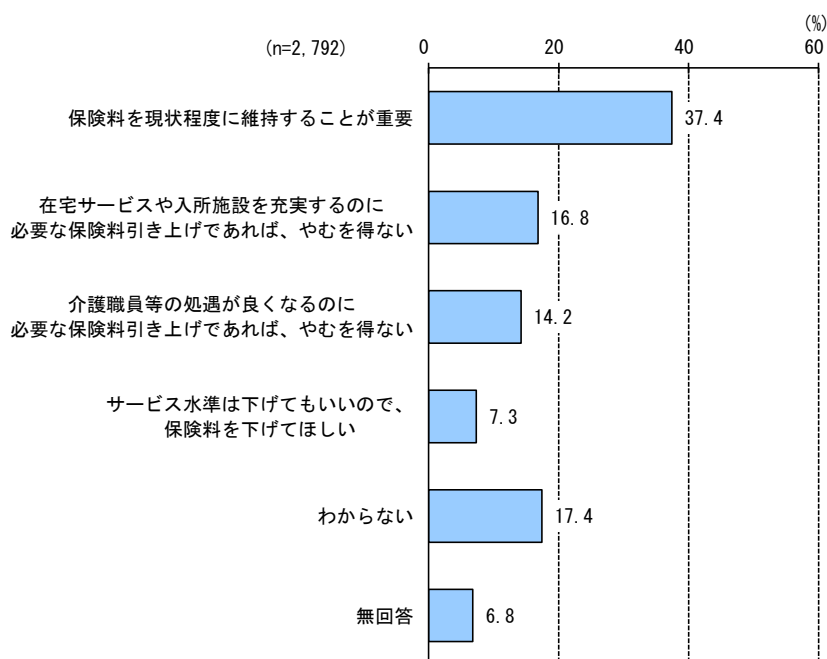
- 介護が必要となった時に相談する窓口の認知度について、「地域包括支援センター」が 58.2%で最も多く、次いで「主治医」が 31.8%、「民生委員」が 29.7%となっています。



4 今後の介護保険料について、お考えに近いものはどれですか。(1つだけ○)

【全体】

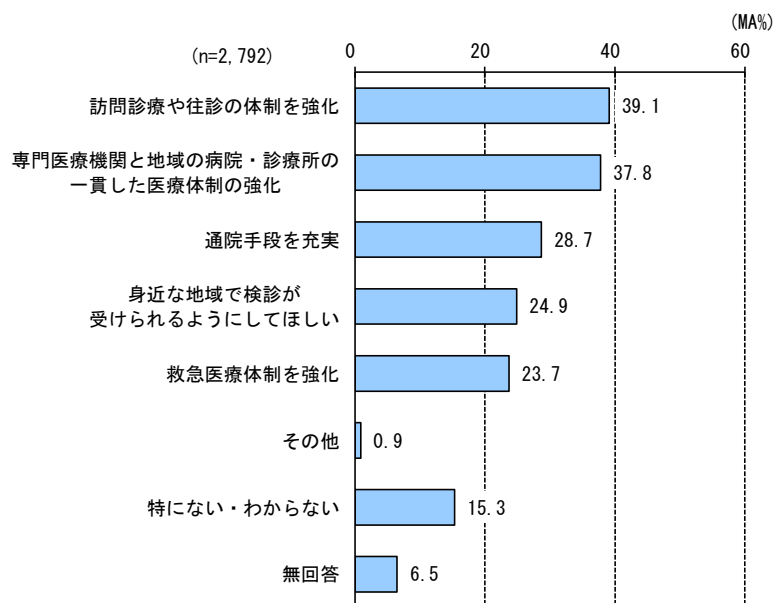
- 「保険料を現状程度に維持することが重要」が 37.4%で最も多く、次いで「わからない」が 17.4%、「在宅サービスや入所施設を充実するのに必要な保険料引き上げであれば、やむを得ない」が 16.8%となっています。



5 保健医療に関して、市に力をいれてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

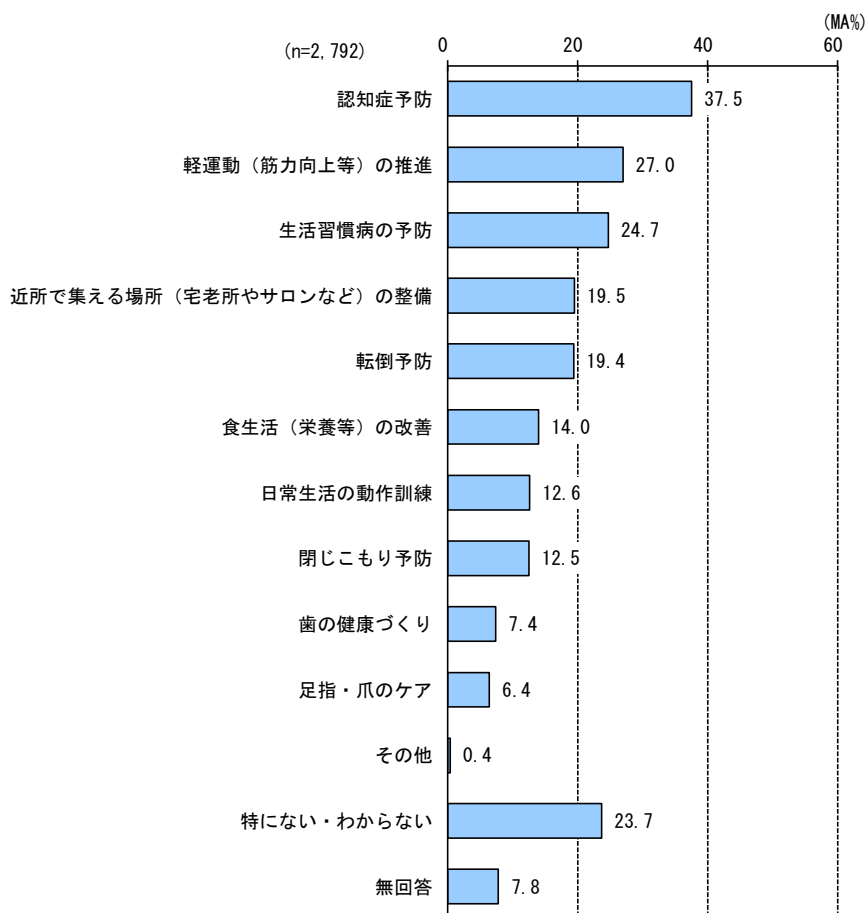
- 「訪問診療や往診の体制を強化」が 39.1%で最も多く、次いで「専門医療機関と地域の病院・診療所の一貫した医療体制の強化」が 37.8%、「通院手段を充実」が 28.7%となっています。



6 介護予防に関して、市に力を入れてほしいことは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

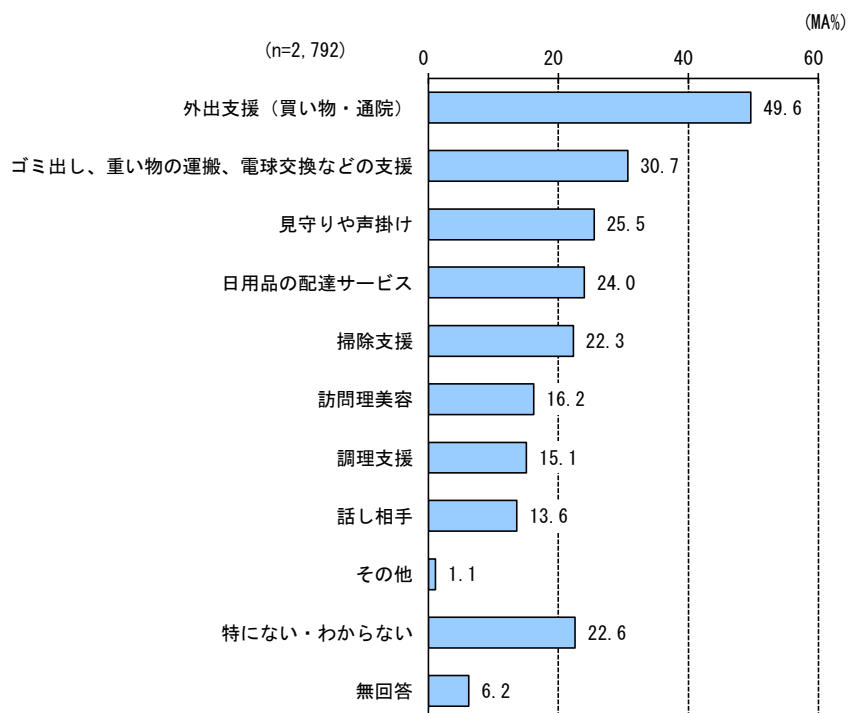
- 「認知症予防」が 37.5%で最も多く、次いで「軽運動（筋力向上等）の推進」が 27.0%、「生活習慣病の予防」が 24.7%となっています。



7 在宅生活を続ける上で、現在または今後必要と感じるサービスは何ですか。(いくつかでも○)

【全体】

○ 「外出支援（買い物・通院）」が 49.6%で最も多く、次いで「ゴミ出し、重い物の運搬、電球交換などの支援」が 30.7%、「見守りや声掛け」が 25.5%となっています。

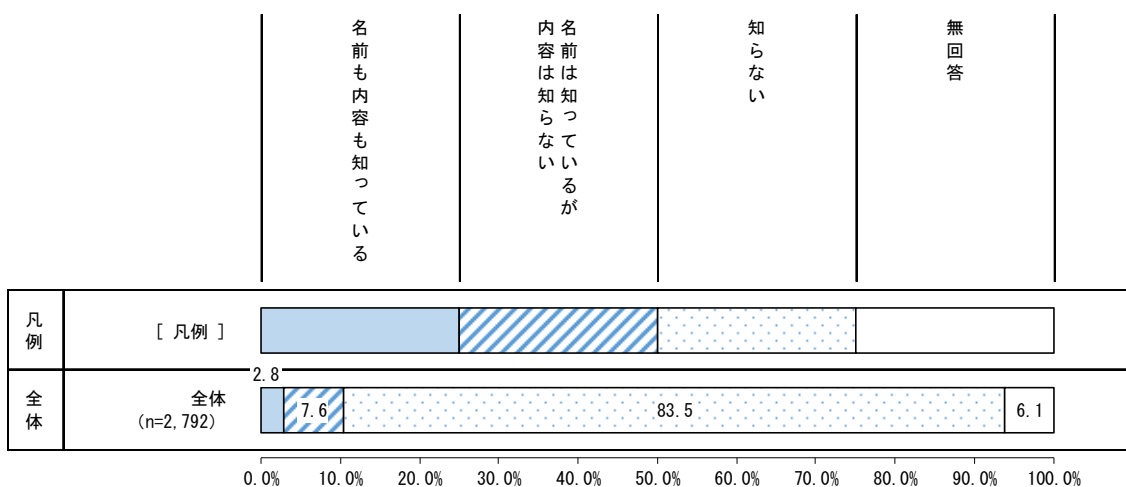


8 あなたは、人生会議についてご存知ですか。(1つだけ○)

※人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）とは、もしものときのために、本人が望む医療やケアについて前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組です。

【全体】

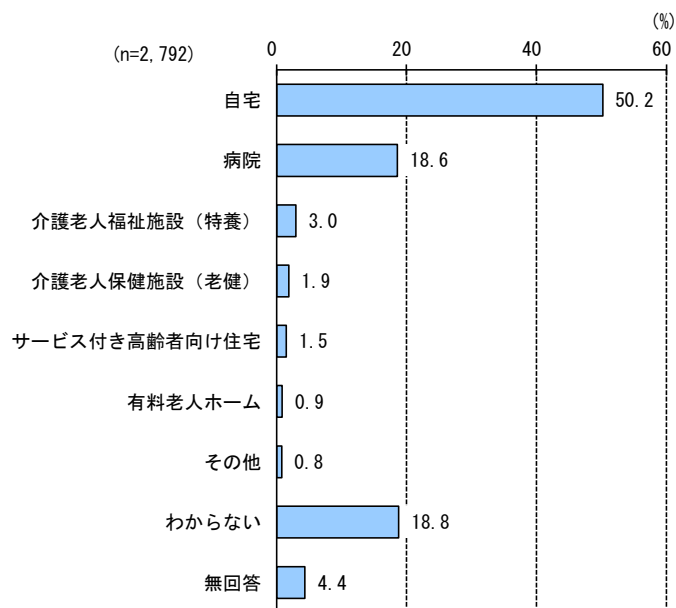
○ 人生会議について、「知らない」が 83.5%で最も多く、次いで「名前知っているが内容は知らない」が 7.6%、「名前も内容も知っている」が 2.8%となっています。



9 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。あなたのお考えに最も近いものはどれですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 人生の最期を迎えたい場所について「自宅」が 50.2%で最も多く、次いで「わからない」が 18.8%、「病院」が 18.6%となっています。



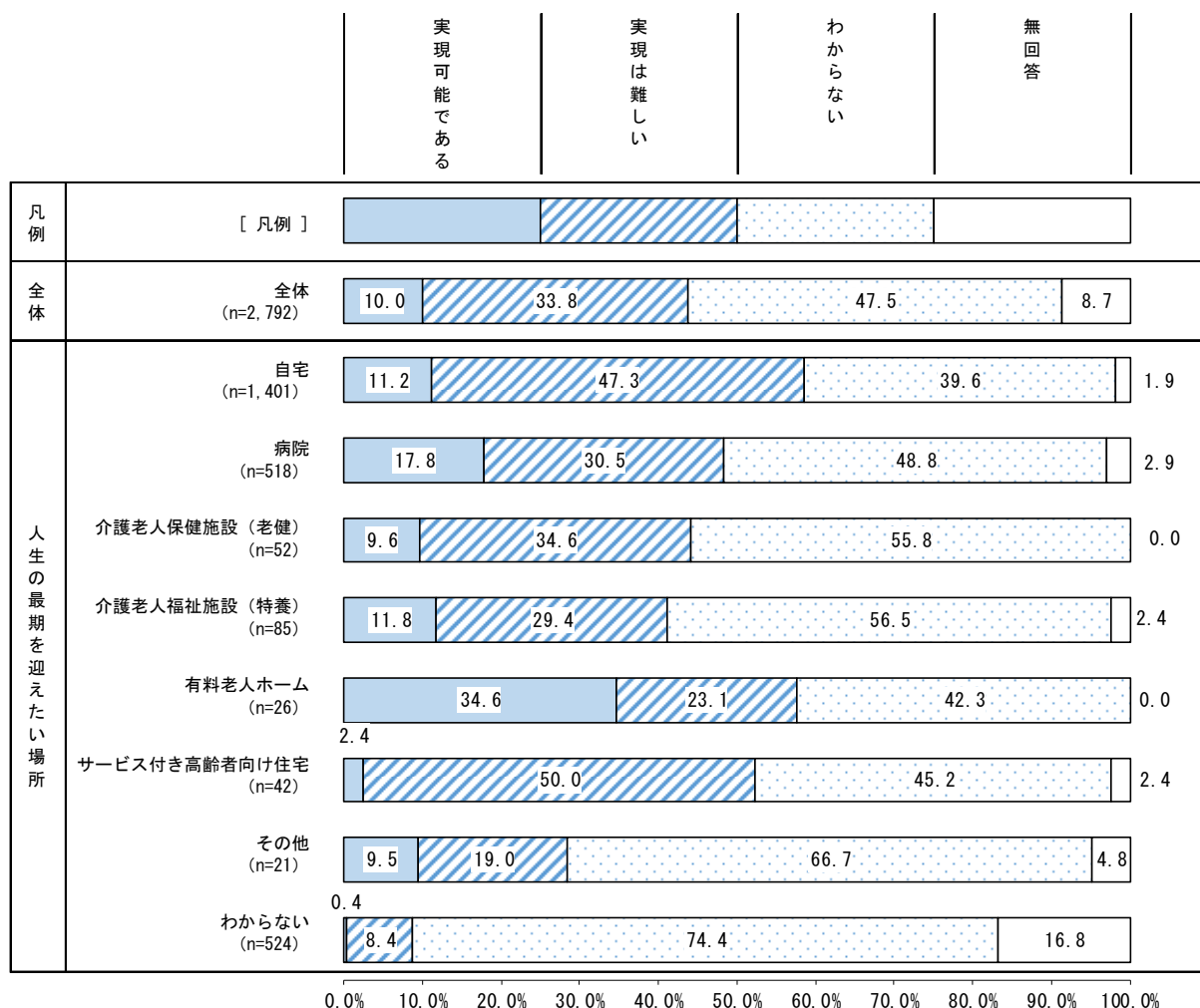
9-1 あなたは9でお答えになった場所で、最期まで療養できると思いますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 「わからない」が47.5%で最も多く、次いで「実現は難しい」が33.8%、「実現可能である」が10.0%となっています。

【人生の最期を迎えたい場所】

○ 「実現可能である」は有料老人ホームが34.6%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「実現は難しい」は自宅が47.3%、サービス付き高齢者向け住宅が50.0%と他の区分に比べて多くなっています。



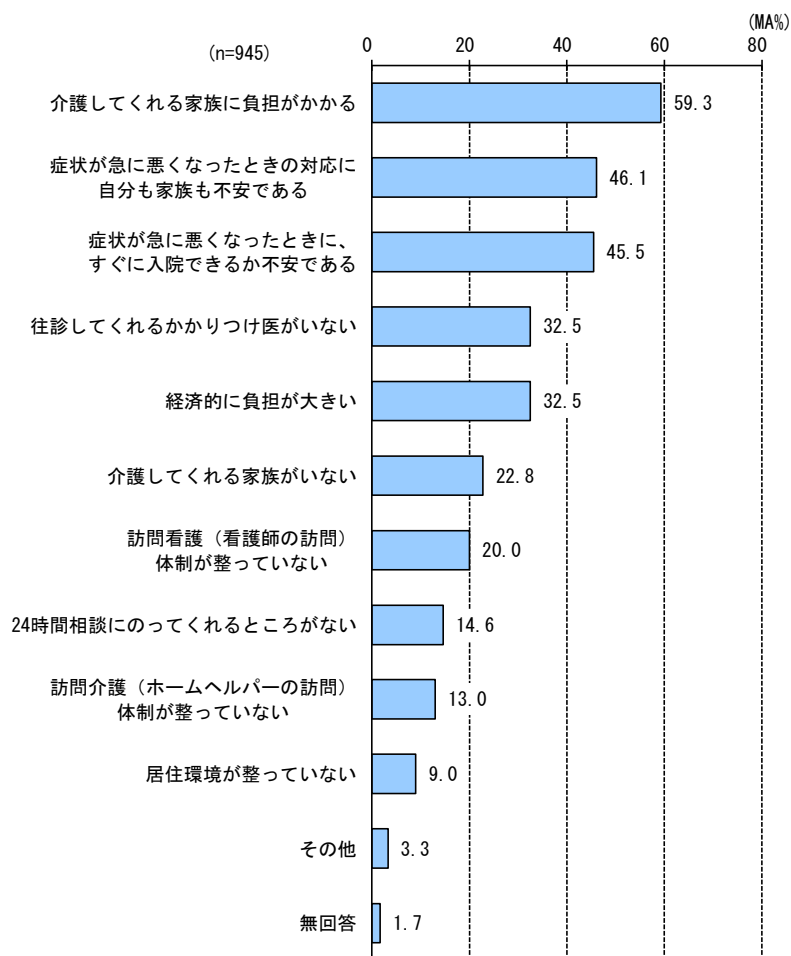
9-2 実現は難しいとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。(いくつかでも○)

【全体】

- 実現困難である理由について、「介護してくれる家族に負担がかかる」が 59.3%で最も多く、次いで「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」が 46.1%、「症状が急に悪くなったときに、すぐに入院できるか不安である」が 45.5%となっています。

【人生の最期を迎えたい場所】

- 「介護してくれる家族がいない」は介護老人保健施設（老健）が 50.0%、介護老人福祉施設（特養）が 44.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「介護してくれる家族に負担がかかる」は自宅が 66.1%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「経済的に負担が大きい」は有料老人ホームが 83.3%と他の区分に比べて多くなっています。

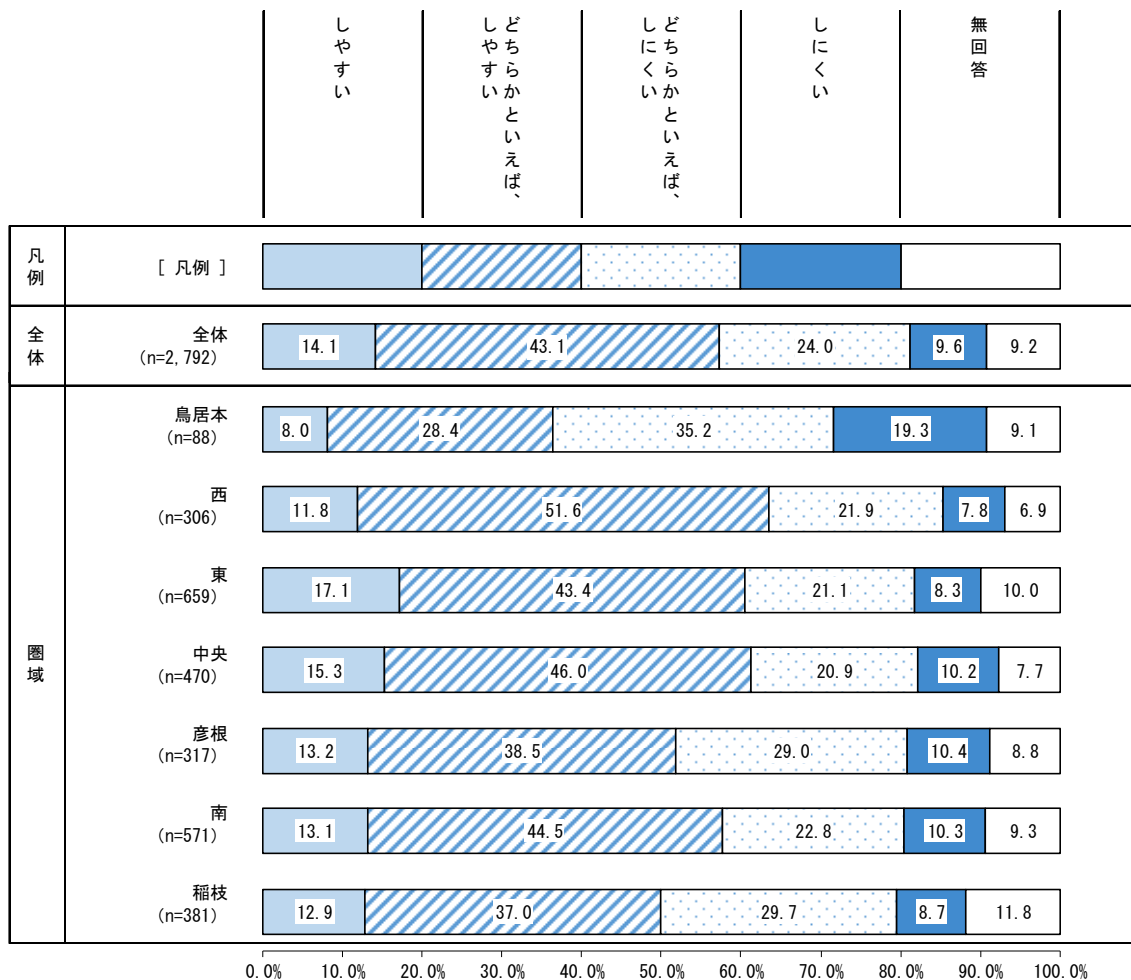


		母数 (n)	実現困難である理由											
			かかりつけ医がいない	往診してくれる体制が整っていない	訪問看護（看護師の訪問）	訪問介護（ホームヘルパーの訪問）	24時間相談のつてくれるところがない	介護してくれる家族がいない	介護してくれる家族にかかる	介護してくれる家族に負担がかかる	自分も家族も不安である	症状が急に悪くなったときの対応に	症状が急に悪くなったときに、すぐに入院できるか不安である	居住環境が整っていない
全体		945	32.5	20.0	13.0	14.6	22.8	59.3	46.1	45.5	9.0	32.5	3.3	1.7
迎えたい最期を	自宅	663	33.6	21.6	13.4	14.8	21.3	66.1	50.1	43.4	10.0	28.2	3.0	1.4
	病院	158	24.7	12.0	8.9	10.8	19.0	▼46.8	▼36.1	53.2	1.9	39.9	6.3	2.5
	介護老人保健施設（老健）	18	33.3	27.8	16.7	22.2	△50.0	▼38.9	▼33.3	△55.6	△22.2	△55.6	-	5.6
	介護老人福祉施設（特養）	25	40.0	28.0	20.0	△28.0	△44.0	▼32.0	▼32.0	48.0	12.0	40.0	4.0	-
	有料老人ホーム	6	-	-	-	-	16.7	▼33.3	▼16.7	▼16.7	-	△83.3	-	-
	サービス付き高齢者向け住宅	21	28.6	19.0	4.8	19.0	28.6	▼38.1	▼23.8	△57.1	△19.0	△52.4	-	-
	その他	4	△100.0	△75.0	△75.0	△50.0	△75.0	50.0	△75.0	50.0	△25.0	△75.0	-	-
	わからない	44	36.4	13.6	15.9	13.6	31.8	▼43.2	50.0	45.5	9.1	36.4	-	2.3

問11 地域について

1 お住まいの地域で在宅生活を継続しやすいと感じますか。(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ 「どちらかといえば、しやすい」が43.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば、しにくい」が24.0%、「しやすい」が14.1%となっています。
- 【圏域】**
 ○ 「どちらかといえばしにくい」「しにくい」を合わせた“継続しにくいと感じている方”は鳥居本が54.5%と他の区分に比べて多くなっています。



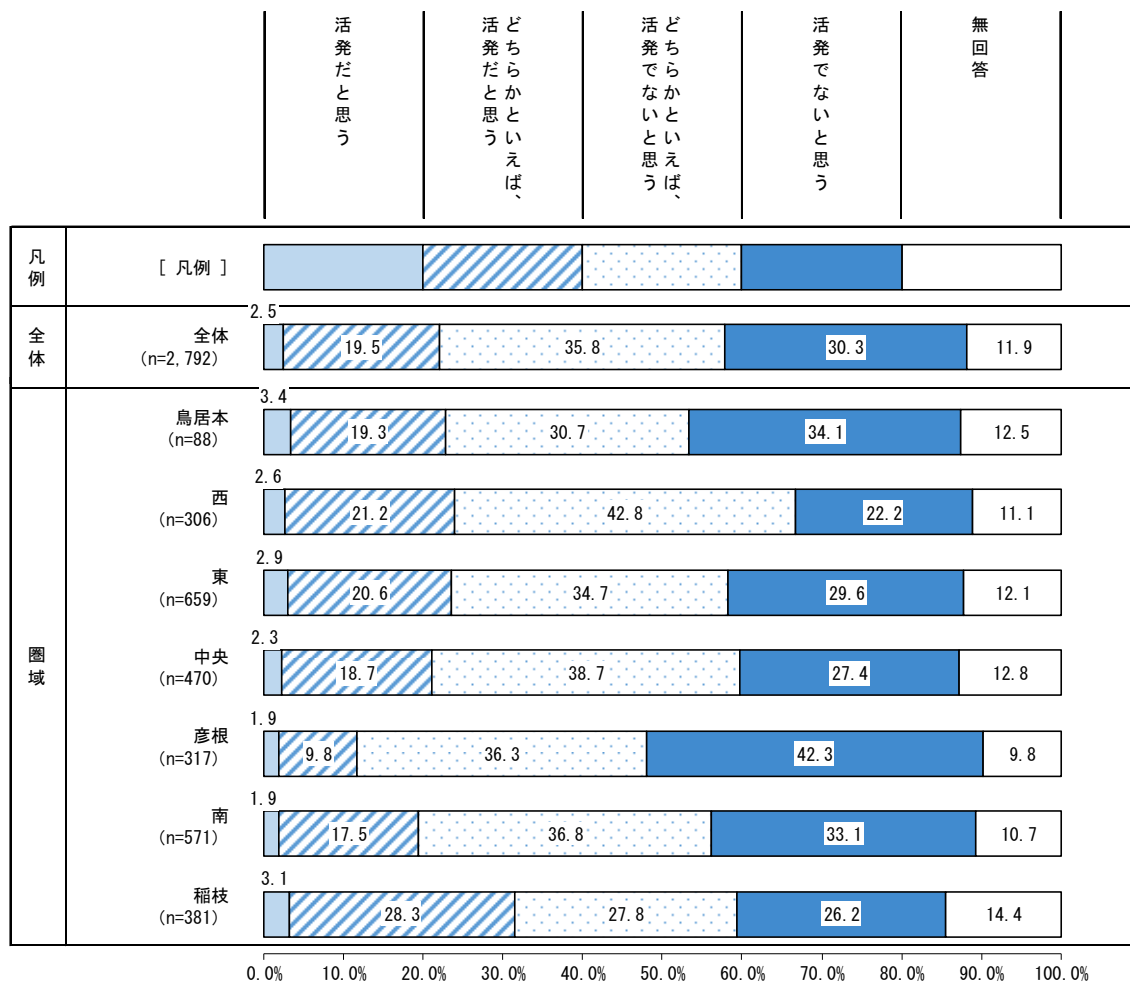
2 お住まいの地域はボランティア活動が活発だと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 「どちらかといえば、活発でないと思う」が35.8%で最も多く、次いで「活発でないと思う」が30.3%、「どちらかといえば、活発だと思う」が19.5%となっています。

【圏域】

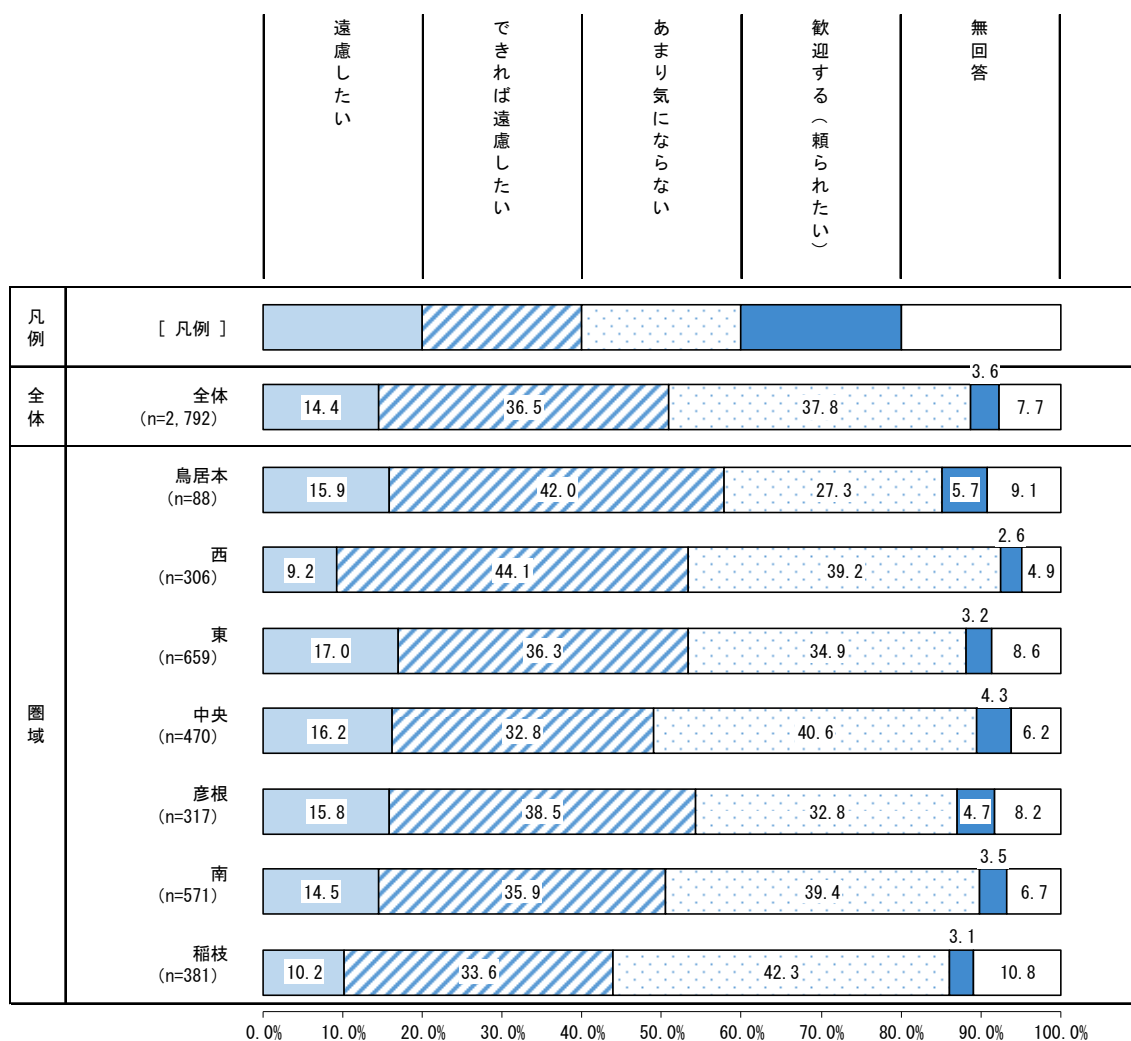
- 「活発だと思う」「どちらかといえば活発だと思う」を合わせた“活発と感じている方”は稲枝が31.4%と他の区分に比べて多くなっています。



3 家族以外の地域の人に頼られることに抵抗はありますか。(1つだけ○)

【全体】

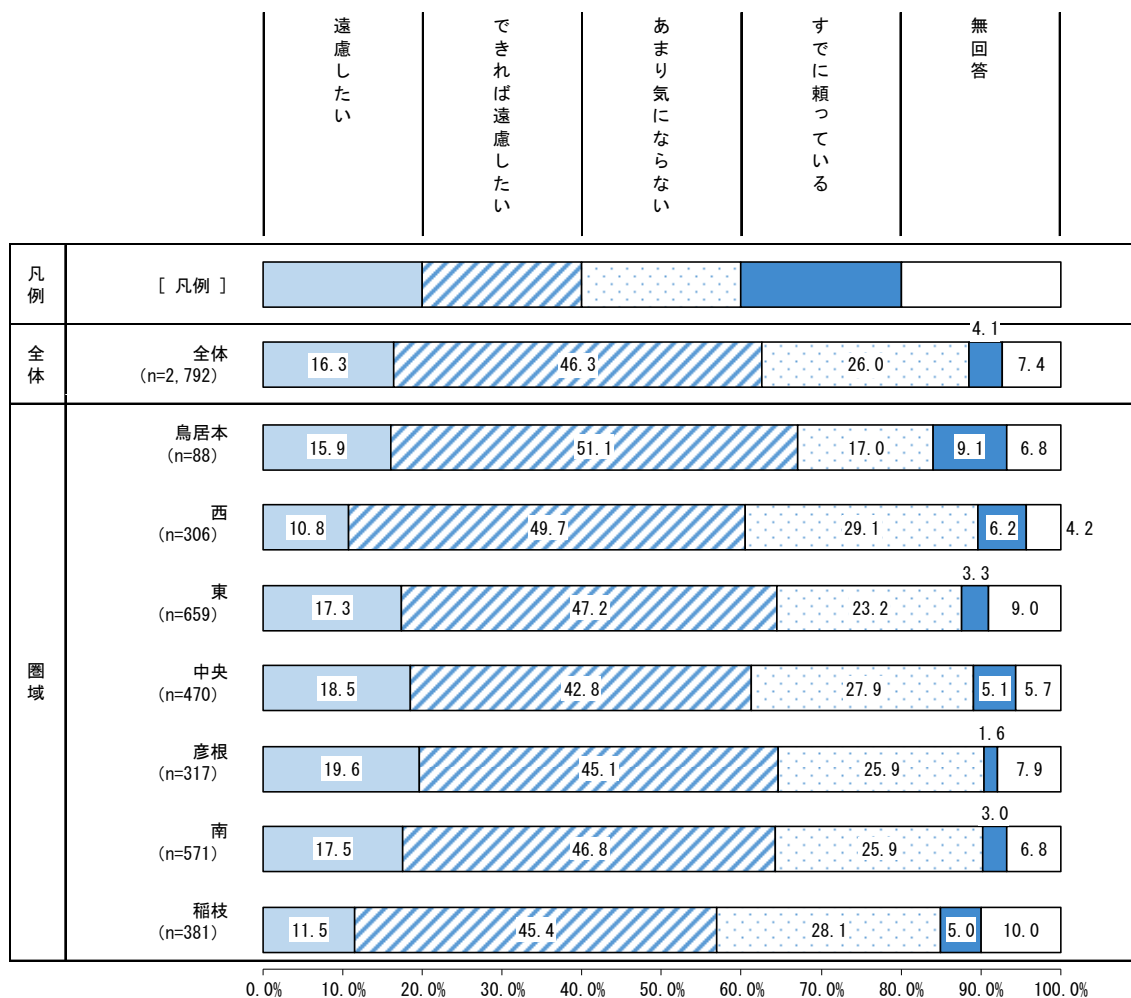
○ 家族以外の地域の人に頼られることについて、「あまり気にならない」が 37.8%で最も多く、次いで「できれば遠慮したい」が 36.5%、「遠慮したい」が 14.4%となっています。



4 反対に、家族以外の地域の人に頼ることに抵抗はありますか。(1つだけ○)

【全体】

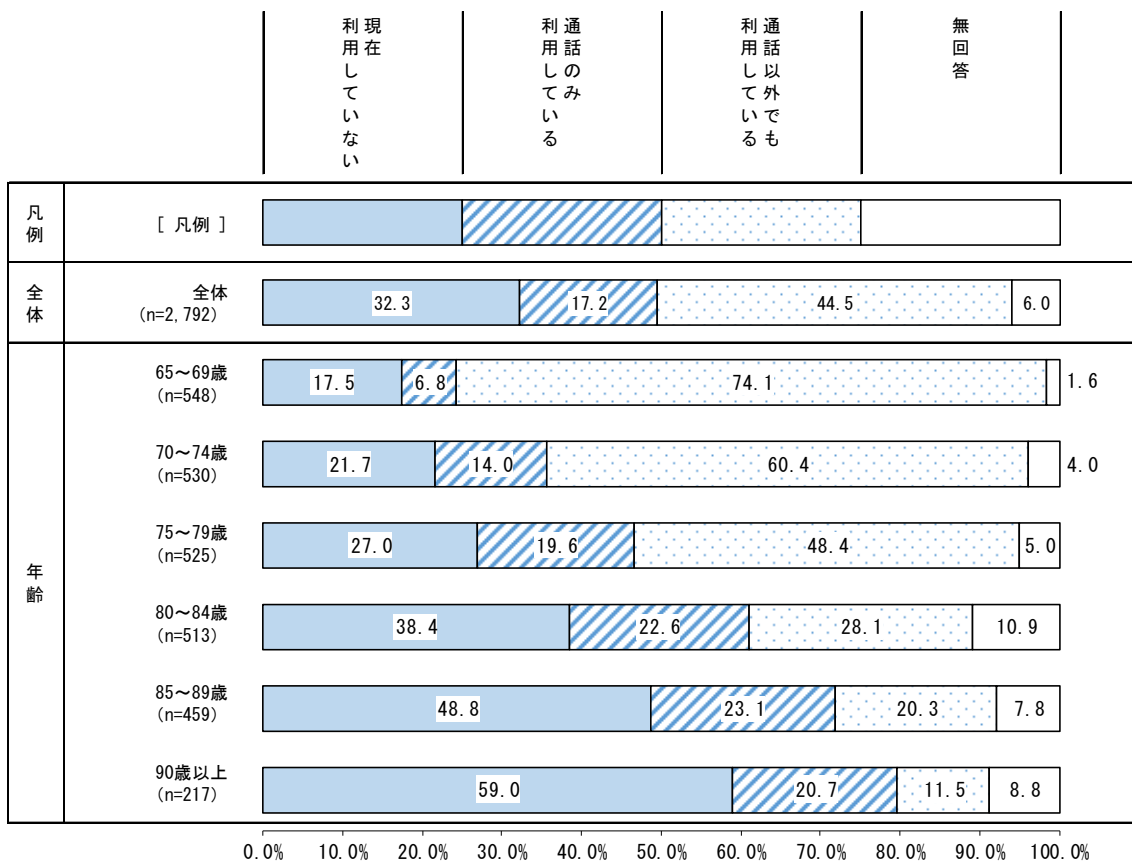
○ 家族以外の地域の人に頼ることについて、「できれば遠慮したい」が46.3%で最も多く、次いで「あまり気にならない」が26.0%、「遠慮したい」が16.3%となっています。



問12 ご自身のことについて

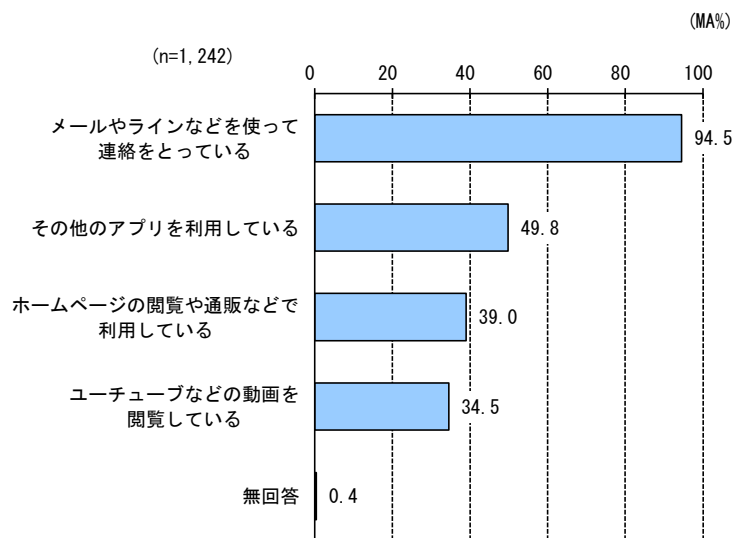
1 スマートフォンの利用状況についてお聞きします。(1つだけ○)

- 【全体】**
 ○ スマートフォンの利用状況について、「通話以外でも利用している」が 44.5%で最も多く、次いで「現在利用していない」が 32.3%、「通話のみ利用している」が 17.2%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 年齢が高いほど「現在利用していない」が多くなる傾向がみられます。



1-1 (通話以外でも利用している方) どのように利用しているかをお答えください。
(いくつでも○)

- 【全体】**
○ 「メールやラインなどを使って連絡をとっている」が 94.5%で最も多く、次いで「その他のアプリを利用している」が 49.8%、「ホームページの閲覧や通販などで利用している」が 39.0%となっています。
- 【性別】**
○ 「ホームページの閲覧や通販などで利用している」は男性が 55.0%と女性の 27.8%に比べて多くなっています。
○ 「ユーチューブなどの動画を閲覧している」は男性が 42.0%と女性の 29.3%に比べて多くなっています。
- 【年齢】**
○ 全ての選択肢で、年齢が高くなるほど概ね割合が少なくなる傾向がみられます。



単位：%

		母数 (n)	問12.1-1 どのように利用しているかをお答えください。(MA)				
			メールやラインなどを使って連絡をとっている	ホームページの閲覧や通販などで利用している	ユーチューブなどの動画を閲覧している	その他のアプリを利用している	無回答
全体		1,242	94.5	39.0	34.5	49.8	0.4
性別	男性	509	90.4	△ 55.0	42.0	△ 60.5	0.4
	女性	733	97.4	▼ 27.8	29.3	42.4	0.4
年齢	65～69歳	406	95.8	△ 61.6	△ 47.3	△ 63.3	0.5
	70～74歳	320	95.3	35.9	36.6	54.1	0.3
	75～79歳	254	93.3	▼ 26.8	27.2	42.5	-
	80～84歳	144	95.1	▼ 20.1	▼ 22.2	▼ 33.3	0.7
	85～89歳	93	93.5	▼ 20.4	▼ 16.1	▼ 28.0	1.1
	90歳以上	25	▼ 76.0	▼ 12.0	▼ 16.0	▼ 28.0	-

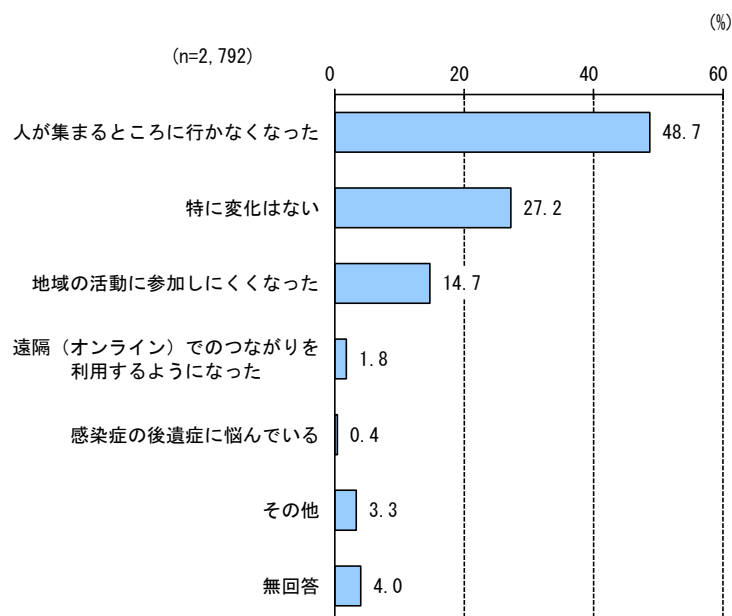
2 新型コロナウイルス感染症の流行を受けてあなたの行動に変化はありましたか。(1つだけ○)

【全体】

- 新型コロナウイルス感染症による行動の変化について、「人が集まるところに行かなくなった」が48.7%で最も多く、次いで「特に変化はない」が27.2%、「地域の活動に参加しにくくなった」が14.7%となっています。

【地域づくり活動への参加意向（お世話役として）】

- 「遠隔（オンライン）でのつながりを利用するようになった」と回答した方のうち、地域づくりにお世話役として参加意向があると回答した方が46.0%となっています。



単位：%

		母数 (n)	問12.2 新型コロナウイルス感染症の流行を受けてあなたの行動に変化はありましたか。						無回答
			地域の活動に参加しにくくなった	人が集まるところに行かなくなった	利遠隔（オンライン）でのつながりを利用するようになった	感染症の後遺症に悩んでいる	その他	特に変化はない	
全体		2,792	14.7	48.7	1.8	0.4	3.3	27.2	4.0
年齢	65～69歳	548	13.7	53.6	3.6	0.2	4.6	23.0	1.3
	70～74歳	530	14.7	52.5	1.9	0.2	2.3	26.6	1.9
	75～79歳	525	14.1	50.3	1.5	0.4	1.9	28.8	3.0
	80～84歳	513	16.0	45.0	1.6	0.8	3.1	27.5	6.0
	85～89歳	459	15.7	43.4	0.7	0.4	4.8	28.3	6.8
	90歳以上	217	13.8	42.9	0.5	-	2.8	32.7	7.4
当認 状定 況該	一般高齢者	1,911	15.4	49.9	2.1	0.3	3.3	26.3	2.8
	総合事業対象者	19	15.8	△ 63.2	5.3	-	5.3	▼ 5.3	5.3
	要支援1・2	862	13.2	45.7	1.0	0.6	3.1	29.8	6.5

【地域づくり活動への参加意向（お世話役として）】

○ 「遠隔（オンライン）でのつながりを利用するようになった」と回答した方のうち、地域づくりにお世話役として参加意向があると回答した方が46.0%となっています。

